臺灣時報

九月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
經濟
南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局
OCT 1 1921
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED
內容目錄記入

中央研究所本部

研究機關の統一
時報（臺灣時事）
中央研究所新官制
農業基本調査
植物檢查事業
米國の通商政策
辮髮の史的研究
米國材の競爭力
比律賓のブリ椰子
臺灣國勢調查統計
ハ氏社會主義批判

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す（發行規定第一條）

◎臺灣時報發行所役員

△評議員長 賀來佐賀太郎

△評議員（以下イロハ順）

池田常吉
石坂莊作
市來半次郎
今井周三郎
服部仁藏
原脩次郎
新元鹿之助
西川利藤太
醫學博士 堀內次雄
富島元治
富地近思
陳鴻鳴
陳中和
李景盛
林熊徵
林獻堂
林烈堂
林鶴壽
李延禧
大竹勝一郎
農學博士 大島金太郎
大越大藏
奥田重榮
大川盛行
大賀基作
渡部英太郎
渡邊啓太
川崎卓吉
片山秀太郎
川崎軍治
川中子安次郎
簡朗山
簡阿牛
顏雲年
曾野善三郎
楊吉臣
醫學博士 高木友枝
高田元治郎
工學博士 高橋辰次郎
立川連
田村武七
田村藤四郎
法學博士 谷野格
高山仰
瀧田傳吉
津田毅一
津久井誠一郎
永田隼之輔
中村啓次郎
長尾景德
內藤正太郎
武藤針五郎
草鹿砥祐吉
工學博士 山形要助
山移定政
松岡富雄
牧山清砂
藤野幹
小松吉久
吳昌才
辜顯榮
古賀三千人
黃欣
吳汝祥
黃春帆
枝德二
江口良三郎
江崎眞澄
鄭拱辰
鄭神寶
赤石定藏
赤司初太郎
後宮信太郎
相賀照鄉
阿部滂
麻生誠之
荒卷鐵之助
淺田知定
青池諭
近江時五郎
坂本素魯哉
佐々木紀綱
齋藤愛二
傅瀬軍之佐
佐藤小次郎
皿谷廣次
蔡蓮紡
木村匡
木村久太郎
許延光
北村吉之助
三村三平
三好德三郎
下瀬謙太郎
徐杰夫
森俊六郎
平山寅次郎
平山午介
末松偕一郎
角源泉
鈴木重臣
諏訪禮次郎

△編纂委員

石井光次郎
池田幸甚
生駒高常
井澤眞民
服部武彦
豐田勝藏
農學博士 東鄉實
岡村勝次郎

△常務員

鎌田正威
神社柳吉
吉岡荒造
横光吉規
淺野安吉
赤松寅七
菊池武芳
木越幸一
三浦碌郎
御厨規三
島田彌市
本山文平
深川繁治
古山榮三郎
小西恭介
田阪千助
堤一馬
長尾景德
岡本仙
中村諒太郎
宇都宗一
前田稔靖
福與平三郎

編輯係 鷹取田一郎
同 高橋惇
同 拓大雄
同 中野順三郎
同 小森德治
同 秋澤次郎
同 池田壯太郎
囑託 峰谷彬
囑託 大槻綱彦
同 小野眞盛
同 横尾善大
同 高倉鎚次郎
同 眞倉民治
同 志田潔之
同 杉山秀
庶務及會計係 伊藤儁之助

大正十年九月十三日印刷（毎月一回
大正十年九月十五日發行 一日發行）
（定價一册郵税共金三十錢
廣告料一頁金二十圓）

發行所 臺灣總督府內 臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣第二〇七〇番
電話總督府內第八九番

編輯兼發行人 臺北市龍匣口百四十番戸 中野順三郎

印刷人 臺北市撫臺街二丁目四十番戸 澤田照基

印刷所 臺北撫臺街二丁目百四十六番戸 臺北印刷株式會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店（東京、京都、神戸、兵庫、尼崎、姫路、廣島、徳島、奈良、伊丹、傳法
臺南、（大阪市內）南、天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色（銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市城內府前街二丁目

（電話三四、五六、九六〇）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

九月號 目次

大正十年、第廿六號

□口繪▼濁水溪上流の萬大北溪（泥土流出の箇所）▲臺北衞生展覽會▼臺北府後街の共同水浴場

□研究機關の統一（卷頭辭）……一

□時報▼東宮殿下臺灣海峽御通過▼中央研究所の設置▼農業倉庫業法の發布▼植物檢查▼三市の社會事業▼臺中市役所の自治講座▼臺灣教育會の臺灣宣傳▼南瀛佛教講習會の開催▼臺北衞生展覽會▼領臺以來の暑氣▲八月六日の暴風▼全國經濟調查機關聯查會▼兒玉神社造營の竣成▼東宮殿下御安着奉告祭……二―七

□中央研究所の新官制に就て……中央研究所長 總務長官 賀來佐賀太郎……八

□農業基本調查に就て……農學博士 東郷實……一三

□植物檢查事業に就て……農務課長 今川淵……一七

□米國の通商政策……總督府參事官 吉岡荒造……二五

□辮髮に對する史的研究（二）……總督府囑託 鷹取田一郎……三五

□白頭鵠……四九

□米國材の競爭力……總督府事務官 永山止米郎 五〇

□比律賓のブリ椰子……商工課調査 五五

□臺灣の棕梠皮……農務課報告 六〇

□澎湖島に於ける養貝適地……水產課調查 六六

□米國通信……總督府技師 澁谷紀三郎 七一

□島情▼土地改良調査の近狀▼國勢調査の事務進行▼鐵道運輸狀況▼鹽業協議會▼旗山圳の完成▼旗山街役場の落成▼臺灣電力總會▼金融概況▼臺灣商況……七三―八四

□思ひ出の歌ども……八五

□臺灣國勢調查 世帶及現在人口……國勢調査部 八六

□理苗の夢……蕉鹿夢 一〇四

□瑯璠……仙俗居士 一〇七

□ハーシュ氏の社會主義批判……總督府囑託 高橋惇 一一二

□詞苑……一二〇

□雜報▼臺灣日記▼人事消息▼任命▼寄贈書目……一二三

□漢文▼就中央研究所新官制而述(中央研究所長、總務長官賀來佐賀太郎)……一三一

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問屋業
販賣業
代理業

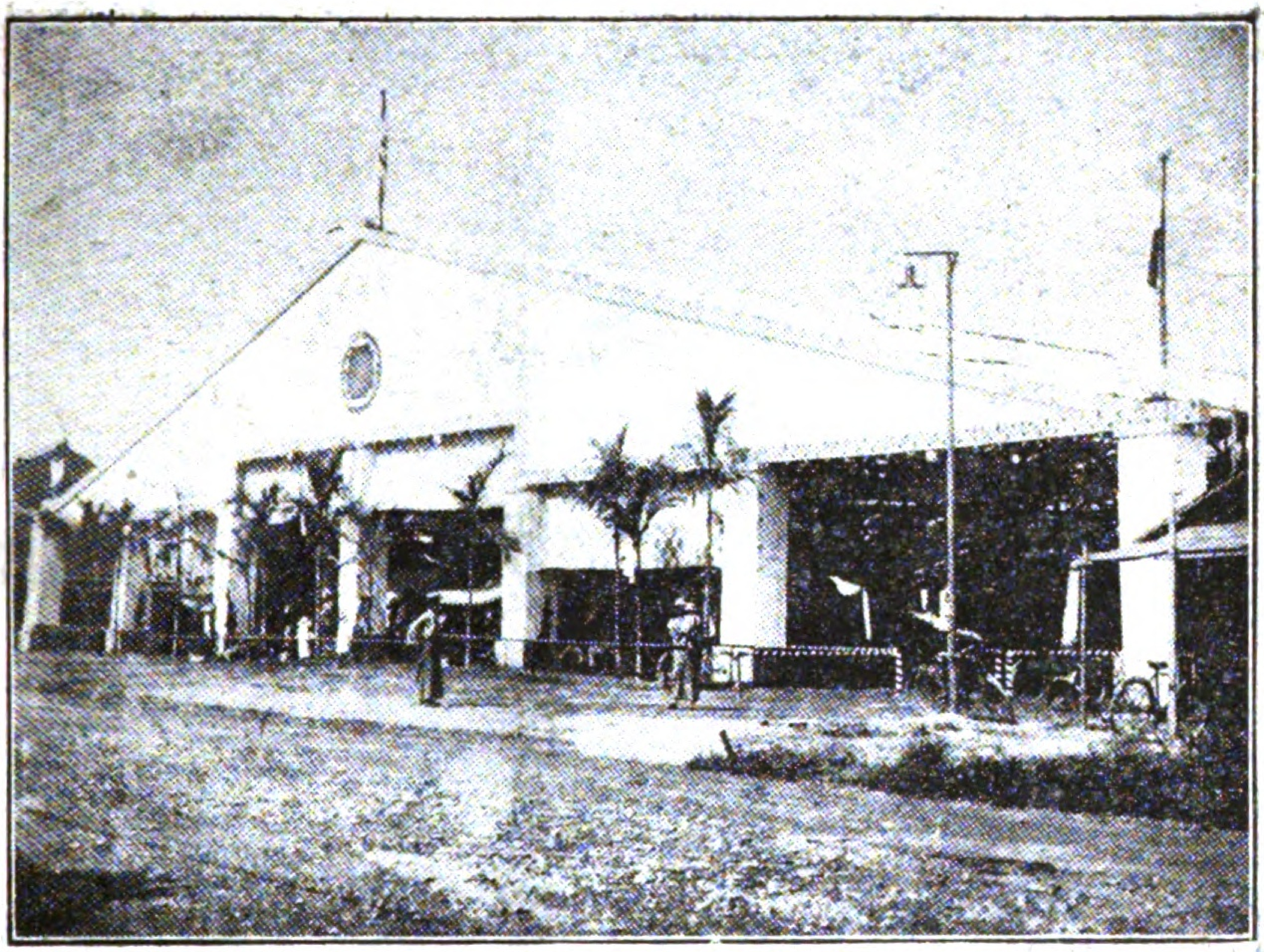
三井物產株式會社臺灣支店

電話 長四〇三番
　　 二〇四番
　　 五七五番
　　 六〇〇番

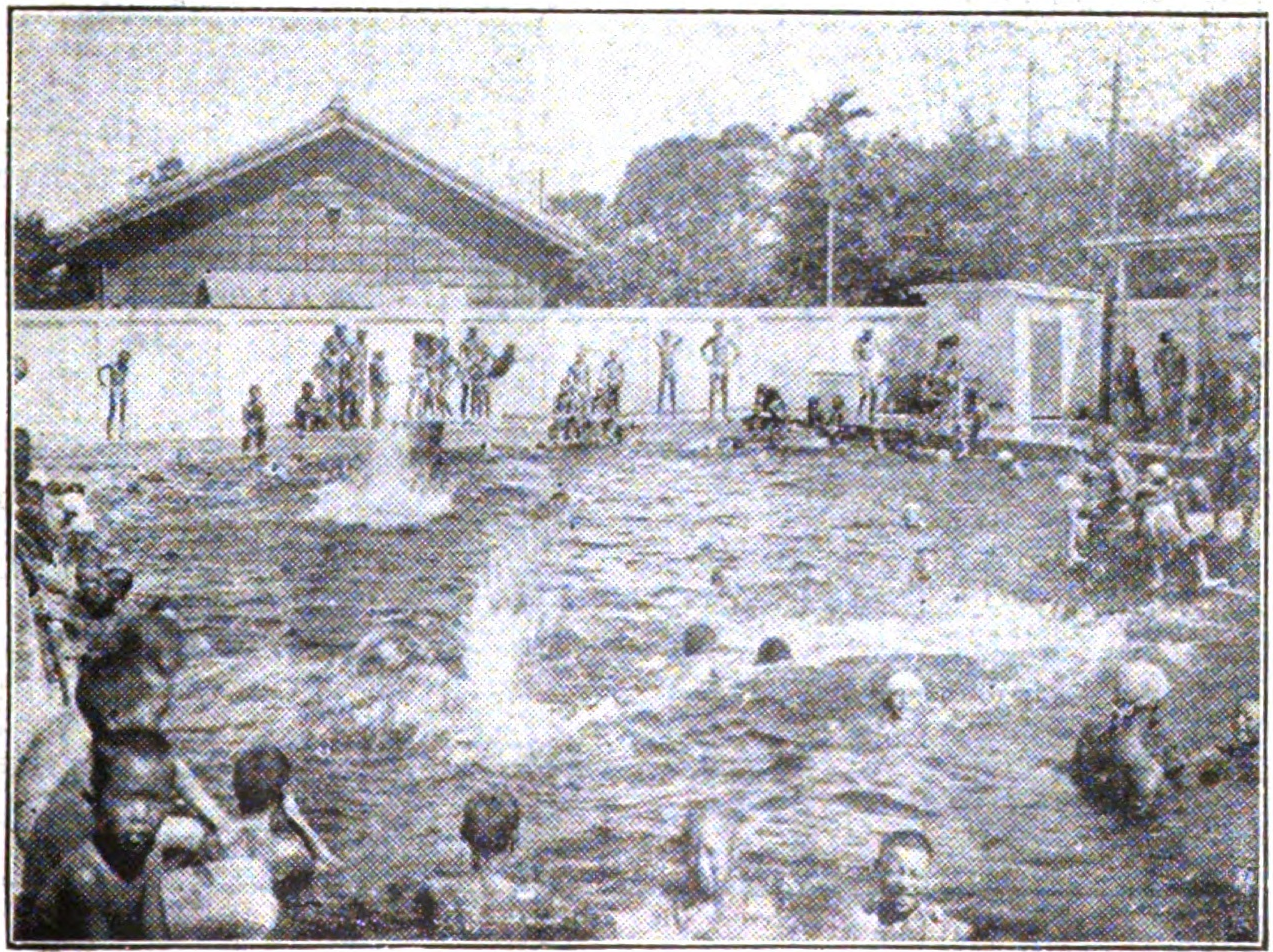
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濁水溪上流の萬大北溪(泥土流出の箇所)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺北衛生展覽會



臺北府後街に於ける公共水浴場（青年基督教會經營）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報

大正十年九月號

研究機關の統一

今回中央研究所の官制新たに成り、臺灣に於ける產業及衞生上の各種研究機關を統一し、是に由りて試驗調查の聯絡を圖り、研究機能の增進を期したるは、洵に本島開發の爲にする科學應用の一進步として之を祝せざるを得ず。

由來、各種の學會若は研究機關の設置せらるゝこと、歐米に於て最も其の盛を見る。卽ち是れ學問科學の尊重せらるゝ所以にして、世事百般、其の實行に先ちて試驗研究の解決に俟ち、仍て以て施設の正鵠を得んとするに在り。最近米國に於ける內外通商局の如きは、產業及貿易に關する世界的調查機關として其の最も顯著なる一例たるべし。大戰以後、我邦に於て各種調查機關の漸く重用せられんとする傾向あるに先ち、本島の夙に研究所其他の各種研究試驗機關を有して熱帶地經營の爲に貢獻する所多かりしは、比較的學問の等閑にせられたる日本に於ての一の誇たるを失はず。加之も其の研究機關の今日統一せられて一層の改善擴張を見んとするは、本島として洵に至大の光榮と謂はざるべからず。

本島と一葦水を隔つる比律賓に於ては、夙に完備せる科學局 Burrea of Science を有し、熱帶植民地の開發に貢献する所頗る多きは人の知る所なり。而して其の由來も亦た各部局の試驗研究を統一せんとするに在りたることは、其の設置に與りたるウースター博士 Prof. Worcestar の言明する所なり。然かも統一の利益は必ずしもウ氏の言を須つて知るにあらず。苟も臺灣の開發にして從前各種研究機關の效績に負ふこと多大なるを知らば、今日時世進運に應じて其の進步改善を圖るに力むべきことは、卽ち是れ經世家必然の用意にして、其の施爲たるや蓋し時代に順應せるものと謂ふべき也。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

東宮殿下臺灣海峽御通過

東宮殿下には本年三月國民歡呼御奉送の裡に西歐御巡遊の途に上らせ給ひしが爾來六閲月御滯りなく歐洲各國の御巡訪を了せられ目出度御廻航の途に就かせ給ひたる處八月二十八日午前八時頃御召艦は汕頭沖を御通過、同正午より臺灣海峽御通過あらせられたるに付田總督は二十八日正午本島官民を代表し入江東宮侍從長宛にて御祝電を發送せるに右に對し殿下には御滿足に思召さるゝ旨同午後二時五十分發診田供奉長より答電あり殿下には海上平安臺灣海峽を御通過にて北上あらせられたり。

中央研究所の設置

臺灣總督府に於ては從來研究所の設置ありたるが今回其の權限を擴張して中央研究所なるものを新設せり八月二日公布勅令第三六一號は卽ち其の官制にして同日訓令第一三九號は其の事務分掌規程、又た同日府令第一二五號は支所の名稱及位置を定めたるものなり今回の中央研究所は其の前身たる研究所に農事試驗場及び殖産局所管の園藝試驗場、種畜場、糖業試驗場、林業試驗場、茶樹栽培試驗場の事業を併合し其の統一を期するものなれば其の權限は從前の研究所に比して頗る大なるものとなり其分掌は農業部、林業部、工業部、衞生部及庶務課の四部に大別し更に農業部を種藝科、農藝化學科、糖業科、植物病理科、應用動物科及び畜産科に分ち林業、工業、衞生の各部亦た夫々分類する所あり以上各部に關する研究、調査、試驗、分析、鑑定、講習及講話を爲し又た種苗、種畜、細菌學的豫防治療品其他研究調査又は試驗の結果に因る物料等の育成、製造、配付又は貸付等を爲すを以て其の事業と爲す、隨て其の豫算も頗る增大し從前約二十五萬圓のもの今後は約百二十萬圓を計上すべしと、所長は臺灣總督府總務長官之に當り部長は技師(一名は勅任)を以て之に充つ、技師の總員は專任三十六人、事務官一人、技手專任七十四人、屬十九人、又た支所は臺中、臺南、高雄、嘉義、士林、恒春、大埔、平鎭等に從來存したる前記各部に屬すべきもの合計十一箇所なりとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島の產米は從來乾燥不充分なるのみならず籾摺法にも缺點尠からず爲めに聲價を失墜するが如き現狀に在り故に督府は最近に至り人工乾燥及籾摺器を具有する農業倉庫の設立獎勵に著手する所ありしが遂に去月二十一日律令第八號を以て農業倉庫業に關しては農業倉庫業法に依るべき旨を定めたれば今後は本島に於ても農業倉庫に依りて前述の不備を救ふことを得べく殊に倉荷證券を發行して農民の金融の便を圖り得ると共に食糧政策上より在庫品及全島の殘存米の調査を爲すにも簡便なる利益あり旁々產業上の一進步を來すべきものと期待せらる。

農業倉庫業法の發布

植物検査開始

總督府は、曩に植物検査に關する律令を發布したりしが、今や諸般の準備全く成りしを以て本月十五日其事業を開始することゝなりたり。而して検査は臺北、基隆、新竹、員林及高雄の五箇所に於て之を行ふものにして、就中最も重要なるは內地移出の柑橘類にして、柑橘類は總て植物検査所の検査を了したるものにあらざれば、之れを內地に移出するを得ず、故に當事者は特に此點に注意を要すべきなりと。尙詳細は別項今川農務課長の「植物検査事業に就て」を參照。

三市の社會事業

本島に於ても漸次世運の推移と經濟狀態の變遷とに伴ひ將來民衆生活の脅威を感せしむるに於ては幾多の社會問題を惹起すべき虞あるを以て督府に於ても從來之が救濟事業に注意し又た臺北、臺南、臺中の三市に於ても其の分量に相違こそあれ漸次具體的に社會事業に著手したるもあり又た之が準備者は調査中に屬するもあり一般に社會事業に注意し來れるは最も喜ぶべき傾向なるが督府に於ては去月中總務長官通達を以て社會事業に對する指針を示し尙ほ地方により緩急取捨を行ひ以て本島住民生活の安定を圖り其の改善を期すべき旨達せられたれば三市の社會事業は今後之によりて一層發展すべく其の效果大いに見るべきものあるに至らむ。

臺中市役所の自治講座

臺中市役所に於ては自治制の趣旨を徹底せしむる目的を以て每週一回、自治講座を市役所內に開催することゝなり八月十九日午後七時其の第一回の講座を開きたるに聽講者百餘名に達したり川中子市尹は

先づ開會の辭を述べ次で立川知事の自治に關する內地及海外の歷史竝に成績に就ての講話、角田地方課長の州制及市制、宮島臺灣新聞主筆の自治の根本觀念等の講演ありて十時過散會したるが尙は次回より每週金曜日に開會せらるべしと臺中に於ける此の新しき試みは自治心涵養に就て必ずや何等かの效果あるべく各地方に於ても同樣の計劃あらむことを希望するものなり。

臺灣敎育會の臺灣宣傳

臺灣敎育會は臺灣宣傳の目的を以て先年來通俗敎育委員を內地に派遣し活動寫眞に依り總督府廳舍を首め全島各官衙、學校、病院其他島內到る處の風景、港灣及び各種の施設等一見して臺灣の事情を知悉するに足るべき通俗活動寫眞を映寫して內地到る處の都市に於て臺灣事情の宣傳に努めつゝありし結果其の效果著るしきものありし爲め八月十八日便船にて又復た久住、戶田、松井、莊屋の各通俗敎育委員を內地に派遣し最近の撮影に係る日月潭其他の映畫を齎らし名古屋以西、中國、四國等に於て八月末より十月迄約五十日間に亙りて大いに本島の實情宣傳を爲さしむることゝなり是等の委員は同日既に內地に向つて出發せり。

南瀛佛敎講習會の開催

社寺課報告＝本年四月丸井社寺課長の慫慂により本島人たる僧侶齋友の間に成立したる南瀛佛敎會は其後會員の熱心なる努力により漸次健實なる發展をなし各地方に多數の會員を有し將來本島に於ける一種の有力なる宗敎的團體として宗敎的活動を期待せられ居れり今回同會に於ては先づ其の基礎的準備として會員たる僧侶齋友の智識を涵養し宗敎家たるの實質を具備せしむるの急務なるを認め去る七月三日より向三週間第一回南瀛佛敎講習會を臺北市東門外曹洞宗中學林に於て開催したり講習生は會員たる僧侶齋友の中より比較的智識優秀にして將來見込あるもの二十三名を選拔し佛敎に關する諸學科を講授したるに何れも熱心に講習を受け所定の學科を修了し七月二十三日講習證書授與式を執行せり當日は川崎內務局長代理臨場して訓示を與へ且つ講習生に對して大に激勵の辭を與へられたり本事業は本島人たる僧侶齋友に對する初めての催なるを以て一般社會より非常の感興を以て迎へられ本島宗敎の開發には多大の反響を與へられたるものゝ如し因に本講習會に

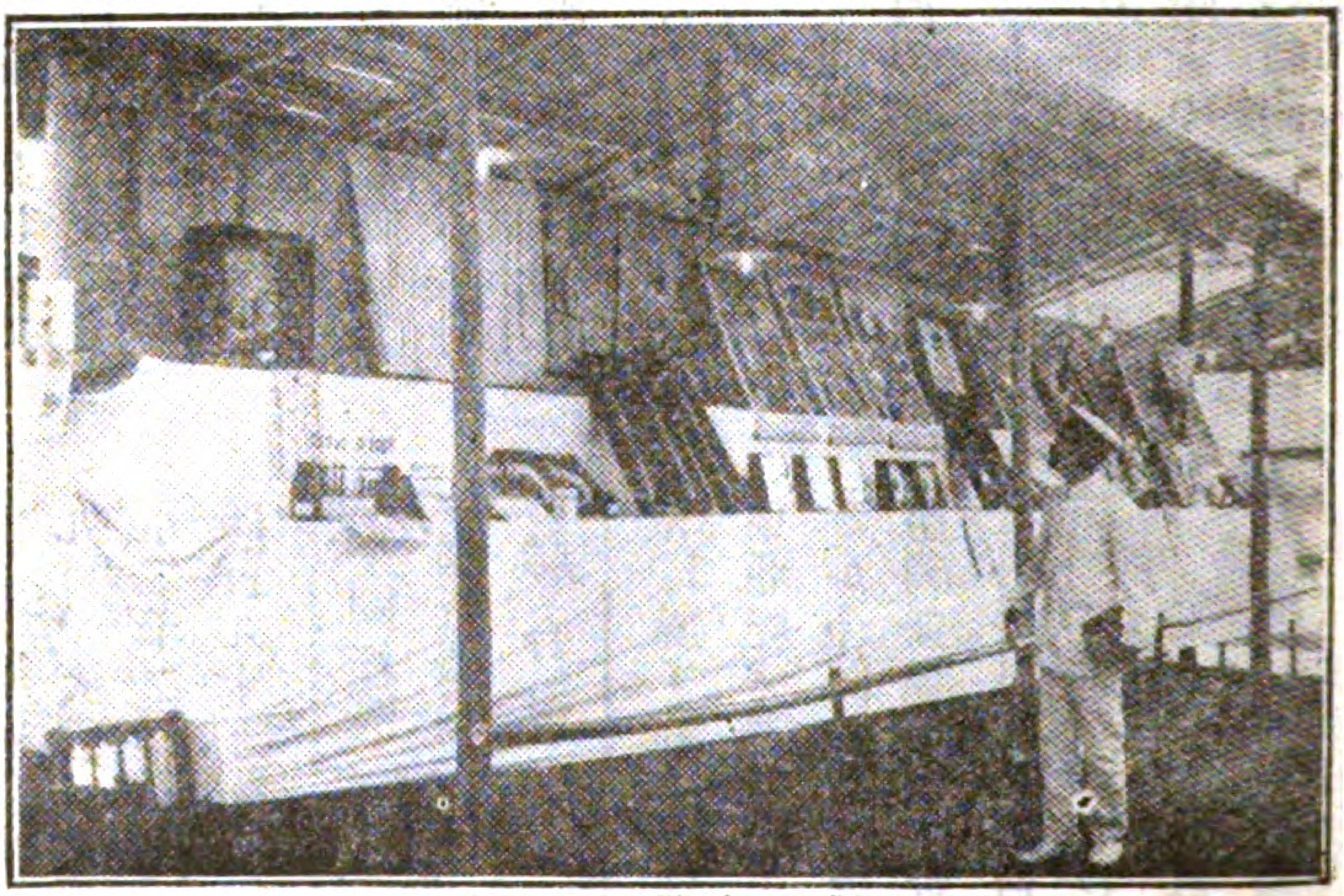
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於ける講習學科及講師氏名左の如し。

金剛經大意　許林師
普門品　江善慧師
阿彌陀經大意　沈本圓師
原人論　伊藤俊道師
十牛圖　天田策堂師
淨土義　吉原元明師
法華經大意　西田教道師
布教法　片山賢乘師
臺灣佛教　丸井社寺課長

臺北衛生展覽會

本島に於ける保健、衛生の施設は從來當局者鋭意積極的にして殆ど遺漏なかりしが如きも民間者の主催となりて個人衛生思想の普及發達に努め以て保健、衛生の道を講じたるもの未だ之あるを聞かざりしを遺憾とせしが這回臺北市の衛生委員を中心として成立せる臺北衛生展覽會は豫て內地各府縣に於て開催毎に好評を博したる大正衛生普及會所有の衛生材料と更に督府研究所、醫學校、臺北醫院、陸軍々醫部等の出品より成る保健及防疫に關する模型、標本、圖解等を出陳し之に詳細なる説明を附し何人にも一目諒解を得しむる方法を以て會長高木醫學博士、副會長谷口病院長、顧問として斯界關係の名士、賛助員には臺北州下の代表者を網羅して計劃開催されたり其の經費は設備其他に二萬餘圓を要したるも八月十六日開會以來非常の盛況にて同二十四日迄の入場者累計二萬九千三百八十八名、一日平均三千二百六十五人を算し豫期以上の成功を收めつゝあるは一般衛生思想の普及の爲め洵に喜ぶべき事業なりと謂べし＝同會報告に據る


臺北衛生展覽會の陳列室

領臺以來の暑氣

臺北測候所報告に據れば臺北にては七月二十五日以來降雨なく日々炎暑甚しく最高氣溫は九十三、四度以上に昇らざるはなかりしが同三十一日午後三時より四時の間に於て遂に百一度

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五分に達せり從來臺北のレコードは大正四年七月二十八日の九十九度五分を最とせるも之を拔くこと實に二度、濕度も非常に乾燥せり尤も臺北以外に於ては大正三年七月二十三日臺東に於て百二度二分に達せし事あるも之は同地特有の熱風の場合に起りたるものにして若し全島を通じて云へば今回は之に亞ぐものなり尚ほ八月に入りて一昂一底ありしも概して本年は例年に比し暑氣酷烈なるを感せり。

八月六日の暴風

八月六日本島に一大暴風の襲來し風雨猛烈に被害亦た尠からざりしが臺北測候所の報告に依れば同月四日呂宋東部海上に發生せる低氣壓は北西に進み六日朝バシー海峽の東方に來り尚ほ北西の進行を持續し其中心は同日午後一時頃臺東に上陸し臺南湖湖島の北部を經て支那大陸に去りたるものなるが其の移動の速度は頗る迅速にして普通本島附近の速度一時間十哩位なるに比して今回のは平均一時間二九粁二即ち十八哩一の割合なりし而して今回の暴風は中心が南部に存し且つ經過甚だ迅速なりし爲め西部地方は降雨少かりし上に暴風吹續時間短く隨て被害も案外に少かりしは不幸中の幸なりき被害概況は全島に於て人の死傷各三、建物全壞千二十九戸、半壞六五九戸、大破二千百五十戸、田園流失五十七甲、同浸水二千二百餘甲、道路流失九百三十五間、同破損千四百九十五間、橋梁流失四百三十六間等なりし。

全國經濟調査機關聯合會

本會は會員相互の連絡を計り經濟調査の發達に必要なる事項を攻究し調査機關の效果を增進せしむるを以て目的とし廣く全國に亘り官公衙學校銀行會社等に屬する調査機關を以て組織し事務所を東京滿鐵東亞經濟調査局内に置き事業遂行の任に當りつゝあるが今回我臺灣總督府に於ても調査連絡の必要上官房調査課長東鄕實を代表者として入會したり。

兒玉神社造營の竣成

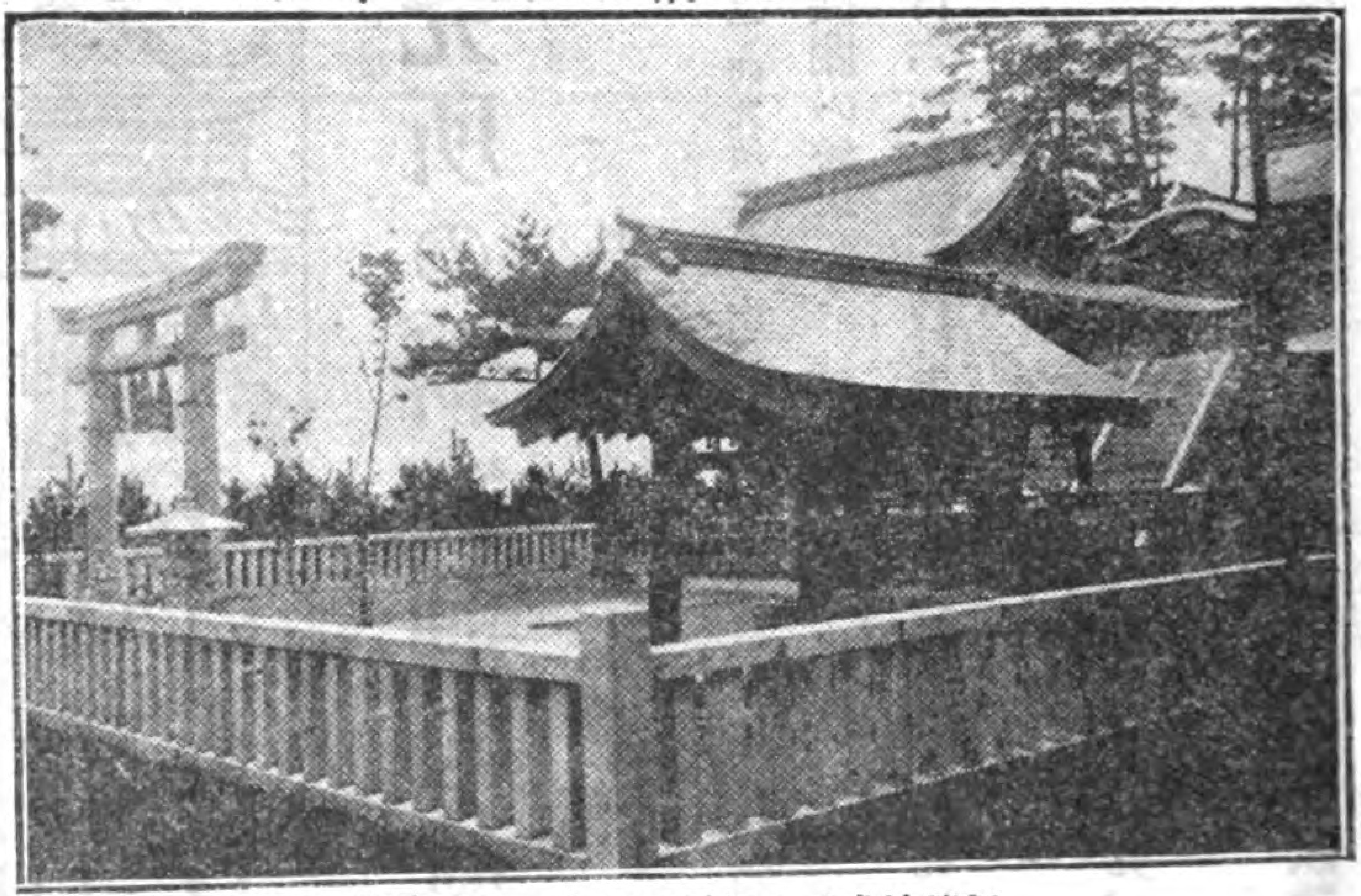
故兒玉總督を祭れる兒玉神社は去る大正七年中內務省に於て公認神社として發令したる以來、後藤男爵首唱の下に神奈川縣下相州江の島なる風光絕佳の地をトし社殿其他附屬建物造營中の處今回愈々竣成せるを以て石塚英藏、橫澤次郎其他の諸氏參列の上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七月二十三日夜半を期し假遷宮所たる江の島神社より御靈代を新社殿に移し莊嚴なる遷座式を擧行し尚ほ其の翌二十四日の例祭日を期して大祭を執行し兒玉家一門の人々竝に後藤、藤田、大倉の各男爵にも參拜したり因に兒玉神社は江の島神社東隣の高地を占め右に七里ヶ濱、左方に富士の高嶺を望み眺望絶佳風光明媚の境にして境內千九百餘坪、社殿、拜殿、神饌所、倉庫に至る迄總て阿里山檜を用ひ鳥居燈籠等は故將軍の郷里防州德山の產御影石、其他敷石、玉垣等は水戶產の御影石を用ひ總經費十六萬六千餘圓を要し之が工事は曾て臺灣總督府に勤務せし野村工學士監督の下に滿七箇月を要したるものにて結構莊麗を極むと。

東宮殿下御安著奉告祭

東宮殿下臺灣海峽御通過のことは別項揭載の如くなるが九月三日東京御安着の日を以て全島各地とも夫々奉祝の意を表し



新築竣成せる相州江の島の兒玉神社

臺北に於ては此の日臺灣神社に於て殿下御安著奉告祭を執行したり當日總督代理賀來總務長官、府內各部局課長、福田軍司令官以下在北各將校、同相當官、民間の主なる人々等は何れも自働車又は人車にて參著、休憩所にて少憩の後、定刻午前八時禰宜の案內にて一同幄舍內なる設けの席に著くや、山口官司のの祝詞あり、了りて總督代理賀來總務長官、福田軍司令官、文官總代菅野檢察官長、武官總代大川守備隊司令官、民間總代高木電力會社長の順にて各玉串を捧げて拜禮あり同八時二十分式を了り一同退下せり當日午前中に高商、醫專、各中等學校各小公學校等二十八校の生徒、職員及軍隊、練習所生徒、市民等無慮一萬餘人の奉祝參拜ありて非常の盛況を呈し市內各戶は國旗を揭げて敬意を表したり

中央研究所の新官制に就て

中央研究所長 總務長官　賀來佐賀太郎

（要旨）（一）研究機關の統一（二）研究所創設の由來（三）中央研究所の組織及權限（四）中央研究所の事業の性質及範圍

一　研究機關の統一

本年八月二日勅令第三百六十二號を以て臺灣總督府中央研究所の官制を公布せられ、其の事業として

一、農業、糖業、林業、工業其他の産業及衛生に關する研究、調査、試驗、分析、鑑定、講習及講話

二、種苗、種畜、細菌學的豫防治療品其の他研究調査又は試驗の結果に因る物料等の育成、製造、配付又は貸付

以上の事項を掌ることゝせられた。新官制の趣旨は要するに本島の産業及衛生上に關する研究調査

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

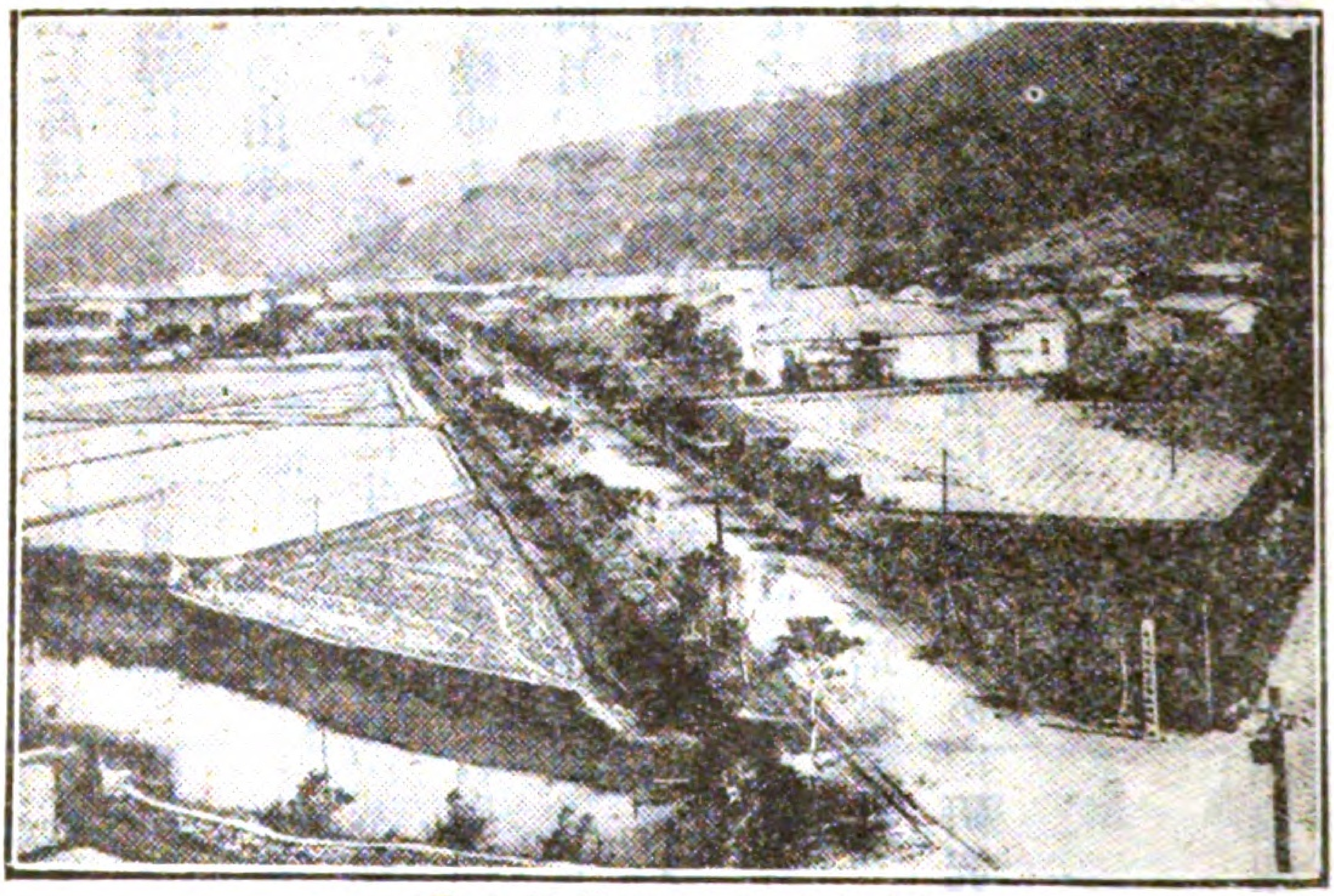
新官制の沿革上の理由は研究機關の統一なり

熱帶地の產業及衞生に關する基礎的試驗研究の必要

系統的研究の協調を保つべく基本調査統一の必要

統一の結果は所內各部の聯絡を保ち得べし

及試驗を爲すを以て眼目とするのであるが、其の沿革上の理由としては、從前別箇の機關として存在したる研究所、農事試驗場、糖業試驗場、園藝試驗場、茶樹栽培試驗場、種畜場、林業試驗場等を統一して、本島の產業及衞生上の基礎的研究調査及試驗の目的の爲に、有力なる一大機關を設けたものであると謂ひ得るのである。由來事業の經營には必ずや其の基本調査卽ち準備的行動の各方面に亙りて必要なるが如く、本島の如き熱帶地の產業及衞生に就ては特に其の基礎となるべき試驗研究を必要とするのである。然かも之を爲すべき機關が其の種類によりて箇々獨立して居つて、其の間何等の組織的聯絡をも有せざるは啻に系統的研究の協調を保つ上に不利益なるのみならず、基本調査の統一を缺くの結果、基礎的調査なる大眼目に向つて阻障を來すの虞なしとせぬのである。仍て今回中央研究所を設けて從來各所に獨立したる各種の試驗研究機關を統一し一層其の目的の達成に努力し、之に依りて本島の產業及衞生事業上の進展に貢献せんことを企圖するものである。


(中央研究所農業部全景)

而して今回中央研究所の下に各種機關を統一して、農業部、林業部、工業部、衞生部及庶務課の四部一課を置かれた次第であるが、其の結果は克く組織的に所內各部の聯絡を保ち得るの利益あるは勿論、官制第十一條の規定

又た關係督府部局さ研究所さの聯絡を保ち得べし

熱帶殖民は生物學に其の基礎を置くを要すさの提唱

研究所の創置

農事試驗場其他獨立研究機關の竝置

新官制に因る中央研究所の事務分掌

に依り、關係總督府部內高等官中より評議會員を任命して評議會を組織し、以て研究所長の諮問に應せしむることゝなりし爲、中央研究所と關係總督府部局との聯絡を保ち得ることゝなり、研究所の使命たる基礎的調査研究の上に萬遺算なきを期し得ることゝなつたのである。今少しく研究所の由來と新官制に據る組織及權限等に就て次に述べて見たいと思ふ。

二　研究所創置の由來

後藤男爵の臺灣に民政長官たるや、熱帶植民は生物學に其の基礎を置くを要す、と提唱されたるは尙ほ吾人の記憶に新たなるを覺ゆるのである。當年臺灣總督府は此の見地よりして科學の奬勵に力めたる結果、明治四十二年四月、研究所なる一獨立機關を創置し、以て本島の產業及衞生上の研究調査及試驗に任じ、同時に熱帶地に於ける各般の研究調査を爲さしめ、大いに科學界に貢獻せんことを期したのである。而して之と相前後して總督府は本島の農林產の增殖改良に關する試驗研究を爲さしむる爲め別に農事試驗場、糖業試驗場、茶樹栽培試驗場、園藝試驗場、種畜場、林業試驗場等を各地に設置し、各々其の專門の試驗研究に從事せしめ、研究所と相竝立して以て今日に及んだのである。

三　中央研究所の組織權限

然るに今回勅令第三六二號中央研究所の官制を以て前述の諸機關を統一したるものなることは既に述ぶる通りであるが、尙ほ訓令第一九三號中央研究所事務分掌規程に據れば、其の事業は左の如くに大別せられる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全島を通じて支所の數十一箇所

- 中央研究所
  - 農業部
    - 種藝科
    - 農藝化學科
    - 糖業科
    - 植物病理科
    - 應用動物科
    - 畜產科
  - 林業部
  - 工業部
    - 化學工業科
    - 電氣化學科
    - 釀造科
  - 衛生部
  - 庶務課

而して本部の外に支所は府令第一二五號の定むる如く全島を通じて十一箇所であるが、之を各部の關係に於て區別すれば左の如くになるのである。但し臺南州新化に在る元糖業試驗場は其の所管事業の性質及內容上よりして、之を支所と爲さず特に之を農業部の一科として存置したのである。

各支所の名稱

- 支所
  - 農業部關係
    - 士林園藝試驗支所
    - 平鎮茶業試驗支所
    - 嘉義農事試驗支所（元農事試驗場支場 元園藝試驗場支場 併合）
    - 高雄檢糖支所
    - 恒春種畜支所
    - 嘉義種畜支所
    - 大埔種畜支所
  - 林業部關係
    - 嘉義林業試驗支所
    - 恒春林業試驗支所
  - 衛生部關係
    - 臺中藥品試驗支所
    - 臺南藥品試驗支所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中央研究所の職員
所長は總務長官
專任技師三十六人

以上本部及支所を通じて中央研究所の職員は、所長は總務長官之に當り、部長及科長は技師、課長は事務官を以て之に充て、其の員數は、技師專任三十六人、事務官一人、技手七十四人、屬十九人にして此の外緬羊飼育試驗の爲め技師二人技手五人、屬一人の臨時職員を增置せらる。

四　中央研究所の事業の性質及範圍

研究所の事業の性質

中央研究所の基礎的調査研究を行ふべき方面は、前述の如く頗る廣汎であるので、本島の產業及衞生に對する其の責任は頗る重大なものである。隨つて此の職責を全ふし、完全なる成績を擧げんとするには、適當なる人材と相當の日時と十分なる經費とを要するは勿論であつて、各擔任者が其の研究事項に對して相當の成績を擧ぐるには、一年二年又は三五年を要することもあるであらうが一研究事項に就て、平均三年に一度の滿足な報告を爲すことありとするも、幵は擔任者多年の苦心の結果に外ならぬものであるから、研究所としては其の成績を誇り得べきものであると信ずる。大體に於て研究調査なる事業の性質が此の如きものであることは、世人の疾くに諒解せらるゝ所であらうと信ずるのである。

研究所の事業の範圍

又た中央研究所の事業の範圍は、前述の如く本島の產業及衞生に關する研究、調査、試驗、分析、鑑定、講習及講話、竝に是等の結果に因る物料の育成、製造、配付又は貸付を爲すのであるから、中央研究所の使命は即ち調査研究ばかりでは無く、調査研究の成績を利用すること、即ち其の成績に基きて或る事業に對し經濟上の價値を發揮すること竝に生產品を配付又は貸付すること、即ち直接に他を裨益することも亦た其の使命の一つである。故に研究所の使命は決して狹く又は輕いものとは言へないのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農業基本調査に就て

農學博士　東　鄕　實

天惠の遺利甚大
之を利用すべき根本的調査は農業基本調査なり

要旨　農業基本調査は殖產局の主管事業にして、農政基本の資料を得んが爲大正九年五箇年計畫を以て之を開始し現に其の第二年度に在り、世上調査事業は往々にして閑人不急の事業と見做され、兎角生氣を缺き易き傾あるに反し、本調査は本島農界の全體を通じて最も其の重きをなし、農業の國勢調査として取扱はれつゝあるの現況にして、其の結果は悉く貴重なる基礎的資料となり、將來の農政に至大の貢獻をなすべきや疑を容れざる也。

本島農業は當局多年の奬勵施設と農民智能の啓發とに因り年次進展して、農產總額今や二億五千餘萬圓に上るの盛運に達せりと雖、其の氣候及土地等の天然要素と此所に包容する二百餘萬の勤勉なる農民とを以てすれば、發達の程度未だ低く天惠の遺利甚大なるもののあるを思はずんばあらず。

卽ち當局は今や現在の農業を將來如何にして持續的に發展せしむべきかの問題に對し、最も賢明なる解決を與へ且つ最善の進路を發見すべき重任を負へり、

而して此の際當路者として最先に執るべき手段は正さに農業の現狀竝之が趨勢の調査研究にして、各種農業要素の根本的調査研究の結果に依りて、將來の目標を定め之に到達すべき最善の捷徑を見出すを以て最も急務とす。

總督府が殖產局主管の下に大正九年度より著手したる農業基本調査は實に此の目的に依つて生れたるものにして、五箇年を期して此事業を完成せんとし其の第一年に於ては、先づ耕地の分配及經營、小作慣行、竝農家經濟に關する調査を行ひ、從來全く不明なりし耕地の分配狀態、各農家の經營耕地面積、自作地及小作地面積、自作小作自作兼小作各農家戶數、現行小作制度に付改善又は助

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

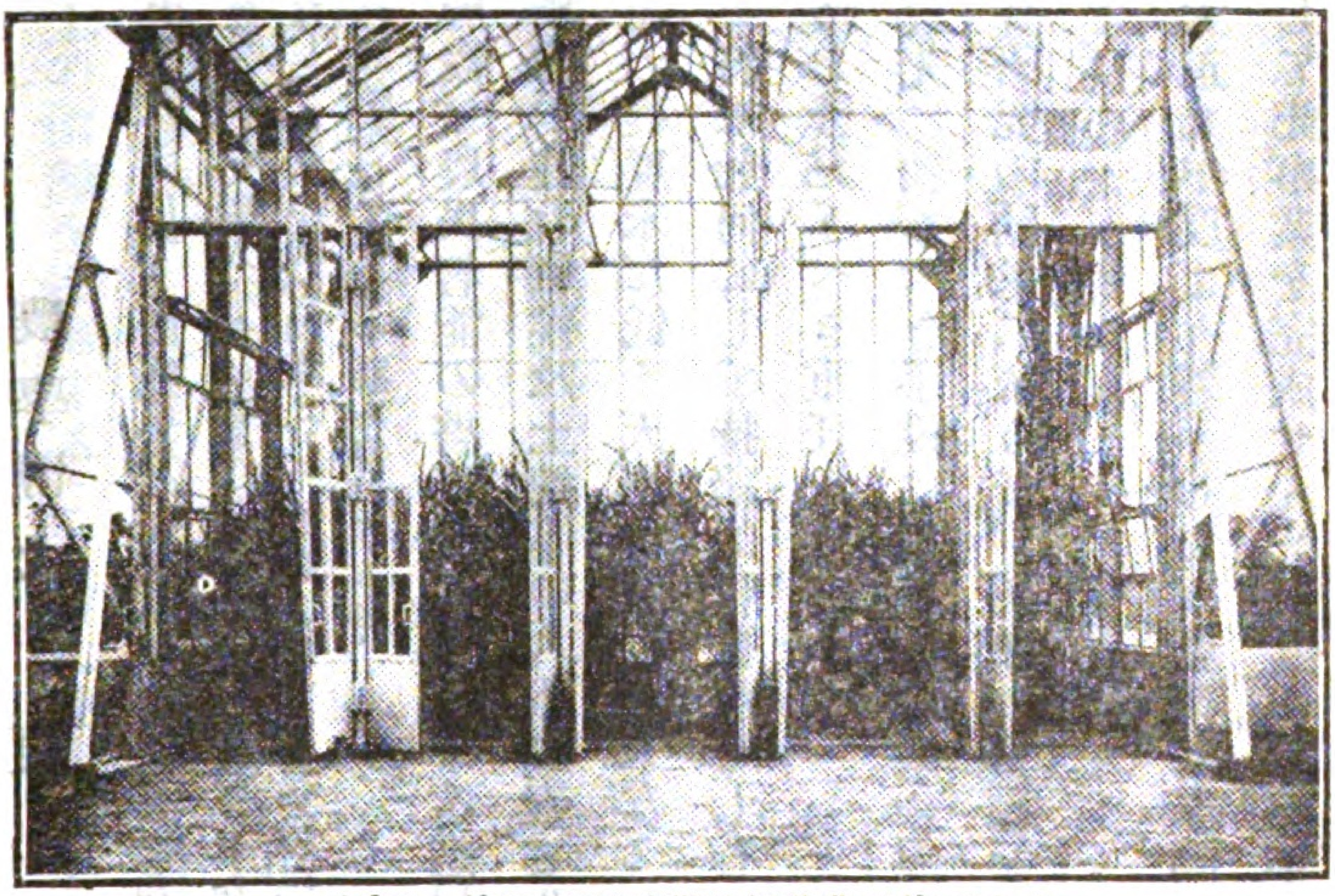
其の第一回打合せ會

長を必要とする主なる點、並農家經濟の實情等を闡明せんとし、昨年六月各廳庶務課長、殖産係長並關係職員を總督府に召集して第一回打合會を開催し、本調査の趣旨を明かにし、且つ其の施行方法に就きて打合をなし、後豫算を配付して之が實施に著手することゝはなれり。

耕地の分配及經營調査

其の周知方法

而して右第一項の耕地の分配及經營調査は、各人各戸の所有耕地及耕作地面積の調査を要するも、農家の大多數は面積の觀念に乏しく、之を各人に問ふも確答し得る者極めて稀れなるのみならず、本島當業者の慣習上、本調査は課稅の爲に行ふものなりとの風評に惑はされ、故ら事實を僞らむとする者さへあり、到底單なる申告法に依りて其の目的を達し得ざるが故に、先づ一般の疑惑を解き、本調査の趣旨が農業の改良發達を圖り、以て農民福祉の增進を期せんとするに存することを周知徹底せしめむが爲、臺中及高雄兩州の如きは、州令を以て農業基本調査規則を發布し、其の他の州廳に於ても訓示講話等に依り、出來得る限り其の趣旨の普及徹底に努め、一面に於ては保正、土地整理委員並地方の事情に通曉せる有志、篤農家の自發的援助を促し、州廳同農會郡市街庄當局各其の部署を定め、協力一致、萬難を排して之が完成に努力しつゝあり。又農家經濟調査は其の調査期間一回に付滿一箇年を要し、到底短少の



中央研究所農業部糖業科所屬溫室（新化）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農家經濟調査の困難

其第一回調査の公刊

豫算

地方當局の努力

本年の調査は主要農作物生產調査

時日を以て終了し得ざる事情あり、大正七年に於て既に之に著手し居たりしが、被調査農家は滿一箇年間日々の業務及之に費したる勞働の數量、現物及現金の收支等に付細大洩さず記帖し置かざるべからず、其の煩累一方ならざるのみならず、一家の私經濟を他人に公開することなれば、何人も喜んで之に應諾する者なく、一方調査上に於ては農家選定の標準あり、又農家を訪問して日々の記帖洩れを正し且つ調査法を指導し、之を取纏むべき調査擔當員は他に繁忙なる職務を有する等、調査上の困難明狀すべからざるものありしが、幸ひ各廳及同農會當局の努力と、選定農家の公共的精神とに依り、第一回に於て六十八戶の完全せる調査を得、之を第一報として既に公刊し、第二回の調査も近く完了の豫定なり、而して本事業に對する豫算總額は、前年度に於て二七、七四〇圓、本年度に於て三八、七六九圓(內使用停止額一、七一七圓)にして、事業の規模內容竝從業人員等に對しては甚だ缺乏の憾なき能はず、爲に調査者に與へつゝある困難決して鮮少ならざるも、州廳竝同農會に於ては本事業の必要を切實に感得し、極力督府豫算の缺を補ひ以て其の成果を全からしめむことに專心留意しつゝあり。

本調査開始後地方制度の改正ありて、調査從事中の職員に多數の異動を生じ、延いて實施計畫の變更其の他に付時日を費したること決して尠からざりしも、著手後僅々一箇年に過ぎざる今日、第一年度開始の各調査事項略ぼ完結の運びに至りしは、全く地方當局の熱心努力の成果に外ならず、其の勞に對しては大いに之を多とする處なり。更に本年新に開始せる調査事項は主要農作物生產調査にして、本島主要作物に付其の栽培戶數作附面積及本數、作柄別收量竝耕種法を調査することゝし、過ぐる六月初め州廳當局と打合を了し目下夫々進捗中なり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

稻の調査は三箇年其他は二箇年

生産統計を目的とする資料調査

其他農政上の基礎たる諸調査

事業の進捗

本調査は村治の第一歩

而して農作物は各年の氣候に依りて其の生育及收量に大なる相異あるが故に少くとも五箇年間の繼續調査を必要とするも、本事業全體の施行年次の關係上、已むを得ず就中最も重要なる稻のみを三箇年となし、其の他を二箇年間とせり。

由來生産統計は爲政者及當業者の最も必要を感ずるものなりと雖、之が正確を期すること亦最も難事にして、多年調査に苦心せられつゝあるも未だ所期の結果を得ざるを遺憾とす、而して本年開始の調査は別に目的を有し、生産統計其のもの、調査を直接の目的とはなさゞるも、之に對して貴重なる基礎的資料を提供し漸次に正確の域に導き得べきを疑はず。

此の外將來施行すべき調査事項は、農産物の需給、農業金融、肥料の需給、農産適地並農業組織（農業勞働を含む）に關する調査等にして、右各事項は悉く相關聯して、互に密接なる交渉を保てるが故に、箇々の調査固より貴重なる農政上の基礎資料たるを失はずと雖、將來永遠に亘る農政策立の企畫は全部完了の後に於て初めて爲し得べく、本事業計畫の當初に於て成るべく短期間内に之が完了を企圖せる所以全く玆にあり。

如是短期間内に各種重要事項の全般に付悉く調査を遂げんとするが故に、當事者の繁忙は一方ならず、加ふるに調査の對象たる農民文化の程度未だ一般に低きを以て、調査上の困難は内地及其の他の先進地方に比し遙に大なるものあるに不拘、當路者克く其の目的を諒解し督府の意圖を體して、之が施行に餘念なく、農界は宛ら總動員の姿にて往く所として活氣横溢せるは本調査が眞に時代の要求に依りて生れたる好證左と謂ふべし、本島地方制度の改正後早くも一年を閲す、街庄の大多數は農村なり、善美なる村治は農業の實情を明かにせざれば到底行はれ難し、殖産興業に力を致し街

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

庄民をして各々其の堵に安んせしむるを以て村治の第一歩とせば、其の企畫の基本たる本調査は街庄事務中最も急を要するもの、一たるべし。

今や日進の世の爲すべき事業甚だ多く、何れも不急不要なるは無しと雖本調査は將來施設の基本となるべき最要の事業なるを以て、所期の目的を遂行せんが爲、更に一層の努力を望んで已まず、蓋し調査の結果、新時代に適應せる新施設生れ、層一層農業の進歩發展を促し、農民福祉の増進を期し得るの日を欣び迎えんとすればなり。

植物檢査事業に就きて

農務課長　今川淵

（要旨）農作物に對する有害物。我國に於ける狀況。臺灣に於ける狀況。害蟲と植物檢査。米國に於ける植物檢査及植物輸入禁止其他の取締。我國に於ける植物禁輸及取締。本島と內地との關係。農商務省の通告と本島の植物檢査實施。植物檢査に關する交渉。本島植物檢査の將來。

農作有害物制裁要案

凡そ生物界には自然の均衡存して動物又は植物の或一種のみ徒に増殖する能はず、從つて農作物に有害なる昆蟲及び病菌に就ても、鳥類、食蟲性蟲類、寄生菌、氣象の狀態、植物の抵抗力等の制裁に依りて每年其の發生加害の狀態を同ふするを普通とするも、唯上記の制裁要素の一又は數種のものに特別異狀を來す場合に於てのみ恐慌的の大發生をなすものにして斯る場合は常に存せず。而してこゝに甚だしく或る種の栽培植物に大害をなし時には其の植物を全滅せしめんとするに至る場合を見るに多くは次の二場合に依るものなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

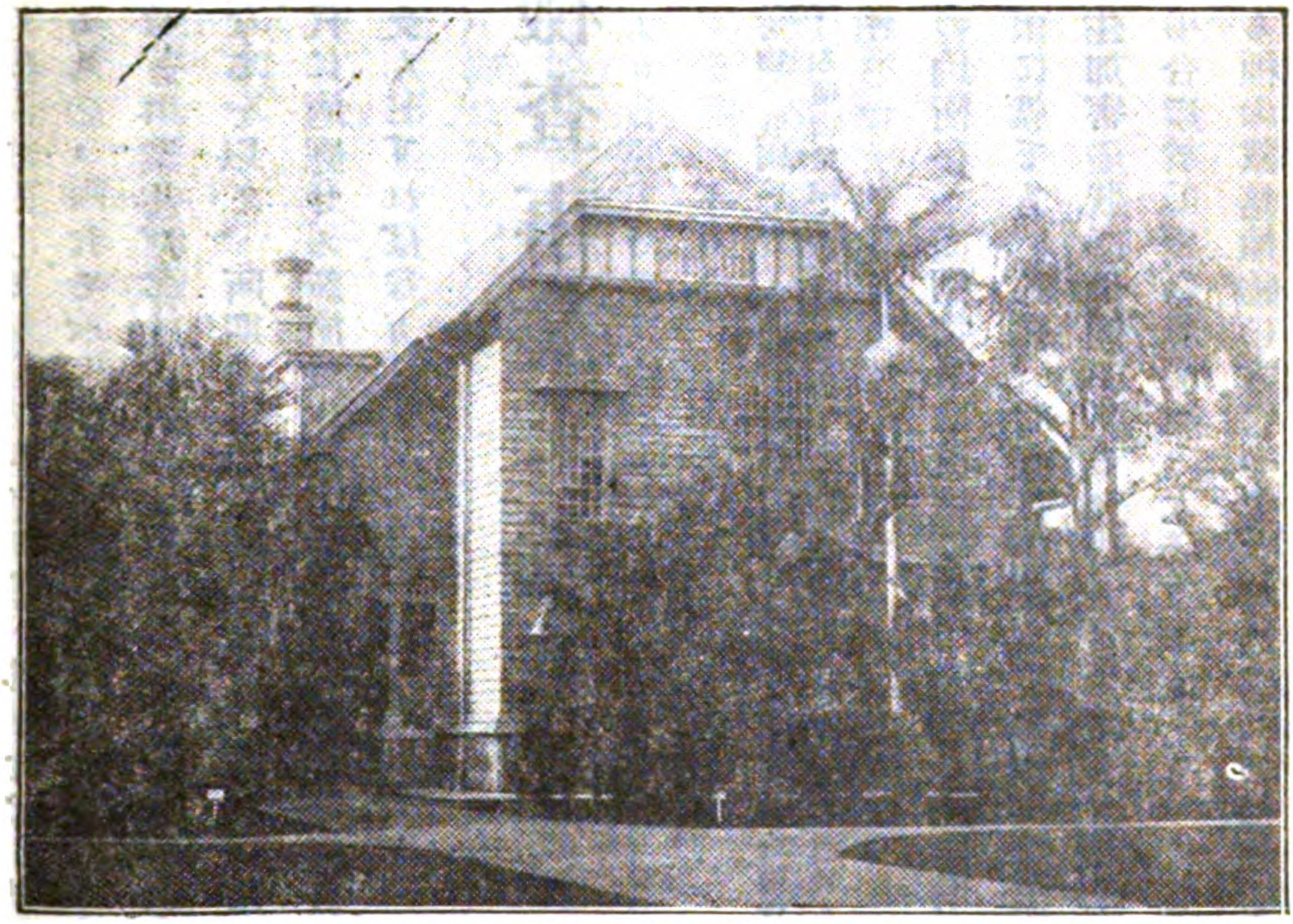
有害物大發生を爲す二つの場合

一は或一國又は一地方の野生植物に寄生して何等經濟的の關係を有せざりし蟲類又は病菌の其の寄主植物に近似せる栽培植物の他國又は他地方より輸移入栽培せらるゝに及んでこゝに豐富なる食料を得ること、なり。大増殖をなす時にして他は他國他地方より輸移入せる植物に附着して入り來れる病菌害蟲の繁殖せる場合なりとす、前者は植物檢査に何等の關係を有せざるが故に省略し後の場合につき少しく說明を加へ置かんとす。

有害生物制裁

制裁要素なき場合

凡そ或る一種の生物を取り其の生活狀態を觀察するに其の鄕土にありては獸類、鳥類、蜥蜴類、蛙、食肉性昆蟲蜘蛛等に捕食せられ寄生原蟲、菌類、細菌の寄生を受けて過半數は生育繁殖を全ふせずして死するのみならず更に夏時の炎暑、冬期の凍結により更に繁殖を制限さるゝものとす、これ一類にて數百數千の產卵をなす昆蟲も每年數に於て略同じく異常なる增加をなさざる所以なり。然るに一度此の蟲の鄕土を遠く離れたる異國に輸入せられんか其の地には



中央研究所林業部

これが繁殖を防止す可き生物繁きが故に幾何級數的の增殖をなして鄉土にありし時代の寄主植物は勿論其の近似の植物に對しても害を逞ふし之を全滅せしめんとするの程度に至るものとす。

病菌の場合

病菌の場合に於て見るも或土地固有の植物は自然淘汰の結果、固有の病菌に對しては表皮中のクチクヲ又は分泌物或は細胞の特種の含有物に依りて抵抗し致命的の被害なきものなれども、一朝新たに外國より新らしき病菌の運び來るに會するときは何等の抵抗力を有せずして直に其の病の猖獗を極むる所となるものなり。

病菌の他より來れる例

此の實例は枚擧に遑あらずと雖も今其の顯著なるもの數種を擧げんに一八四三年頃葡萄のベト病北米より名產地なる佛國に輸入され數年後に至りて其の栽培不可能の狀態に至り有名なる葡萄酒も一時生產不能の悲境に陷りしも百方研究の結果「ボルドー」合劑の發見せらるゝに及び再び葡萄栽培を復活するに至れり。

第二の例

其の後約二十年にして同じく北米より蚜蟲の一種「フイロキセラ」同地に輸入せられ再び葡萄は全滅せんとするに至れり玆に於て再び驅除法を講じたるも何等の効果を奏せざりしが該蟲の北米にありて大害なき事を知り研究の結果、北米固有の葡萄は强き抵抗力あるを確めて直に苗木を輸入し之れを砧木として佛國固有の良品種を嫁接し以て有利なる葡萄の栽培を繼續し得るに至れり。

第三の例

これより數年後一八六八年に北米「マッサーチユーセッツ」州に於て歐洲產の「ハンノキケムシ」(殆んど總ての樹木に寄生す)を不注意より逸出せしめし所、數年にして大發生をなすに至りしより政府にては其の驅除に力を致したり。卽ち一八九〇年より一八九九年の間に一百萬弗以上を費せしも何等の効果無かりしを以て終に「キンケード」氏を我國に派して該蟲の寄生蜂を輸入し此の天敵の力に依りて其の害を減したるも未だ其の大害より逃るゝ能はず。一八七〇年頃北米「カリフオルニヤ」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州「サンノーゼ」溪谷に開花せる支那桃に附著して一種の介殼蟲入り來れるが數年にして蔓延して大害をなし次で大陸を横斷し東部諸州にも蕃殖をなすに至れり。終に「サンノーゼ」介殼蟲と命名せられ政府は巨費を投じ力を致せる結果、驅蟲劑により近年は漸次壓伏されつゝあり。此の恐る可き害蟲は我日本にも輸入せられて果樹の大害蟲として知らるゝものなり。同じく「カリフォルニア」

第四の例

に於て綿吹介殼蟲を濠洲より輸入して大なる被害ありしも「ベダリヤ」瓢蟲を濠洲より輸入して此の天敵利用に成功し柑橘其の他の栽培を可能ならしめたり我が臺灣に於ても綿吹介殼蟲の浸入により柑橘、相思樹の全滅せんとせしとき素木博士の北米より此の天敵を輸入して介殼蟲を壓伏せしは今尙ほ人の記憶に新たなる所なり。

我國害蟲の狀況

我國の狀態を見るに植物學並に昆蟲學の體をなすに至りしは近年の事なるに由り動植物の昔時の狀況を知る能はざるを以て何年に如何なる病害、如何なる害蟲の輸入せしかを詳にし得ざるも內地に於ける果樹の主要害蟲の大半、稻の「イッテンオホメイガ」其の他多くの主要作物の害蟲の輸入種なる事は分布の狀態に依りて察知するに難からず。

臺灣の害蟲

臺灣に於ても前記「イッテンオホメイガ」を始め甘蔗の諸種の螟蟲、露菌病等は幾多輸入病蟲害中の最も顯著なるものとす。近くは北部に芭蕉象鼻蟲輸入せられて其の發生區域の全芭蕉を燒却する事に依り其の蔓延を防止したるは人の知る所とす。

害蟲と植物檢査

上記せる如く栽培上に恐慌を來す可き病蟲害は殆んど之れを制裁す可き天然要素なき地に輸入せられたるものなるを知る。玆に是等の輸入を防止して其の國の殖産を保護せん爲めに試みられたるもの、卽ち是れ植物檢査事業なりとす。

若し臺灣に於て稻に一點大螟蛾無く、甘蔗に露菌病、螟蟲無くんば其の栽培には勞なくして更に莫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國の植物檢查

米國の害蟲

特殊植物の輸入禁止

一般植物の輸入禁止

土壤附著の制限

大なる利益を擧げ得るは何人も想像に難からざると共に、未だ臺灣に發生せざる害蟲にして近隣の地に大害をなすもの幾多あるを思はば誰か之が侵入を未前に防止するの必要を感ぜざるものあらん始め植物檢查を大規模に行ひて充分の効果を擧げんと試み今尙は努力しつゝあるは北米合衆國にして、現在に於て我國と植物檢查上に問題を惹起しあるも亦た米國なり。今彼の國の植物檢查の大體を見るに、輸入港に於ける肉眼竝に檢鏡檢查にては如何に努力するも人力の尙は充分の効果なく、時に病蟲害の侵入を受けて豫期の目的を達する能はざりき。今北米にて檢查開始後輸入せる害蟲の重なるは、我國にも近年より大害をなしつゝある梨の「ヒメシンクヒ」及び「マメコガネ」なりとす。前者に就きては目下盛んに研究され年々有益なる報告書出版され、後者に對しては目下クローゼン氏來朝して天敵の發見に努め居れり。斯かる狀態なるが故に檢查は年々嚴重となり、終には植物の輸出禁止又は甚だしき制限をなして絕對に病菌、害蟲を防止せんとするに至れり。即ち從來は特殊植物の輸移入禁止、制限等は園藝局にて決定の上發布され居たり。五葉松の輸入禁止、馬鈴薯、玉蜀黍の輸入制限等は此の決定に依り行はれ居たり。然るに北米合衆國に於ける植物檢疫法施行上の目的にて農務卿は農務省に五人よりなる委員會を組織し現今は昆蟲局次長此の會長を務め居れり。斯くて一九一八年十一月檢疫布告第三十七號に依りて一般植物の輸入を禁止し、僅かに全く病蟲害傳播の憂無き特殊の植物の其の輸出國官憲に於て檢查證明せるもの丶みを嚴重なる檢查の上輸入を許可する事となれり（大正八年六月十八日農商務省告示第百七十三號改正、亞米利加合衆國へ輸出する植物にして同國政府に於て其の輸入に付き輸出國の檢查證明を必要とするもの丶種類參照）然も此等の植物と雖も土壤を附著する事を嚴禁せるに同國內の園藝業者の反對猛烈を極めたる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特殊土壤の附著

爲め翌一九一九年二月に至り檢疫布告第五十七號を改訂して百合根、鈴蘭、水仙「ヒヤシンス」「チユーリツプ」「クロカス」の球根類に限り前記委員會に指示せる方法（蒸氣熱又は「フォルマリン」死斯を用ふる）にて消毒殺菌せる土壤を用ひて包裝するを許可せり。其の後一九一九年十一月我國、「オランダ」外一國より上記の消毒殺菌を施さざるも特殊の土壤を使用するときは病菌害蟲の附著する恐なき故、斯かる土壤に對しては消毒殺菌を施さざるも差支へ無き樣、改訂方を米國に交渉の結果、同國に於て上記三國に限り球根類の包裝土壤は其の國の植物檢査官に於て適當と認定せるものならば必ずしも消毒を施すを要せずとの意味の通牒を發布せり。是等にて如何に先進北米合衆國の此の問題を重大視し居るかを伺ふに足らん。

我國に於ける植物檢査

飜つて我國内地に於ける狀態を見るに我が國より米國に輸出せる苗木其他の植物の彼の地に於て陸揚禁止又は燒棄せられて當業者の損害を被りし事幾回なるを知らず。

輸出入物の取締

而して一方にては外國より何等阻止せらるゝ事なく病菌害蟲を入れ居りしが、終に對米關係其他の理由に依り受動的に大正三年始めて植物檢査所を設置して輸出入植物の取締を行ふに至れり。斯くて輸移入植物の檢査を行ひ以て病菌害蟲の輸入を防ぎ一方米國に苗木、種子其の他植物を輸出するものゝ便宜を計り、傍ら病菌害蟲に關する研究調査を行ひ隣接諸國に發生する害蟲にして未だ内地に發生なき種を確め此れが浸入を防がん爲め特殊の植物の輸移入を禁止又は嚴重なる檢査を行へり。大正六年臺灣印度南洋産胡瓜西瓜其の他葫蘆科植物の禁輸移入は最も本島に打擊を與へたるものとす。これ該科の瓜中には「ウリミバイ」の寄生あるを以て、其の内地に侵入して其の栽培に打擊を與ふる事無からしめん事を期して行へるものなり。續いて同樣の理由よりして蕃茄の生果實、莢付生菜豆豇豆の禁輸を行へり。其の他本島に對しては何等の關係無きも布哇より發

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島と內地との關係

柑橘類の害蟲

農商務省の通告

本島の植物檢査實施

迭したる生果實、生蔬菜、歐洲、亞弗利加、濠洲、南北兩亞米利加より苹果、梨其の他の生果實の輸入を禁せり。此の中香味に於て本邦産の遠く及ばざる米國産苹果を昨年來禁止せることは橫濱、東京在住外人の甚だ苦痛を感せる所なりと云ふ。更に近々諸外國よりの柑橘生果實の禁輸を斷行せんとし目下研究中なりと聞く。本島の殖産業と農商務省植物檢査との關係を見るに、前記禁輸品の他に最も重大なるは柑橘の生果實とす。該果實の內地に入るの際に檢査を行ふは、內地に於ては柑橘類には恐る可き綿吹介殼蟲を始め數種の害蟲、特に宮崎縣地方にては蜜柑蠅の大發生ありて其の栽培には少からざる障碍となり居れる今日、若し本島産柑橘の害蟲蜜柑小實蠅の生果實に附着して內地に入り蕃殖せんか斯業の悲境に陷るべき事明かなるを以てなり。由來檢査は如何に注意して行ふも多數の內には見落しあるは人力の如何とも爲し能はざる所にして、而も此の見落しは等閑に附す能はざるものなり。數萬の果實を檢査するに當り例へ一本一個なりと雖も病菌害蟲の附著するを發見するときは其の全部を危險物と見做して處分するは現今各國の植物檢査に於て原則となす所なり。然るに臺灣産柑橘果實に對して貨物として移入し來れるものに對しては消毒を施すも、手荷物に對しては其各個に就き肉眼檢査を行ひ實蠅の附著せるもの丶み除去して他の個體を移入せしむる如きは極めて寬大にして好意ある處置なりと云ふべし。是に於てか農商務省より臺灣總督府に對して植物檢査所を設置して內地移出の柑橘に對して嚴重なる檢査を行ふに非ずんば、是亦た移入禁止せんとの內意を示し居れり。

茲に多年計畫され居たる臺灣の植物檢査も豫算成立し近々實施の運びとなれり。當初は內地に移出する柑橘の果實の檢査を行ひて內地に於ける檢査は之れを省略せしめて移出業者の便宜を計り一方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

植物檢査に關する交渉

輸移入の栽植培養の苗木種子等に對し檢査を行ひて島內の殖産の安全を計るにあるも、逐次本事業を擴張し調査研究を進め瓜類其の他の移出を可能ならしめんとす。

先年農商務省に對して柑橘の檢査省略の內交渉をなせし所、先方に於ては臺灣に大體次の如き檢査を行ふに於ては內地の檢査は省略す可しとの意を洩せり。卽ち生産地に於て一度個體檢査を行ひ、然る後移出港にて(一)個體檢査(二)欒類は二十日、柑橘類は十日貯藏し(三)然る後二硫化炭素及青酸瓦斯の燻蒸を行ひ(四)荷造り包裝は檢査官立合の上害蟲附著せる虞なき材料を以て行ひ檢査濟の證印を附す(五)上記の證印あるものに非ずんば內地行船舶に搬入せしめざる事等なりき。

然るに生産地檢査、移出港檢査と再度の檢査を行はんか當業者の不便甚だしき故、當殖産局に於ては檢査は總て生産地最寄りの檢査所にて全部を行ひ、荷造、包裝を完全にして移出港までの途中に害蟲附著の憂なきを期す可きを云ひ、一方前記(二)にある貯藏日數は是を欒類十日、柑橘類七日と短縮せん事を農商務省に交渉せり。この貯藏するは果實內にある實蠅の卵は(三)の毒瓦斯燻蒸をなすも死せず、故に或る日數を經過して其の孵化を待ち消毒をして完全ならしめんが爲めに過ぎず。當總督府部內に於ける調査に依れば未熟の場合を除き、內地に移出せらるゝ程度に迄成熟せる柑橘類の果實にありては、其の內に産付せられたる卵期の四日以上なるを見ざるを以て、之に餘裕を附して七日と十日の貯藏日數を主張したるも容れられざりき。然れ共一方に於て生産地、移出港の再度の檢査は行はず、唯一度の檢査のみを行はんとする我主張は容れられたり。卽ち自今行はるゝ柑橘檢査方法は上記の如くにして決せられたり。此の檢査は甚だ不便極まる如くなるも、發送せる果實の途中にて過半數の減損せる往時に比して當業者に與ふる利益は大なるものと信ず。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農商務省の慫慂と果實移出業者の希望とに依りて實施せられんとする我植物檢査事業は今や緒に就き、自今主として柑橘の檢査を行ふ筈なり。農商務省側は內地柑橘栽培業保護の重大目的の爲めには臺灣の移出業者の多少の不便は之れを顧みずと雖も、之れ止むなき事にしてこの大目的の遂行上支障を來さざる範圍內に於て、臺灣の柑橘を移入せしめんとす。本島に於て檢査事業に從事せんとするものは素より母國の產業を脅威する害蟲病菌を送り出さざる範圍內に於て生產業者及移出業者の便宜を謀り以て產業の發達に資せざるべからず。然れ共我が檢査は將來如何なる成績を舉げ得るやは未知の事にして我主張の信用もて全部農商務省に容れらるゝ日の有無、遲速、從つて禁輸品の撤廢の時期の如何は爲政者の方針技術官の努力並に當業者が如何に本事業の精神を了解するや否やにより決せらるべし。

米國の通商政策

總督府參事官　吉岡荒造

（要旨）（一）緒論、世界の現勢、日英米の勢力（二）米國勃興の原因（三）米國の富源、世界の原料と米國の原料（四）歐洲戰爭の米國に及ぼせる影響（五）米國の通商政策（六）結論

一　緒論　世界の現勢

熟々方今の世界の形勢を觀察するに、世界各國何れも皆な汲々として、戰時中の傷痍を醫し、其の國力の恢復を圖るが爲め、官民一致協力して大いに之に努めつゝあるの狀態である。而して戰爭

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界の戰後經營

各國の對外政策は國家本位

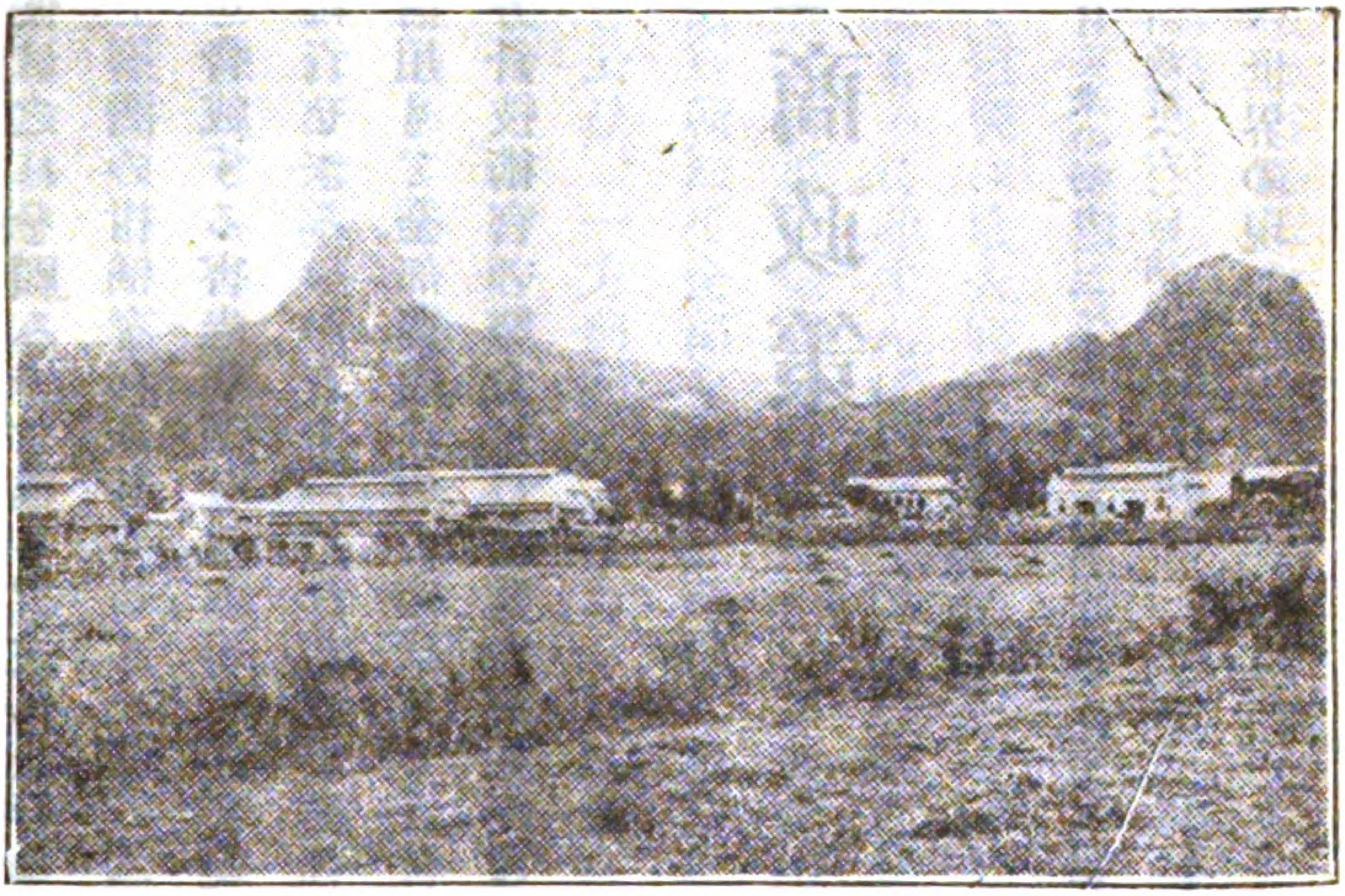
米に於ては合衆國

歐に於ては英國

東洋に於ては日本

に因りて消費したる財力を恢復するが爲め、國內の産業を奬勵し、外國貿易の隆盛を圖ると同時に、又た一方戰爭の爲め覺醒したる勞働問題解決の爲に苦心慘憺たる有樣である。其他運輸交通、移民、植民、社會、政治等、改造時代に於ける多種多樣の問題は、經世家の最も苦心する所である。

然り而して各國の對外政策を觀るに、何れも皆な國家本位であつて、殊に戰爭を防止する爲に企てられたる國際聯盟も米國の加入せざる結果、何れの國家も皆な積極的に海軍の擴張を計劃しつゝあるの狀態である。而して今日世界に於て國勢の最も隆々たるは何と言うても合衆國を推さゞるを得ない。其の國土は廣く、資源に富むのみならず、國民は活動力に充ち滿ちて居るから、其の國家民衆の發展の狀態は恰も旭日昇天の勢で、南北亞米利加中に於ての覇者たる者は合衆國の外には無い。然るに足一度び歐洲に至れば、此處では何と言つても英國が頑張つて居て、政界及び貿易界に一頭地を抽いて居る。而して東洋を顧みると、此處では歐米の强國が入り込んで勢力を扶植せんと努めて居るが、何と言うても大和民族の蟠居する大日本帝國が、政治界並に貿易界に覇權を有することは爭ふべからざる事實である。斯く觀じ來れば現時世界の大勢は日英米に依りて決せられつゝあるの



（中央研究所恒春種畜支所全景）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

威なきを得ざる次第である。

二　米國勃興の原因

米國人の活動的精神

そこで、私が今日爰に主として述べんとするのは米國のことである。米國が如何にして今日の富强を致したるやは、其の豐富なる天然的の富源あるに加ふるに、歐洲より移住し來れる資本家の、大いに資本を投下し、而して低廉なる勞力を飽用せることが、其の主たる原因たるに相違ないが、尙ほ夫れよりも最大なる原因と認むべきは、米國人に固有なる自主獨立の活動的精神の存在せしことである。此の活動的精神たるや、米人の特徵にして、日曜も安息せず、朝から晩迄、力行して息まざるの風がある。足一度び米國の地を踏むものは、何人も其の活氣橫溢たるに驚くことであらう。

英米獨の比較

私は倫敦に居る時、英米獨の民族の氣風を研究して見たことがある。彼の信長・秀吉・家康の三人の性格を歌つた俳句がある。

信長　鳴かされば殺して仕舞へ杜鵑　米國
秀吉　鳴かされば鳴かして見せむ杜鵑　獨國
家康　鳴かざれば鳴くまで待たむ杜鵑　英國

米國人のは恰も信長の殺して仕舞へといふ如き概があることを感じた次第であつた。

三　米國の富源＝世界の原料と米國の原料

米國の富源

斯の如く米國人は活氣に滿ち、何事も其の力行に依つて解決せんとする底の國民であるから、汽車の事故なども自然此の國に於ては多く見らるゝのである。併し此の活動的精神が存して居ても、其の開發すべき富源が無くては能く國勢の隆々を致すことが出來ぬ筈であるが、前敍の如く米國の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

富源は非常に豊富なるが爲に、其の活氣ある國民と相俟つて產業上の偉觀を呈して居る。卽ち其の富源に於て米國が實に世界一の原料國たることは統計によりても既に顯著なる事實で小麥、石炭、石油、銑鐵、鋼鐵、銅及綿等の原料に於て世界第一に位するのである。

米國は世界第一の原料國

右の如く米國は原料豐富なる爲め、從來原料を輸出し來りしが、漸次工業國に變化せるの結果、遂に製造品輸出國と變ずるに至つた。一體米國の產業は、戰前十年頃より漸次發達し來れるもので、農業時代より工業時代に進展して來たものである。其の結果外國輸出品の上に變化を來し、原料品及食料品の輸出は全體の割合から漸次減少して來たのである。反之、製造用の原料の輸入は漸次增加すると同時に、製作品の輸入は減少し、却て製造品の輸出の增加を見るに至つたのである。次表は米國に於ける其の貿易の發展を示すものである。

原料輸出國より製造品輸出國に變ず

年次	▼輸出 粗品（パーセント）	輸出 食料品	輸出 中製食料品	輸出 半製品	輸出 製造品	▼輸入 粗品	輸入 食料品	輸入 中製食料品	輸入 半製品	輸入 製造品
一八七五—一八八四	三三	二三	二四	五	一五	一七	一七	二二	一三	三一
一八八五—一八九四	三六	一六	二五	六	一六	二二	一七	一八	一五	二八
一八九五—一九〇四	二八	一六	二四	一〇	二二	三〇	一五	一四	一五	二六
一九〇五—一九一四	三二	七	一六	一五	二九	三四	一二	一二	一八	二四
一九一五—一九一九	一五	一二	一八	一六	三九	四〇	一三	一四	一七	一六
九箇月 一九二〇	二六	八	二〇	一二	三四	四四	一三	一四	一六	一三

四　歐洲戰爭の米國に及ぼせる影響

米國貿易の發展

今米國が歐洲戰爭に由つて如何に其の產業が進展し外國貿易が發展したかを見るに、戰爭終結後

の一年間の合衆國の外國貿易額は二十三億六千萬磅であつて、其内輸出額は十五億八千萬磅、輸入額は七億八千萬磅で、輸出の輸入に超過すること八億磅である。然るに戰前の一年間の貿易額は八億六千萬磅であつて、其内輸出額は五億磅、輸入額は三億六千磅で、輸出の輸入に超過すること一億四千萬磅であつて、之を一九一九年の輸出入の差額に比すれば實に六分の一に過ぎぬのである。

債務國より債權國となる

以上の如く貿易順潮なりし爲め、合衆國は忽ち債務國より債權國に轉換した。今合衆國が外國に負ふ債務の額を見るに、戰前八億磅なりしもの、戰爭の結果、地位一變して今や合衆國は外國に對して二十四億磅以上の債權を有するに至つたのである。

關稅政策の一變

次に歐洲大戰爭が米國に與へたる影響を見るに、米國が歐洲の問題と密接なる關係を有するに至つたことも、其の主なる一つである。其結果、米國は自國の內政に關し從來よりも一層廣き見地から處理せねばならぬことゝなつた。殊に關稅の問題に就ては、從來單に米國の收入を增加し、米國の產業を保護すべき、純然たる國內問題としてのみ一般に考へられ、而して其の關稅なるものも、外國からは製造品を輸入し、自國からは原料品を輸出するといふ假定に基いて居つた。然るに戰爭の結果、今日は形勢一變して製造業者は單に自己の爲に國內市場の保護を要求するに止まらず、進んで製造品の輸出を盛んならしむべく海外に市場を獲得する爲め、政府の補助奬勵を要求するに至つたのである。故に今後の關稅政策は輸出問題に向つて特段の注意を拂はるゝであらうと思ふ。

五　米國の通商政策

米國の世界的通商の發展

今米國が如何に世界に向つて通商の發展を爲さんとしつゝあるかを研究するに、一方米國の國內に於て貯藏品の減少したる事と、他方に於て國民の購買力の增加したる事は、國內市場の好景氣の

米國の生產能力增加

米國の輸出貿易促進策

基礎を爲すものたると同時に、國外に在りては獨逸が差當り戰前の如く國際貿易業者として活動し難き事情あるに加へて、米國の工業的能力は、自國が需要する以上生產し得べき餘裕あるのみならず、其の海運業は旺盛にして而して歐洲は米國に多大の債務を負ふこと等は、米國が製造品並に原料品を世界各地に輸出し以て永久的の大發展を爲さんとする準備に對して大なる刺戟を與ふるものである。是に由つて亞米利加人は、今や世界が要求しつゝある必要品は、世界の何國よりも最も多く合衆國に於て生產し得べきが故に、合衆國は當さに世界に於て最大なる貿易業者たるべき運命を有するものと確信するに至つたのである。

由來、合衆國の工業は一九一四年以來、其の生產能力を增加したること約二十五％に及んで居る。就中、鋼鐵業及製革業の如きは四十％の生產能力を增加し、靴・自働車・機械類は二十五％を增加して居る。斯く生產物の增加し、而して其の價格の昂騰せるにも拘はらず、米國の工業の旺盛なることは、斯の如く盛んなる國內の需要以上に生產するを以て、是非共此の餘剩を海外に向つて販賣せざるべからざると同時に、合衆國は是非とも毛皮・護謨・家畜・木材・絹・珈琲・砂糖・茶等の原料を外國から輸入するを要するの狀態に在るが爲に、海外貿易といふ事は合衆國の經濟的活動を爲す上に於て、今や必要缺ぐべからざる問題となつて居るのである。

以上の如く大戰の結果、米國は其の工業上に一大發展を爲したが、併し他方面を觀れば、東洋に於ては日英は依然として覇を唱へ、又た歐洲に於ては英佛は尙ほ其の覇權を握つて居るので、從來の政策を墨守するは到底米國の大を爲す所以に非るを自覺し、遂に輸出貿易促進策を講ずるに至つたのである。其の結果、海外貿易を助長するの目的を以て成案されたのが「ウエッブ、ポメレン」條

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貿易を助長すべき諸法令

ウエッブ條例

會社の合同を認許する規則

例であつて、其の他に「エッヂ」條例及び「ジョンス」船舶條例が前後して制定されたのである。右第一の「ウエッブ、ポメレン」條例は一九一八年四月、其の通過を見たのであつて、其の條例の趣旨は外國貿易發展の爲め會社の結合を認許する所のものである。但し「シエリマン、アンチ、トラスト」法に違反せざることを條件として居る。卽ち「アンチ、トラスト」法は國内通商上の目的に於ける會社の合同に對して制定せられたものであるが、「ウエッブ條例」は外國貿易を進展せしむるの目的に出でたるものであつて、世界の貿易は競爭の貿易であるから、合衆國の製造業者と貿易業者とを他國の同業者と競爭せしめ得るの地位に置かんとする趣旨に成れるものである、該法の目的は英國に於ける「コムビネーション」、獨逸に於ける「カルテル」、佛國及白耳義に於ける「シンジケート」等と同一のものである。

エッヂ條例

金融機關の改善を目的とする法令

次に「エッヂ」條例は、外國貿易に關して金融機關の改善を目的としたるものであつて、米國公衆に賣買する爲め外國から受取つた色々の擔保に對して、證劵を發行し得る金融團體を作ることを許容したのである。此の條例は昨年十二月三十一日に其の通過を見たのであるが、是に依つて銀行業者や商業團體が利益を受くるを得て、外國貿易に資する所頗る多きを期待せられて居る。

ジョンス船舶條例

第三の「ジョンス」船舶條例は、或る外國の船舶所有者にして特別恩典を與へらるべき組合に屬する場合に、若し米國の船舶所有者が同樣の恩典を受け居らざる時は、其の外國船舶に對して入港を拒否すべき權限を港務官吏に附與するものである、以上皆な共に米國の海外貿易を助長すべき趣意に成つたものである。

輸出貿易

斯く外國貿易は輸出業者間に合同を必要とするのみならず、大なる商業團體並に政府自身の補助

に對する米國朝野の一致協力

內外通商局

世界到る處に調査員を派す

民間團體の協力

を必要とするのである。之が爲め合衆國では今や朝野を擧げて、一致協力して輸出貿易の進展に熱中して居る。官廳側に於て外國貿易の發展に從事せる主なるものは內外通商局である。此處には調査員を置き、之を世界到る處に派遣して一般經濟並に工業狀態を調査せしめ、併せて特種の貿易に關する條件並に機會を報告せしむることになつて居る、昨年此の調査員は英國へ行つて金融及財政並に木材及化學工業を調査し、南歐及露西亞へ行つて木材を調査し、東洋に來つては鑛山並に港灣及運輸の便宜を調査し、歐洲全體に亘りては自働車・皮革・機具・硫黃礦を調査し、佛國及「アルゼリア」に行つては農業用器具・木材・化學工業並に木材工業上の器機を調査し、西班牙に行つては鑛山・電氣機械及金融狀態を調査し、南米に行つては家具・機械・織物及熱帶產物を調査し、以て其の結果を國內各都市に在る各支局を通じて製造業者及貿易業者に公表することになつて居るのである。之と同時に民間側では(一)國民外國貿易會(二)製造業者聯合會(三)米國製造輸出聯合(四)紐育商人聯合會(五)北米合衆國商業會議所(六)費府商業博物館等がある。其の第一の國民外國貿易會なるものは、外國貿易に關係ある重なる商人・製造家・農業家・鐵道及汽船從業員及銀行員等より成れるもので、其の重要なる報告を發行し、毎年一囘會合して外國貿易に關する主なる問題を討議するのである。次に第二の製造業者聯合會は、永久事務所を有し、常に內外貿易特に外國の信用・運賃又は特許・商標等に關し特別の注意を拂つて居る。又た第三の米國製造業者輸出聯合會も亦た外國の信用・特許・商標・運賃等の報告を集めて居る。(四)其他外國貿易に關しては、米國の朝野を通じて協同の精神が從來より一層旺盛であつて、官民協力して對外貿易の促進策に腐心して居るのである。

次に米國にては外國貿易に成功する爲には、是非とも海外投資・船舶・銀行・人物の四者完備する

外國貿易に成功すべき諸條件

海外投資

船舶

銀行

人物

ハーヂング大統領の就任演說

を要する事、今や一般に認めらるゝに至つた。第一海外投資に關しては、合衆國は前述の如く外國に對して多額の債權を有し、其の額は歐洲のみにても百億弗に上り、國民は如何なる場合に於ても海外投資の有利なるを認識して居る。次に船舶に關しては、戰前米國は四百二十八萬噸の汽船を有し、獨逸に次ぐ第三位の海上國なりしも、其の航洋汽船は僅かに二百萬噸に過ぎずして、其の對外貿易の九割以上は英獨諾等の諸外國船に依賴せざるを得ざる狀態であつたが、一九一七年以來、約四十億萬弗の巨費を投じて鋭意大商船隊の建造を圖りたる結果、今や航洋汽船千二百萬噸に達し、戰前に比し五倍强、戰前の獨逸に比して二倍强、現在の世界總噸數に比して其の二割三分に相當する大商船隊を有し、世界第二の大海上國たる地位に躍進せり。又た銀行に關しては、各種の金融團體は世界各地に支店を設けて貿易の助成に力めて居る。最後に人物に關しては、從前亞米利加の靑年は英國の靑年と異り、本國を去りて海外萬里の地に行くを好まざるの風ありしが、近來は愛國心の鼓舞と其他特殊の敎育とに依りて海外發展の思想を養成せられたる爲め、盛んに海外に赴くの風を成すに至つて居る。

米國では大統領が更代すれば、對外通商政策も亦た自から變化するは當然であるが、本年三月ハーヂング氏の大統領たるや、其の就任演說を見るに保護政策を標榜して居る。即ち其の演說の一節に曰く、米國の市場を世界に公開せば、米國の產業の優越、米國民の生活程度並に機會を維持し難きは屢々立證された所である。斯る不公平なる競爭は保護關稅政策以上に誤れるものである。由來米國人の生活標準を維持する爲には米國の生產を一層豐富ならしむる必要がある。之が爲には國民が通商の恢復並に擴張を求むること前代未聞なる今日に當り須く輸入稅に觸れざるべからず。關稅は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國の通商政策と日本國民の覺悟

日英米の協力一致を要す

自己實現主義の必要

新なる經濟的趨勢に順應せしむ可し。吾人は世界交易市場に參加せんとす。是れ國交を廣くし平和的勝利を得る所以なればなり。

今日は單に恢復にのみ滿足すべき時期にあらず。生産運輸及貿易の新時期に入るべき機會とす。而して之が爲には內國の過剩生産貨物を米國船に依りて全世界の港に運ぶべきを最良の方法となす。斯くて米國人は自給自足、獨立の精神を以て、絶えず高尙に强力に富有に進み、自己の高き生活標準、歷史ある立憲的自由及今日まで持續し來れる好運に濶步すべきなり云々。

七　結論

米國の通商政策は以上の通りである。日本國民も今後大いに大和民族特有の精神を發揮し、以て産業を發達せしめ、外國貿易を盛にして海外發展を計ることは目下の急務と信ずる、而して余輩の持論としては、世界各國皆な和親協同して世界の平和、人類の幸福を增進することに努力すべきは當然であるが、殊に日英米の三國は、一層協力一致して世界の文化に貢献する義務あるものと信じ、日英米三國の同盟を希望して止まざる次第である。只米國の一部に排日問題があるが、之は只其の一部に過ぎないのであつて、之が解決策に關しては余輩は甞て雜誌新臺灣に公にしたことがあるから、今之を繰返さぬが、兩國民は道德上の主義として自己實現(Self-realization)を守ればその間親和を保つことが出來るのであるから、余輩は我が移住民に向つて此の主義を鼓吹せんとするのである。要するに兩國民は和親協力すべき歷史を有するのであるからして、益々和親協同して世界の平和、人類の幸福の爲め貢献せんことを切望して止まざる次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

辮髪に對する史的研究（二）

總督府囑託　鷹取田一郎

專制政府に抗議を提供する者は相當の罪を豫期せざる可からず

大聖孔子

四　薙髪令に對する抗議

凡そ專制國に在りては政府か人道を無視して多數國民の幸福を阻害する場合、若くは人情に悖つて多數國民の意思に協はざる場合に於て、或は地方官又は庶民の義俠心に富める者、衆に代つて奮起し政府に抗議を提出するの例少なしと爲さず。此の場合に於ては抗議者か政府の威厳を冒瀆するの罪に服することを豫期するは當然なり。而して政府か暴戾殘忍、毫も國民の苦痛を憐まざるの極點に達したるに及んでは其の刑罰の輕重大小を論せず寧ろ生命を賭して之れに抗議を容る、の例は、古の專制國に於て屢次實現したる所なり。彼の清朝か後年廣東、福建、浙江、江蘇、山東の沿海各省に對して遷界移民の暴令を斷行したる時の如き、殆んど死を以て之れに抗議を容れたる者、前後相繼ひて現はれたるは事實なり。然るに薙髪令の宣布せらる、や、支那四百餘州の人民は悉く血の涙を流したるに相違無しと雖も、當時之れに抗議を容る、者は未だ曾て之れ有らざりし。是れ畢竟三千年來の慣習を放棄する精神上の苦痛に過ぎずして、未だ生活又は財産上の苦痛に非らざるに由るなるべしと雖も、薙髪令その物の餘りに峻嚴苛酷にして、其の之れを犯すの罪は直に以て死に問はる可きこと瞭然たりしにも由らずんばあらず。彼の『殺シテ無レ赦ス』の三字は實に人をして一讀慄然たらしむる者ありたる也。

實に前段に述べたる如く、天下は皆な口を噤むき目を聳て、只此の薙髪令を拜戴し、血の涙を呑

の子孫始て薙髪令に對して抗議を提出したり

んて之れに從ひたりと雖も。遂に是歳八月に及んで一人の抗議者を出すに至りたり。其人を誰と爲す。即ち原任陝西河西道孔聞漂、是れ也。

孔聞漂は山東省袞州府曲阜縣の人。實に彼の大聖孔子の後裔にして即ち當代衍聖公の父に膺れる貴紳なりとす。今薙髪令の明文に據れば、地方官にして若し此事の爲めに表章を瀆進し、將に朕が己定の地方を取つて仍ほ明制を存し、本朝の制度に遵はさらんと欲する者あらは殺して赦すこと無しと謂へり。今孔聞漂、身は陝西河西道の職を以て敢て之れに抗議を容れんとす。死は固より其の豫期する所ならざる可からず。然れども周より明に曁ひ、己に上下三千年の歷史を有せる衣冠禮樂を滅却し、一朝にして夷狄の風俗を以て先聖の典型に代へんとするに至つては孔子の子孫の到底坐視するに忍ひざる所寧ろ死を以て之れを爭はんとするは當然なり。孔聞漂にして始めて之れを謂ふを得べし。蓋し他人の謂ふ能はざる所たる也。今其の抗議の全文を揭ぐれば左の如し。

中央研究所平鎭茶業支所附屬茶園

臣家宗子衍聖公。己遵レ令薙レ髪。但念先聖爲ニ典禮之宗一。章甫縫掖。自レ漢曁レ明三千年。未ニ之有レ改。今一旦變更。恐下于皇上崇儒重道之典。有上レ所レ未レ備。今應ニ蓄レ髪。以復レ本。等ニ衣冠統惟一。

支那は儒教の國なり

夫れ支那は儒教の國なり。堯舜禹湯、文武周公を以て聖哲の大宗と爲し、萬世の師表として洽く國民の瞻仰する所の者は孔子あるのみ。されば孔子の祖述せる詩書易春秋禮記等の典籍は、卽ち支那國家學の淵源、又た國民道德の標準と爲れる者にして、禮樂刑政、衣冠文章、悉く其範を之れに求めざるは莫し。その之れに從ふ者を以て純正の學術と爲し、然らざる者を以て異端と爲す。斯の如きは漢の文帝が孔安國等の諸儒をして、孔子の遺書を整理せしめたる以後、上下二千年に亙つて曾て衰退する所を知らざる國民思想の精髓にして、支那の天下に帝王たる者幾度其の家を代ふると雖も、未だ曾て此の典型を破壞し去る者を見ず。啻に之れを破壞し去るを見ざるのみならず、歷代の帝王は皆な之れを以て國家の典型と爲し、その教義を演繹して以て之れが隆興を推奬せざるは殆んど稀なり。

釋道に依つて儒教に對する信仰を妨けられず

固より老莊の學若くは釋道の教の如きあり、或る時代、或る地方、又は或る階級に由つて幾多國民の歸嚮を受くる者其他に少なからずと雖も、儒教に對する信仰は斷して之れが爲めに妨けられざる也。

耶蘇教と儒教との關係

明朝の天啓以來（唐朝の景教は別論として）歐人の耶蘇教を以て支那本土に布教する者少しとせず。然れども彼の利瑪竇の如きは曾て其の布教師の會議を開きて、信徒の孔子を禮拜し其の經典を尊重するは教義上毫も妨けざる者なりとの決議を爲し、以て支那に於ける布教の方針を確定せることあり。單に此の事實を以て考ふるも、支那本土に侵入して或る事業を企畫せんとする者は、如何なる賢哲如何なる英雄と雖も、斷して孔子及び其の經典を排斥して以て其の人心を收攬する能はざるは明瞭なり。是を以て清朝の天下に君臨するや、必らず先づ孔子及び其の經典に對する敬禮を怠たる能はざるのみならず、進んで之れを尊重し、之れを推奬するの政策無きを得ず。攝政王多爾袞たる者、何とて之れに想到せざるの愚を爲さんや、必らずや孔子及び其の經典に對し

儒教の思想と薙髪令とは兩立せず

儒道を無視するか抑も亦た中國の舊典を尊重するか

て、之れは尊重するの形式を國家の典禮に於て顯さゞる可からざるを知れり。然れども此の大聖孔子に對する尊敬と辮髪の强制とは到底調和する能はざる所あり、此點に於ては攝政王と雖も多少の苦心を有したるに相違あらず、偶々薙髪の强制が聖裔たる衍聖公に及ぶに至り、天下の物議は漸く之れに生ぜんとす。孔聞溧の抗議は實に當時の廷議を懊惱せしめたる者たらずんはあらざる也。

孔聞溧の抗議は其の文字に於て甚だ簡短なりと雖も。其の意味に於ては頗ぶる深長なる也。支那國民全體を擧げて之れを薙髪せしむの非を咎めず、唯だ衍聖公一人の薙髪を咎むる也。而して其實は薙髪强制の非常識なるを訴ふる也。文中先聖孔子を以て典禮の宗なりと斷定し、以て淸朝をして之れを無視するの餘地無からしめ、更に章甫縫掖の制を以て聖裔を敬重するの舊例は、漢より明に曁ひ上下二千年を通じて未だ曾て變易すること無き儒教の典型なりと斷定し、之れをしも尙且つ蹂躙して夷狄の習俗に從はしめんと爲すかを推問せり。要するに儒道を無視して國政を執らんとする乎、抑も又た儒道を尊崇して中國の舊典に依據せんとする乎の二點を事實に示さんことを要求せるに外ならざる也。此の抗議に署名せる者は孔聞溧一人なりと雖も、或る意味に於ては支那四百餘州の人民を代表せる也。實に幾億萬衆の思想を代表し、其の生命を賭して提出せる抗議なり。當時の朝廷たる者果して中國の舊典を尊重すると謂ふ乎。抑も又た儒教を絶對に無視すると謂ふ乎。此の抗議に對する滿洲朝廷の處分は、實に支那多數人民の爲めに刮目せられたる所ならざる可からず。滿洲朝廷は幾多の協議を重ねる末に於て、遂に左の如くに處分したり。

薙髪嚴旨。違者無レ赦。孔聞溧姑念二聖裔一。免レ死。著二革職一永不二敍用一。

當時の聖裁なる者は斯の如くに發表せられたり。即ち孔聞溧は大聖孔子の後裔たるを以て其死罪

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を寬典に處したるは、清朝が必らずしも崇儒重道の典を無視せざるを示せる也。而して孔聞溁が政府の威嚴を冒瀆したるの罪は、永く高等官に採用せずと云へる一種の公權剝奪を以て罰せられたる也。

聖裔に對する一種の公權剝奪

曲阜の聖蹟は支那に於て其の神聖なること殆んど我が太廟に類似せる所ある也。而して其の聖裔たる衍聖公の家は或る意味に於て歷代の帝王よりも尙且崇敬せらるゝ所たる也。然れども此の衍聖公は遂に章甫縫掖の舊制を保持する能はず結局、夷狄の風俗に遵ふの已む可からざるに至れり。清朝が辮髮强制の方針を固執すること夫れ斯の如し。他は推して知る可きにあらずや。

清朝の威力

五　辮髮强制の眞意義

辮髮令に對する普通の論評

史を讀んで清朝の創業を論評する者、或は謂はむ。「當時清朝の急務とする所は當に人心の收攬に在るべし。然るに支那四百餘州の民衆が曾て一人の之を喜ばざる夷俗の辮髮を强制せんとするは抑も何事ぞや。清朝にして當時に處する最善の政策を講せんとせば、則ち愛親覺羅氏が相率ひて入關したる滿洲人の全部をして、寧ろ辮を剪つて推髻の明制に遵はしむべし。是れ第一の上策なるべし。若夫れ然らすんば則ち滿洲人の辮髮と漢人種の推髻と兩つながら之れを自由に放任すべし。是れ即ち其の中策なりと雖も、或は頭髮問題の爲に民心の乖離を買ふに優れること萬々なり。然るに彼の薙髮令を宣布して、辮髮を以て之れを漢人種の全體に强制せんとするに至つては、下策の最も下策なる者にして。寧ろ自から其の統治の困難を求むるに外ならずと。」歐洲人若くは我が現代の史論家をして清朝の創業を批評せしむることあらば、十人は十人、百人は百人迄孰も咸な如上の論評を挾まんこと、殆んど秦鏡を懸て醜美を照らすが如し。然れども是れ辮髮强制の眞意義を解せざる者の說なりと謂たざる可からず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

辮髪强制は勿論極端なるクウーデターなり。所謂政治上の暴力の最も峻烈にして苛酷なるものたるなり。今此の清朝が極端なる暴力を用ひて中國に君臨する所以の者は、徒らに自己の慣習に固著したる偏見を取つて之れを他に强ひんとするに非らず。抑も深き理由の其間に存することを知らざる可からず。請ふ看よ、滿洲人は塞外窮北の地に蕃殖したる一蕃族に非らずや。上古玁狁と謂ひ突厥と謂ひ、匈奴と謂ひ、肅愼と謂ひ、靺鞨、回紇、韃靼、蒙古等各其の時代と地方とに由つて名稱を異にし、隨つて多少その人種の異同あるべしと雖も、要するに原始時代を去る未だ遠からざるモンゴリヤンに屬する一蕃族にして、未だ曾て他の民族をして自己の習俗に歸化せしむるに足るべき、特種の文明を有せざる也。假令或る低級なる文明を有せりと爲すも、之れを中國の文明に較ふれば尚ほ劣等なるべきは當然なり。斯の如きは復た滿洲人自から深く自覺する所にして、漢人種の爲めに常に輕侮せらるゝは勢の免かれざる所、之れが爲めに滿洲人の漢人種に對する憤懣は、蓋し一朝一夕の故に非らざる也。現に彼の北方の夷狄なる者は、既に數千年前に於て孔子の爲めに侮辱されたるに非らざる無き乎。彼の萬里の長城なる者は現に北方の夷狄を侮辱するの最

中央研究所林業部附屬園

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

辮髮の强制は清朝立國の眞意義なり

夷狄を以て中國を威壓する所以なり

も著大なる者に非らざる無き乎。古來北夷の中國を窺窬して進んで其の帝王たらんとする者少なからずと雖も、遂にその目的を達して支那四百餘州を掌握したる者は甚だ稀なり。遼、金の兩國漸く渤海に沿ふて其基を開きたりと雖も、未だ全く志を中原に得る能はず。元の忽必烈（クビライ）に至つて始めて中原を平定し、北方の夷狄を以て中國に君臨するを得たりと雖も、道德文章、美術工藝、惟た悉く中國の典型を遵守するあるのみ。夷狄の中國に化せらる可き勢は之れ有り、未だ夷狄の中國を化するの勢なる者は之れ有らざる也。是を以て夷狄と中國との渾焉たる同化は之を事實上に形成する能はず結局人種競爭に由つて生ずる政治上の軋轢の爲めに、その社稷を永遠に保持する能はず、最後に朱元璋の爲めに其の帝業を破壞し去られたる也。歷史は漢人種が夷狄を輕侮する思想の消磨し盡す能はざることを示せり。睿親王多爾袞は實に這般の消息に精通して、胸中既に漢人種を親馭するの術を工夫せる者なり。辮髮の强制は是に於て始めて清朝立國の意義なりと豫期せられたり。

試に論者の謂へるが如く、愛親覺羅氏が相率ひて入關せる滿洲人をして悉く、辮を剪つて明朝の舊制に遵はしめん乎。さなきだに古來自から中華と稱して其の文明を矜れる漢人種は愈々益々驕傲に流れて、滿洲人を侮蔑すること愈々益々熾烈ならざる可からず。其の統治を困難ならしむること、蓋し之れより甚しきは無き也。更に論者の謂へるが如く、漢人種の推髻と滿洲人の辮髮と兩つながら其の自由に放任すること、爲さん乎。是又た漢人種の守舊心を增長せしむるものにして、前章に述べたる朱朗鏃の如き主張は天下到る處に起つて、遂に收拾す可からざるに至らん。前者は廼ち夷狄を以て中華に降服する者にして弱の弱なる者ならざる可からず。後者は漢人種の自尊を承認する者にして、弱の之れに亟ぐ者ならざる可からず。寬恕は此の場合に於て、怯懦に變する者也。夷狄

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那人は個人主義にして國家問題に冷淡なり

を以て既に中國に君臨するに當つて、豈に夫れ一厘一毫と雖も所謂弱點なる者の存ずる有るを許さんや。寧ろ漢人種をして滿洲人を恐怖せしむるこそ、却て是れ統治權の威嚴を保持する所以ならざる可からず。是に於て乎。最大なる不退轉力を有せる辮髪の强制は、暴力に由つて猛然として斷行せられたる也。

既に清朝は辮髪强制を以て統治策の第一要義と爲せり。彼の薙髪令に「朕之れを籌かること最も熟す」と謂へるは即ち是れ也。是を以て考ふるに此事、眞に愚策なるに似たりと雖も決して愚に非らず。當年攝政王多爾袞が熟慮に熟慮を重ね、詮考に詮考を經て萬々其の策の失ふ所なきを確むるに及んで然る後に之れを献して廟議と爲したる也。復た何んぞ些の遺算あるの理あらんや。

且夫れ支那人は天性個人主義の人種にして、その國家に對する觀念は頗ふる薄弱なり。之れを市井に於ける日常平生の民俗に徴するに、苟も利益に關する問題に至つては、父子兄弟と雖も各々其の主張を異にして訟を構ふること敢て少しとせず。父子の親なるもの尙ほ且つ然るあり、君臣の義復た何の執著する所有らん、朝に秦に仕へ、暮に漢に仕へ、唐宋元明、幾度も天子を代へて、常に其の臣節を貳にしたる結果として、國家に對する民衆の觀念は、其の薄きこと猶ほ紙の如し。是の故に重大なる國家問題は多數の支那人をして未だ之れを傾聽せしむるに足らずと雖も、事苟も彼等個人の利益に係かることあらんか、其の之れに急なること水の卑きに就き、火の燥に就くが如きものあるなり。彼の逆賊李自成僭位の時に膺り、燕京の官民逸早く頌德表を上つて、文中「比堯舜而多武功。邁湯武而無慙德」と記したる如き、是れ必らず誠心誠意李自成に歸服せるに非らざるべしと雖も要するに自己の爵祿又は財產の安全を謀らんか爲めに、其心にも無き諛辭を述べて、一時の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國民性の弱點に乘じたる名案なり

歡心を買はんと欲するに過ぎざるのみ。是れ實に支那人の情性を最も露骨に表現したる者にして、明朝の舊君に對する大義を顧みざると同時に、奪位の新君に對しても亦た必らず忠なるに非らざる也。支那人の情性實に斯の如きものあるは清朝の廟堂に立てる者の夙に看破し盡せる所、攝政王多爾袞の胸中素より看て以て與みし易しと爲すこと蓋し少なからざりし也。是を以て苟も支那四百餘州を統御して之れに君臨せんとするものは、惟た其の威力の猛烈ならんことを要するのみ。復た何の顧慮する所が之れ有らん。乃ち彼の薙髮令に於て「仍ほ明制を存して本朝の制度に遵はざる者あれば殺して赦す無し」と謂へり、是れ實に夷狄の威力を以て中國多數の民衆を恐怖せしむる所以にして、頗ふる能く民性の弱點に乘したる名案なりと謂はざる可からず。

親滿黨と思舊派との軋轢

今爰に一例をぐれば、宏文院大學士馮銓と呼へる者あり。是れ固より明朝の爵祿を食みて重恩を朱家の天子に負ひたる者なれども、清朝定鼎以後自から進んで辮髮を爲し、舊職に襲用せられて獨り自から安しとせり。此時禮部尙書李若琳も亦た之れに倣ふて辮髮を爲し、同じく禮部侍郎孫之獬は其子をして衆人未だ薙髮せざるの前に於て自から進んで辮髮を爲さしめ、其の男婦をして皆な悉く滿裝を傚はしめたり。是を以て三人黨を結ひて暗に諸官員を排擠せんとするの勢を生せり。此等の徒は元來材幹の用ゆ可きものあるに非らず畢竟斗筲の輩に過ぎずと雖も、既に自から進んで髮を剪つて辮を垂る。清朝たる者之を愛撫して以て其職の安固を保障せざるを得んや。然れども其の心事の陋劣なる點に至つては、殆んど看るに忍ひず、人の之れを冷罵し、之れを唾棄する者も亦た少なからざりし。遂に給事中龔鼎孳なる者は憤然として之れに抵抗するの心を生じ、同班たる許作梅、莊憲祖、杜立德及び御史王守禮、桑芸、李森先、羅國士、鄧應槐、吳達等を使嗾し、馮銓は明の閹

支那の個人性も自己の利益を貪るにのみ急なり

官魏忠賢の黨羽にして嘗て賄賂を禮部侍郎孫之獬に贈つて其子を伊標中軍たらしめたり。禮部侍郎李若琳も亦た其の連類なりと謂ふを名として、歴次刑部に彈劾せしめたり、攝政王各官を集めて逐一これを鞫問するに、毫も其の事實を認めず。王卽ち給事中龔鼎孳を責めて曰く、爾科道の職に在つて仍ほ故習を改めず（薙髪せざるを謂ふ）無辜を陷害するは何事ぞ。龔曰ふ、馮銓は魏忠賢に黨附して惡を作すの人也。馮銓之れを白眼に看て曰く、汝何者ぞや。嘗て君父を迫害せる逆賊李自成に順ふて竟に北城御史と爲りたるに非らずや。攝政王聞ひて之れを鼎孳に問ふ、答へて曰ふ、誠に此事あり、是れ豈に鼎孳一人のみならんや。何人か嘗て歸順せさらん。魏徵も亦た唐の太宗に歸順せるに非らざる無きや。攝政王此言を聞きて嘲笑して曰く、人自から忠貞を立て然る後に人を責むべし。鼎孳自から魏徵に比し李賊を以て唐の太宗に比す、殊に恥つ可しと爲す。此等の輩何んぞ厚顏を以て人を論ずるを得ん。但た縮頭靜座、人言を免かれて可なり。此番姑らく其罪を免す。若し改悛せざれば斷して寬假せざるべし。攝政王の最後の激語は以て此の獄を斷じ去りたりと雖も、數日の後再び復た李森先の尙ほ馮銓父子を彈劾するあり。遂に森先の職を罷めたりと云ふ。

　前揭の事實燕京朝廷の官僚間に起りたる小紛擾にして、深く意を留むるに足らざるに似たりと雖も、彼の順治二年五月薙髪令發布の以前尙ほ未だ金陵の陷落せざる當時のことなれば、明朝の宗室は江南に偏安して未だ尙ほ其の典型を保てるあるにも拘らず、旣に自から進んで夷俗の辮髪に改めたる明朝の舊搢紳馮銓李若琳、孫之獬の輩ありたることは、當時の實況を知るに於て標記せざる可からざる所たる也。此等の者輩は畢竟權勢に阿諛して徒らに自己の利益を謀らんとせる、所謂小人なる者にして明朝に對する舊恩を思はざるのみならず、毫も廉恥を知らざる者たる也。彼の攝政王

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

薙髪令の威力

の面前に於て互に醜惡を暴露し、逆賊李自成に歸順したる事實を以て、魏徴の唐の太宗に仕へたるの例に比せんとするに至つては、其の心事の汚穢にして其の面皮の厚きこと、殆んど人をして嘔吐を催さしむるものあり、宜なる哉、攝政王の之れを一喝して以て餓犬の敗肉を爭ふを嘲するや。實に是れ醜の醜なる者なりと謂はざる可からず。斯の如き事實は殆んど齒牙に懸くるに足らずと雖も、是に由つて支那人の醜怯なる者を考ふる時は唯だ其の自己の利祿を貪ほるに急にして、國家に對する觀念は却つて彼の春氷秋雲よりも薄弱なることを證して餘りあるに非らずや。

斯の如き事實を綜合して當年の形勢を觀察すれば、清朝の辮髪は、實に非常なる威壓を一般中國人に加ふるの意に出てたるを知るのみならず、復た人をして其の威壓なる者の果して能く成功すべきことを想像せしむるに難からざるに非らずや。薙髪令は實に支那四百餘州の民衆を恐怖せしむるの意に出てたる也。彼の所謂中華の文明を矜伐して自から尊大に構へんとする、支那人の驕傲なる思想を破碎し盡せんと爲したる也。北方の夷狄を侮蔑せんとする支那本土の漢人種をして却つて夷狄に對する恐怖心を起さしめんと爲したる也。辮髪強制の眞意義は實に此に在り。是を以て清朝は此の薙髪令を施行するに當つて、猛烈峻酷一歩も假借する所無きのみならず、如何なる人格如何なる舊儀と雖も、毫も之れに悖戾するを許さゞりしこと、彼の大聖孔子の後裔たる衍聖公に對する事實の如きもの之れ有る也。此の薙髪を厲行せんか爲めには百萬の師を動かすを辭せず。漢人種をして其の髻を剪つて更に辮を垂れしめん爲めには、鹿臺の財と鉅橋の粟とを發して以てその兵餉に給するを惜ます。又た曾て征戰の爲めに幾多の歳月と幾多の將士とを喪ふを厭はず。水火と雖も風雷と雖も毫も之れを避くること無く、苟も其の薙髪令の最後の目的を貫徹せざれば已まざらんとする

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人心收攬策も同時に併行せられたり

中華と夷狄との渾然たる同化を求んとしたり

也。其の鞏固なる信念、其の猛烈なる行爲、到底人の想像の及ぶ能はざる所のものありたりき。

清朝創業の事績が果して上來敍述せる所の如くなりしとせば、清朝は彼の人心收攬策を閑却して毫も之れを顧みず、全く威壓政策にのみ其の全力を注ぎたるかを疑ふ者無きに非らざる可し。夫れ人心收攬策は孰れの國家に於ても、孰れの時代に於ても、帝王又は政事家なる者の苟も閑却す可からざる要務にして、其の創業時代に在つては、特に最も之れを急務と爲さゞるを得ず。清朝と雖も亦た何んぞ之れを無視することを爲さん。清朝は此の非常なる威壓政策を用ゆるの必要を知るが爲めに他の一面に於て人心收攬策も亦た非常に籌謀せられ、特に格外に用意の周到なるものありしを見る。今の此の清朝が中國の人心を收攬せんと試みたる幾多の政策を詳述するは容易に非らず。啻に其事の容易ならざるのみならず、之れを探討して以て其の詳を悉すは、寧ろ本篇の目的に非らざるを以て、爰には人の疑惑を解かんか爲めに、其の概略を述ぶることゝなすべし。

清朝の人心收攬策は、徵稅、用刑、勸農、賑恤等に由つて、其の形式を顯はしたること固より尠なからずとも雖も、其の太宗と爲す所は文教の振興を以て智識階級の人民を綏撫し、清朝の新文明を發揮して支那四百餘州の人心を收攬すると同時に、中華と夷狄との渾然たる同化を事實上に求めんとするに在りたる者の如し。先づ順治二年正月、大成殿に安置せられたる孔子の神牌を淸掃して、更に「大成至聖文宣先師孔子」と云へる尊號を追贈したるを始めとし、崇儒重道の典を明にすること極めて嚴肅なるものあり。慕義遠來の賢良を優遇すること殆んど燕昭の黃金臺の如きものあり。遺儒を優卹すること至尊を以て布衣に下るの風あり。忠貞節烈の事蹟を尊重して之れを旌表するに金石を以てし。科擧選士の制度を擴張して廣く人材を登庸するの道を開き。朱明の末造に在つて殆

康熙帝の學界に於ける功績

んど告朔の餼羊に終らんとせる幾多の廢典を復興して、朝儀の清肅を規すると同時に所謂中華の文明を憲章して、支那四百餘州の間に磅礴鬱積せる經學の思想を陶冶せしめ。支那在住の歐洲人を利用し、欽天監に於ける儀象を改鑄して天文地理の說を刷新し、以て曆法と坤輿圖とを改訂せしめ。更に彼の聖祖皇帝即位の後に迨んでは殊に文教の隆興を策し、許多の鴻儒を召集して四庫全書皇清經解康熙字典、淵鑑類函、佩文韵府、全唐詩等の選修に從事せしめ、孔子の詩書删定以來、上下三千年の間に出版又は編纂せられたる汗牛充棟は愚が、幾千萬卷とも知る能はざる多數の載籍を綜合して、之れに系統と分類との整然たる秩序を立て、略ぼ科學的の生命を與へしめ、支那文學の眞價を取つて之れを萬古不朽の地に置かしめたり。斯の如き聖祖皇帝の學界に於ける鴻業は、孔子の詩書删定を以て比すべきにあらず。漢の文帝の遺書蒐集も亦た論ずるに足らず。六朝五代、唐宋元明、曾て孰れの時代に在ても未だ見聞すること無き最も偉大なる事業にして、所謂康熙文學の隆興は前古を照耀して尙は萬丈の光焰を天下後世に炳焉たらしめたる者なり。當年の編纂事業たるや、必らず漢人種の手腕を以て經營せられざる可からざる所の事業なるに拘らず。唐宋以來漢人種中未だ曾て一人の此の大事業を企畫したるもの無く、却て塞外窮北の地に興りたる滿洲人に由つて始めて成功せられたる也。此に至つて古來中華を以て自負したる漢人種の面目は果して何處に在る。寧ろ崩角稽首して以て北方の夷狄たる滿洲人の前に感謝するの已む無きを見る。辮髮强制の威壓を以て統治政策の第一義と爲したる淸朝は、人心收攬策に於て又實に斯の如き偉大なる成功を見る也。愛親覺羅氏の帝業を創建せる、豈に夫れ深遠巧妙なる嘉猷の此間に存在する者無しとせんや。

之れを要するに、歷史上新興國の先例を徵する時は、人心收攬策を以て先務と爲し、之れに次ぐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

權道を用ひたるは愛親覺羅氏の成功する所以

に威壓を以てすること、普通帝業創建者の方針と爲す所たる也。然るに獨り愛親覺羅氏は威壓政策を以て先務と爲し、之れに次ぐに人心收攬策を以てせり。正に據らず奇に出てたる也。前者を以て常經と爲すときは後者は卽ち權道ならざる可からず。愛親覺羅獨り此の權道を擇んで彼の常經に倣はざりし所以の者は、既に前段にも陳述したる夷狄を以て中國に君臨するの困難に打勝んが爲めなりしなるべし。是の故に辮髮强制の急激にして且つ峻嚴なりしは、一見その本末輕重を誤れる者なるかの如くにして、然も其實は夷狄と中國との勢を審かにし、以つて之れに應ずる最善最良の手段を擇ひたる者、愛親覺羅氏の帝業は當に此道に由るに非らざれば、斷して其の成功を見る能はざりし也。辮髮强制の眞意義は這般の消息を洞悉するに及んで、蓋し始めて之れを解道するを得んのみ。

（未完）

▼東京と臺北の面積人口の比較▲

大正八年十二月末日現在の調査に依ると東京市の全面積は二千三百六十萬八千八百二十九坪で、其總人口は二百三十五萬九千六百三十五人とあるがざつと面積が十坪に對して住民が一人宛の割合となる。更に其人口の密度を各區別に調査するに、毎十坪に就き最も稠密なるは、矢張り最も繁華な日本橋の一人七步で、次は神田の一人五步最も少いのは、お屋敷町の麹町區の二步、赤阪の五步と云つた順となる。我が新臺北市の總面積が一千二百六十二萬一千三百八十一坪で其總住民が十五萬三千八百二十五人。卽ち面積八十二坪餘に就いて唯つた一人といふ割合に較べると餘つ程段が違ふやうだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

白頭鵠

▼外遊中の石井先次郎君から先頃某の官人に宛てた書簡の一節に恁んなのがあった。

米國はベラ棒に大きいあんな國に居て相當の地位と官を得ることの出來ぬ奴は餘程の馬鹿ものだ。日本は其處へ行くと中々だ。だから面白いといふ事にもなる。お互に忙しい身體ですね。云々

如何にも米國ではソンな感が起るだらう。シテ日本人のコセ〳〵する譯も判って來る。

▼梅谷光貞君が倫敦から寄越した手紙には又た恁んな事が書いてあつた。

足一度び此の地を蹈みて感じたる痛切なる印象は、吾人をして活動能率増進の方法を徹底的に研究實行せしむるの必要あることと是れなり。然らずんば必ず世界の舞臺に於ける敗者たるべし先づ其の實行の簡單なるものを希望すれば。

曰く　奮闘努力主義
同　規律的生活
同　節約主義
同　時間の勵行
同　宴會の改良
同　献酬の廢止
同　何
同　何

著々御實行を希望す。一日後るれば一日の損あり。云々

▲英國丈けに其の感じたことも前のとは違ふが、恁んな事は耳に蛸の出來る程聞いて居る言葉で、謂ゆる洋行者の御極り文句のやうになって居る。が、夫れで居て矢張り實行が出來ないのだからナア。

▼話は違ふが、某々官人が大いに世界の大勢を論じた茶話の席上で、甲の曰く、お互に今後四五十年も生きて世界の形勢を「高見の見物」で望觀することが出來たら愉快だらうネーと。乙の曰く、「高見の見物」と言へば、我輩此の間、某の郊外で水牛の喧嘩を見たが、イヤ其の凄かつたこと、然し其の面白かつたこと、筆舌に盡せぬとは全くアノ事だ、と言ふのは其の闘牛の演ぜられた場所が恰も鐵橋の下の河畔であり、而して我輩の觀て居た場所が其の鐵橋の上であつたので、全く御誂へ向きの「高見の見物」とは是れだなと思つて觀て居たが、其の凄じかつたこと、

相搏つ角は戛々と高く響いて將さに火を發せんとし。相迫る顆顱は兩ながら深く砂中に沒して山をも動かさんとするの概がある。兩々怒力滿身。敵を殪さずんば死すとも止まざるの形勢は實に天下の奇觀であつた。

が、トウ〳〵双方力盡きてヘト〳〵になった頃、牛主が巧に引分けて仕舞つた。ナニそんなものを見物して居るのは人道に反するつて歐洲の大戰を東洋で見物して居たのも同じ事じやないか。あんなものは二度とは見られない。我輩も曾て觀たが、例の西班牙の闘牛のやうな、アンナ擲ノロイものじや無い。君が今言ふた「今後四五十年間天下の形勢を見物」云々の、其の「高見の見物」の味は蓋し之と同じものだよ。と乙君の氣焔は却々當るべからざるものであつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査研究

米國材の競爭力

總督府事務官　永山止米郎

一口に米國材と云ふも其内には色々な種類がある、唯々通常東洋方面に輸出せらるゝものでは「ドグラスファー」即ち所謂「オレゴンパイン」と稱せらるゝものが一番多い、鬱蒼たる大森林を有する米國の、其蓄積に於て豐富なるは云ふ迄もないことであるが、殊に其木材の長大なる點に於ては蓋し世界獨歩とも云ふべく他に比類がない、彼の大西洋岸に於ける大森林は直ちに海岸に相接して亭々たる針葉樹林を有する許りでなく、地形亦た比較的緩急斜で誠に地の利が好い、ワシントン洲邊の伐木事業を見るならば彼等は僅かに溪谷の入口を斫り始めて居る樣にしか思はれない、製材所の平均勞銀が一人一日約五弗、即ち我が十圓餘に當るのだから、中々容易ならぬ賃銀を拂つて居るには違ひないが、林況既に右の如くであるから其の生産費の低廉なることは豫想外である、流石は無邊の大森林を有する丈に、其立木價は餘りに顧みられない位である、一昨一九一九年十二月に於ける立木一千「ボールトフイート」の價は別表第二に示すが如く二弗四十八仙、一千「ボールトフイート」は我約八石四斗に當る、而して現行丸太の檢尺法によれば通常其實積の二倍を有するのであるから、即ち我が十六石八斗と見ても支はない、一圓は爲替の相場はあるが假りに米貨の四十七仙五厘とせば、一石當りは僅かに三十一錢餘に過ぎぬ、從

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て彼等の遣方も唯々如何にして勞力を省くべきや、と云ふことには頗る苦心して居る様であるが、材木の集約的利用とか云ふ様な方面に於ては第二第三に置かれて居る、一度「シャトル」邊の製材工場を見たものは「レフューズバーナー」と云つて屑木類を燒き棄てる特別の大きな裝置があることに注意せぬものはないであらう、脊板と云ふ脊板は殆ど燒き棄てられて居ると云つても大した誤りはない、屑木類を放擲せしむるは遂に港灣の維持を困難ならしめるからであらうと云ふことである、固より之が利用の方法に付ては色々な議論もある、大學當りでは盛んに研究を進めて居る、然し遂に有利な方法が未だ發見されぬと見へる「ワシントン」大學の研究によれば同地方に於ける立木の利用率は、製品になる迄には僅かに十七八%から二〇%迄だと云つて居る、亦以て如何に粗放的な遣方であるかを窺ふことが出來様と思ふ、斯く低廉な立木を持つて居る外に地の利が非常に好い、工場と伐木地とを連絡する爲めに流筏する場合も亦少くはないが、森林鐵道は到るところに敷かれて居る、「スキッダー」とか「ドンキー」とか云ふ様な大材を集めるに便利な集材器械類は遺憾なく用ひられて居る、製材工場も亦た同様で大材を料理するに便利な設備や勞力を省く仕掛に付ては眞に到れり盡せりである、我が阿里山事業に於て採用して居る作業も亦是と略同様であるが、單に伐木方法や運材方法や製材方法等科學的研究の行屆いて居る許りではない、更に進んでは是を如何にして經營すべきや如何にして冗費を節約することを得べきやと云ふ様なことに付ても少なからず注意を拂つて居る、別表伐木乃至は製材事業の經濟抔は西海岸木材協會の調査せるものであるが、此の研究は幾十とない工場、又は事業地からの報告に基く所謂綜合的研究の結果である、彼等の間には少しも秘密はない、單に一森林事業のみと云ふべからず、彼等の遣口は何れの方面に於ても同様である、此の開放的な秩序あり連絡ある研究方法は、米國の富源と相俟つて果して何處迄發達することやら殆んど端倪すべからざるもので、眞に羨望に堪へぬ次第である、產業上の「デモクラシイ」!!秘密〳〵と云つて一も二もなく秘密一點張の陋習は、到底現代的の遣方とは謂はれない、亦以て他山の石とすべきではあるまいか、斯く蓄積に於て豐富であり、經營方法に於て理想的に進みつゝ

ある結果は、其の勞銀の著しく高率なるにも拘はらず、其生產費は比較的低廉である、別表第二及第三米國西海岸木材協會の調査せるところによれば、一九一九年十二月中に於ける各一千「ボールドフィート」の材積に對する價格は次の樣である。

立木價格	二、四八仙
丸太生產費	一四、二九仙
製材費	一〇、六二仙

然るに製品一千「ボールトフィート」の材積は其數の示すが如き實積を有するも、立木及丸太の材積の如きは殆ど其の實積の二倍以上あるを普通とする、去れば製材工場に依ては一千「ボールトフィート」の丸材より反對に一千「ボールトフィート」以上の製品を作出することが少くない、成績の良好な工場では通常一〇%內外の增加生產をなしつゝある、去れば立木及丸太の價格は其半額即、

立木價格	一、二四仙
丸太生產費	七、一五仙

と見ても支はない、即一千「ボールトフィート」の丸太は少くとも一千「ボールトフィート」以上の製品を作出することを得るが故に、製材原料たる資材價は別に步止りを計算する必要が無い其儘にて

丸木生產費＝資材價	一四、二九仙

と見做すことを得べく、依て一千「ボールトフィート」の製品に對する生產費は資材價に製材費を加へたるもの即ち

製品價格	二四、九一仙

となる、今之を邦價に換算すれば各製材工場渡石當り單價は

丸太一石の價	金一圓七九錢
製品一石の價	金六圓二四錢

是に引渡其他の販賣費約一割（第一表參照）を要するにより實際の生產格は

製品一石の價	金六圓八六錢

となる、是は一九一九年十二月の調査で、其後賃銀にも多少の變動はあるが、先づ大體は斯くの如きものである、當時「シアトル」より日本行の運賃は、保險料共三十五弗より五十弗の間を上下して居た、平均は四十弗即ち一石當り約十圓內外であつたと思ふ、最近の相場は不明であるが本年二月頃の運賃は十五弗見當即ち一石當り約三圓七十六錢であつたと承知する、然れば內地著米國材の價は

大正九年二月、米國材製品內地港著、一石當り、金一六圓八六錢
大正十年二月、米國材製品內地港著、一石當り、金一〇圓六二錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

見當である、而して大正九年二月頃の米國材内地港著の相場は大體石當り二十圓、大正十年二月には十二圓内外であると承知して居る、内外の事情に照して相當の價であると思ふ、去れば物價及運賃の低廉なりし戰前に於て、米國材が石當り日本著港渡五圓内外で取引せられつゝあつたと云ふことも決して不思議ではない、世人動もすれば米國では材木の投賣をやつて居る抔と誤解して居るものもある樣であるが、自分共の信ずるところによれば、戰前に於ても斯樣の事實はなかつたと思ふ、固より經濟界の順逆に從ひ彼等の態度に或程度迄の差異はあつたに相違はなからうが、是は北海道材其他の内地材に於ても略同樣である、試みに支那市場に行つて日米兩材の競爭狀況を見るならば思ひ半に過るものがあらうと思ふ。

　不景氣は世界を擧げての聲である、經濟界の不況に伴ひ資材價も幾分は低落しやうが、勞銀は中々容易には下らない、前に云つた通り生産費の低減てふことに付ては、彼等は常に全力を注いで居る、然し是れにも凡その限度がある、先づ内地港著渡し石一圓二十錢内外で取引せらるゝものとすれば、又船賃に別段の變化なき以上は、大體に於て最低に近い相場と見ても支ない、是れ以上著しき値下げは容易に行はれ得ないと思ふ、尙は左に米國西海岸木材協會にて調査せる數表を掲げて讀者の參考に資せん。

一　製材事業の收支

種別	一九一九年十二月 材積	一九一九年十二月 價格弗	一九一九年十二月 單價	一九一九年一月より十一月末迄 材積	一九一九年一月より十一月末迄 價格弗	一九一九年一月より十一月末迄 單價
丸太	—	—	弗	—	—	弗
前期よりの越	一五三、四〇三	二、〇八四、九四二・一一	一三・六一	一三五、七六〇	一、七一五、四五六・六五	一三・六四
生産	[illegible]	一、一九五、七四〇・一五	一四・六八	八四九、五〇〇	一一、〇〇四、八八八・四八	一三・五五
購買高	七一、五〇三	一、二八八、七四三・九六	一八・〇〇	八七一、一九六	[illegible]	一五・五五
合計	[illegible]	[illegible]	一五・七七	一、八四六、四二五	[illegible]	一四・三六
次期へ越	一四五、三五〇	[illegible]	一五・七七	一四九、三三〇	[illegible]	一五・七七
處置濟丸太	一四四、一〇〇	[illegible]	一五・七七	一、七〇一、一〇四	[illegible]	一四・一四
製材工場行	一三六、五二三	二、一八〇、二三五・三三	一五・七七	一、六〇一、七七三	[illegible]	一四・一五
柹板工場行	二、六六六	四三、〇七九・三〇	一六・〇八	四〇、八一八	[illegible]	一五・〇四
其他	四、六〇〇	六一、一二八・九五	一三・一五	五一、三七五	七〇一、一二八・五三	一三・六六
紛失又は工場内にて使用丸太	七三二	六、八〇九・三〇	八・九九	七、一〇一	一〇一、〇一一・八〇	一四・二五
合計	一四四、一〇〇	二、二九二、三五〇・五〇	一五・九一	一、七〇一、一〇四	[illegible]	一四・三八
丸太利益	—	一九、六〇一・〇二	〇・一四	—	[illegible]	〇・二四
木材	—	—	—	—	—	—
前期より越	六〇〇、八八六	七、一一二、〇七九・五六	一一・六〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

製材資料	一四八、七二一	二、一八〇、二四五・四五	一四・六六	一、六六一、〇八七	二五、〇一七、八二四・三三	一五・〇七
製材費	右同量に對し	一、五八〇、四〇四・八三	一〇・六三	右同量に對し	一六、三九〇、九七四・一五	九・八六
購買高	六五九	三六、八三五・五九	五五・八九	一〇、九八七	二七三、〇六七・六二	二四・八六
合計	四五〇、三一二	一〇、八九七、五六一・四一	二四・二〇	二、〇八四、〇〇三	四六、九三三、三三三・五三	二二・五二
次期へ越	三二二、六三四	七、八〇七、六六六・四一	二四・二〇	三二三、六〇四	七、八〇七、六六六・四一	二四・一六
販賣材の生產費	一二七、六七八	三、〇八九、八九五・〇〇	二四・二〇	一、七六一、五九八	三九、一〇四、六九六・一一	二二・二〇
船積諸費	右同量に對し	一二五、九八五・四四	〇・九九	右同量に對し	一、四四五、二三四・五五	〇・八二
販賣費	同	一三四、〇七一・四三	一・〇五	同	一、四三三、〇四六・五四	〇・八一
販賣材の總生產費	同	三、三四九、七七六・二二	二六・二四	同	四一、九八二、八八六・九八	二三・八三
販賣高(船渡)	同	四、〇〇四、〇六九・四三	三一・三六	同	四四、一九〇、六六三・〇七	二五・〇八
其他	四六、五四二	五六、六九四・八五	一・二二	七四〇、〇四三	六五八、五〇九・九四	〇・八九
合計	一二七、六七八	四、〇六〇、七六四・二七	三一・八二	一、七六一、五九八	四四、八四九、一六一・二六	二五・四六
木材利益	右同量より	七一〇、九八五・〇六	五・五七	右同量より	二、八六七、二七四・五八	一・六三
丸太利益	同	一九、六〇一・六四	〇・一五	同	四一四、〇三六・七四	〇・二三
木屑及鋸屑利益	同	八六、五三三・〇五	〇・六八	同	八六八、一〇三・七五	〇・四九
其他利益	同	五四、〇五四・九七	〇・四二	同	五二一、四一九・二八	〇・三〇
總利益	一二七、六七八	八七一、〇一五・七〇	六・八二	一、七六一、五九八	四、六六一、九三三・一五	二・六五
年千ボールトフイートの生產に對する投資額	—	—	六五・二九	—	—	六五・[illegible]
投資額に對する利率	—	—	一〇・四%	—	—	四・一%

《備考》（一）本表は米國西海岸木材協會の調査せるものにして該協會に屬する四十六の工場に於ける平均數なり（二）丸太の積計算法は所謂丸太檢尺法によるものにして一千ボールトフイートを單位として表はすも大體に於て通常其の實積の二倍に當る材積を有す（三）木材は一千ボールトフイートを以て單位とす（四）一千ボールトフイートは我約八石四斗弱に當る（五）本表の價格は戰時產業局委員の定むるところによれり

二　伐木事業經營概要

作業費	一九一九年十二月 材積	價格	原價	一九一九年自一月至十一月 原價單價	備考
		弗	弗	弗	
請負契約によるもの	一、七五四	一五、九〇六・八八	九・〇七	六・八五	本表は米國西海岸木材協會の調査せるものにして該協會に屬する二十六の作業地に於ける平均なり
集材準備	八一、八二九	一六、二六八・九八	〇・二〇	〇・一八	
伐木及玉切	八一、八二九	一三七、一〇五・八九	一・六八	一・七三	
集材及積込	八一、八二九	二〇二、二五六・〇一	二・四七	二・七七	
針金代	八一、八二九	二七、九五五・六一	〇・三四	〇・四四	丸太の檢尺法は前表と同し
以上用具類償却	八一、八二九	一八、一五八・一〇	〇・二二	〇・二六	
運材費	—	—	—	—	一九一九年自一月至十一月は單に其平均單價のみを揭く
鐵道費	八五、五七四	二〇五、〇九五・五五	二・四〇	二・二七	
貨車費	六八、〇〇一	六八、一四五・六八	一・〇〇	一・一五	
伸仕(水上)	四、七五一	四、八〇四・八九	一・〇一	〇・五一	
小運搬	一五、〇八七	一八、六四八・四四	一・二三	一・一三	
流筏	一七、八二〇	一七、四〇八・二〇	〇・九七	〇・五六	
水上小運搬	一二、九七〇	一、二三六・一五	〇・一〇	〇・三六	
以上用具類償却	八五、五七四	三六、三六五・一九	〇・四二	〇・四七	
間接費	—	—	—	—	
給料及賃銀	八九、五五三	五三、一二三・八二	〇・五九	〇・四〇	
雜費	八二、五七七	五一、八二三・八二	〇・六三	〇・五二	

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

科目	材種	經費	單價	單價
營繕費	五、四三六	八〇一・五三	〇・一五	〇・一五
後始末費	五、五五六	四〇三・八八	〇・〇一	〇・〇五
事務費	八六、五五五	三五、八六六・六六	〇・五六	〇・五八
合計	八五、五五五	九六、二〇七・五五	一一・〇〇	一〇・四六
立木代	八五、五五五	二〇七、五五七・九一	二・四八	二・四六
丸太價格	八五、五五五	一、二〇五、七四五・一五	一四・二六	一三・九五

三　製材事業經營概要

製材費	材種	經費	單價（一九一九年十二月）	單價（一九一九年自一月至十一月）	備考
		弗	弗	弗	
貯木場各貯木池	一四八、六六一	一八、四五六・二七	〇・一二	〇・一一	本表は米國西海岸木材協會の調査せるものにして該協會に屬する四十六工場に於ける平均數なり
製材工場	一四八、六六一	五三一、九六七・〇三	三・五八	三・一〇	
仕譯	一三三、六三〇	一一三、二三七・五七	〇・八六	〇・八五	
乾燥釜	四一、四三四	六九、八八八・六三	一・六九	一・五九	
貯木場費	—	—	—	—	木材は一千ボールトフイートを以て單位とす即約我か八石四斗弱に當る
木材ドック	五、一二二	七、〇二五・六八	一・三七	一・四六	
小運搬	一四八、六六一	六一、四四五・六八	〇・四一	〇・四一	
積上げ	八一、八四三	五〇、一二〇・六九	〇・六二	〇・六三	
乾燥	九、五五三	五、六〇九・八四	〇・六二	〇・六一	
乾燥の爲め仕譯	二〇、四五二	二五、八八四・一七	〇・五一	〇・八三	
乾燥仕上げ	九六、八八四	二六、二九六・五六	〇・二六	〇・二六	
雜費	一四八、六六一	七七、五二三・六五	〇・五二	〇・六五	
鉋滑費	一二四、二五〇	一三〇、六八五・五六	一・〇五	一・〇五	
耳摺其他	八、三三一	五、六六六・九〇	〇・六八	〇・五五	
償却金	一四八、六六一	一〇一、八二四・六五	〇・六八	〇・六五	
間接費	—	—	—	—	
給料及賃銀	一四八、六六一	五七、六〇二・五六	〇・三九	〇・三四	
雜費	一四八、六六一	四六、四〇八・九六	〇・三一	〇・三五	
營繕費	二四、五一〇	九、〇四三・六五	〇・三七	〇・四〇	
後始末費	二一、六四一	一六、二四六・一七	〇・七六	一・一〇	
事務費	一四八、六六一	一三九、一〇四・八六	〇・八九	〇・九二	
計	一四八、六六一	一、六八〇、四〇四・八二	一〇・六三	九・八二	

比律賓のブリ椰子

商工課調査

一　生育の所在と名稱

ブリ椰子は比律賓群島到る所に見ざるはなし就中パンパンガ州の中央部及タヤバス州の南部を以て多量の繁殖地とす又此の樹は英領印度南部地方に於て發見するを得べし

學名はコリファ、エラタ (Corypha elata) にして比律

賓群島内各地により其方言を異にす今其の重なるものを擧ぐれば左の如し

Buri はアルベー州。アンチクキ州。バタンガス州。カピチ州。イロイロ州。北イロコス州。ニウエシヤ州。西ネグロス州。リザール州。ソロゴン州。タヤバス州。ザンボアンガ州等の諸州に用ゐらる

Buli ボホール州。セブー州。中央ネグロス州。タヤパス州。ラグナ州。

Ebus パンパンガ州。タルラク州。

Pet パンガシナン州。西エシヤ州。

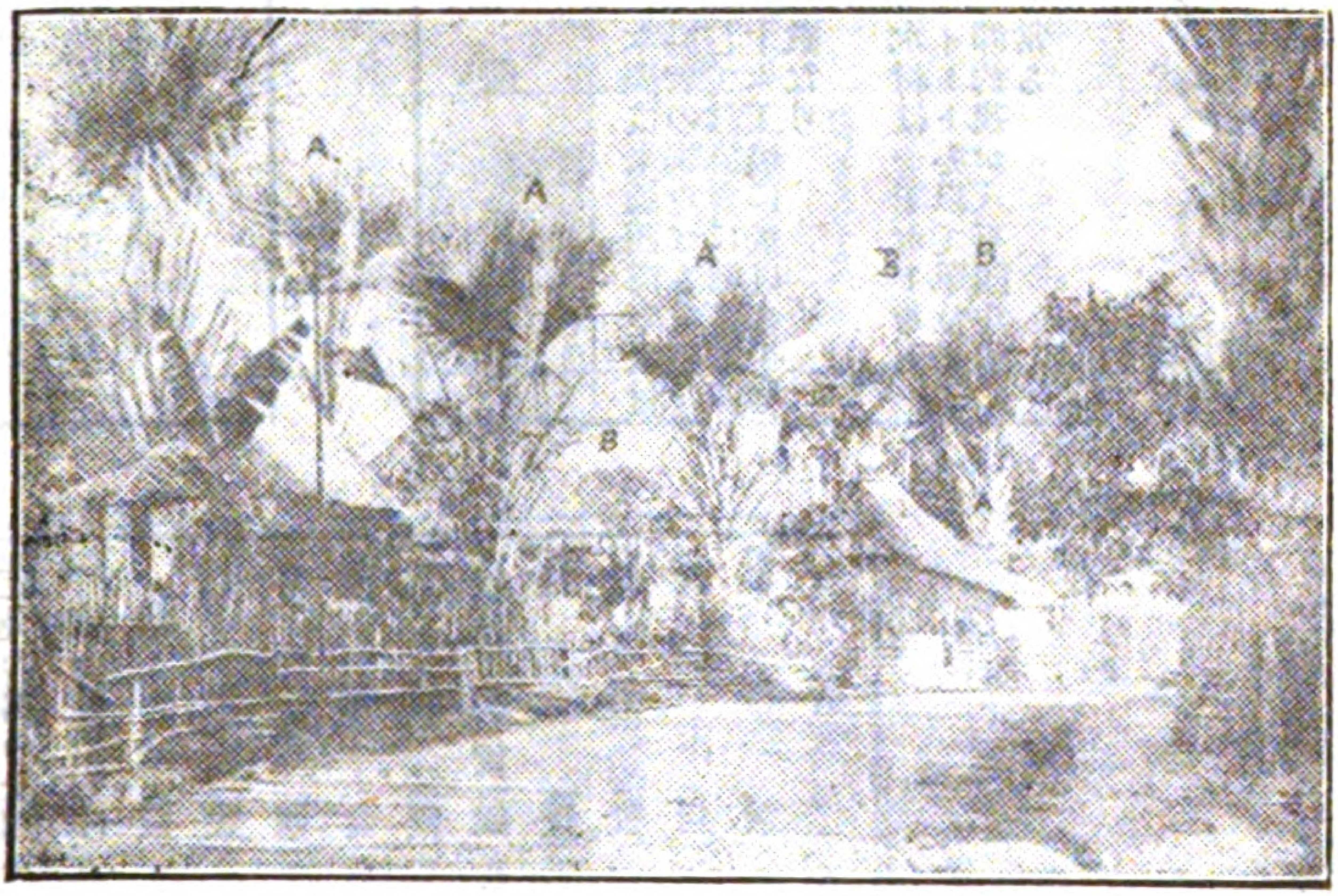
Silag イロコス州。北イロコス州。パシガシナン州。タラクユニオン州。

Balatay 西ウスカヤ州。

又印度に於てはタリポツトパーム(Talipot palm) と稱すと云ふ

二　ブリ椰子の性質

ブリ椰子は棕梠科の一種にして其の生長頗る大なり高さ六〇尺幹の周圍六尺を超ゆるものありと云ふ樹



比律賓のブリ椰子

齢は調査の結果凡そ二十五年乃至四十年に及び幹は直立せるも柔軟に過ぎ何等商業上の價値なく幹を包圍せる葉柄は全長の二分の一乃至三分の二以上は外側に向つて延ひ其の長さ九尺厚さ六寸に達し頑丈にして縁片は黒色を帶ひ且つ棘の如き突起あり葉の形狀は恰も吾人が手の指を擴けたらんが如く葉面の裂目多く裂片の數八十乃至百を以て算す一片の幅は五分乃至二寸位なり此の樹は成熟すれば幹の頂上に多數の花梗を生じ其の尖端に無數の花咲く花は帶綠白色にして一個の直徑僅かに一分五厘乃至六分に過ぎず六本の雄蕊と萼及花冠を有し子房は三つに區分せられて明かに現はる開花するときは全形恰もピラミツト型を呈し下方の花梗の長さは約一丈以上に達し上方に及ぶに從ひ短く頂上は三尺位なり開花後十箇月乃至十二箇月にして實を結ぶ其の大さ直徑六分乃至八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分にして頗る堅硬なる種子を有す而して此の樹は結實したる後枯死することは他の椰子類に於て見るが如し

三　ブリ椰子の價値

前述の如くブリ椰子は其の樹幹は現今にては尚未何等價値なきものと見做されつゝあるも商業的價値の存するは實に其の葉柄及葉片にして之れが眞價を發揮するは夫れ等の調製如何によるものとす今其の重なるもの(一)ブンタル纖維(二)ブリ細片(三)カラシアオ細片(四)ブリラファイアに就て其の調製法を述べん

(イ)　ブンタル纖維

ブンタル纖維はブリ椰子の十年位を經過せる既に開きたる葉の葉柄より得らるゝものにして其の纖維の抽出は實に左の如き方法に依る即ち椰子の葉柄を基部より切斷し之れを約三四尺の長さに切り其の葉柄の縁に生せる棘を除去す外皮二三寸を剝き纖維の端が露出する迄槌にて打碎きパルプ層と纖維とを分離せしめ後纖維を力一杯に引き抽出するなり此仕事には實地經驗により能く熟練せるものに非されば難しとせらる何となれば未熟者にありては纖維を完全に抽出すること難く又葉柄全部を打碎く時は纖維を抽出するに雜作なきも斯くては乾燥に當りて變色の恐れあるを以てなり而して其の抽出に當りては葉柄が未だ新らしき内に日蔭又は早朝或は夕暮に行ふを適當とす槪して纖維は樹の年齡に依り若きは密にして舊きは粗なり抽出せる纖維を調製するには比律賓にて種々行はるゝも最も普通なるは飯炊き壺の中に水を入れ二三日間浸漬し後に纖維を强靱にする爲め三四日間は酢に漬け然る後淸水にて洗滌して之れを使用す或る時は最初の工程を省略し酢と水とを半々に混合して入れたる壺の中に一週乃至二週の間纖維を浸し取出したる後沸騰せる湯の中に突き込み煮沸し取出して後ち乾燥す。又此の外最初水に浸漬し後酢を混したる水にて煮るの方法あり若し纖維を扁平になさんとせは其方法に二あり第一法は銳利なる刄の附ける道具と母指との間にて作業し他は重き圓筒狀の丸太を凹所の中にて動かし其の下に纖維を入れて扁平にするなり前者は多くの手數及時間を要し最上のブンタル纖維製造の場合に使用せられ後者は容易に且つ迅速に製出し得るも前者に比して遜色あり他の纖維と同樣に此の纖維も亦冷濕氣を含める時に仕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事を爲すの要あるを以て晴天ならば早朝か又は夕暮の冷氣ある時或は曇天雨天を以て適當の時期とす

（ロ）　ブリ細片

此の細片はブリ椰子の未だ開かさる若葉より調製するものにして葉の中肋を除去したる葉片を日光に乾燥して得、比律賓群島各地方に行はるゝブリ細片の調製方法には種々あり、從來之が製法は土人の秘密に附する所なりしを以て容易に其の工程を窺知すること能はざりしが調査の結果に依り近年漸く之が調製法を知るに至れり

ブリ細片中に於ても其の種類少からず之れ畢竟調製の工程如何によるものなりと雖も其の葉の年齢或は葉柄の長短に依りて差異を生ず例へば或地方にては葉柄の長さ二尺以上に達せされば採集せざるあり又他の地方にては一尺に達する時は之を使用するものあるが如し、其の漂白能く行はれ白色のブリ細片を製出するを以て有名なるをタヤバス州のマウバン地方とす此の地方より産出するが如き白色なる細片は比律賓群島の他地方に於て見出さすと稱せらる次位は同州サンフエルナンド及グマカ地方の製出品なるが如し之れ外ならず此等の地方には清淨なる水量豐富なるを以てなり實に清水は此の調製にとりて第一の必要條件なりとす此れが二三種の方法を擧げんに

アラヤト方法　此の工程は先づ葉の中肋を除去し極めて輕く板に卷き付けネムの木の葉及明礬を混じたる水壺又は桶の中に浸す（此の時に使用する器物はブリキ罐を使用せず、陶器製の壺を良しとす）而して殆んど水量が半分位になる迄煮詰むるなり其の煮沸中は細片が水より上に突出せざる樣にブリ又はタマリンドの葉を以て被ふ捲き付けられたる葉を取り出して清水を滿せる壺の中に三日間浸し置き其の後三日間河中にて數度洗滌せられ清洗後は一つ宛草上にて乾燥す更に清洗乾燥を操り返す時は益々白く且つ强靭となり最後の乾燥を終りて始めて束に捲かる

サンルイス方法　パンパンガ州サンルイスに於てブリ細片の漂白は次の如き方法に依る卽ち中肋を取り去れる裂片を椰子酢一リトル（我五合五勺四三）及水五ガロン（我一斗）及鷄卵大の明礬塊一個及ネムの木の葉及パンタカキ葉を片手に一杯つゝを入れたる壺の中に突込み約四時間煮沸す其の外は前段に述べたると同樣の方法を執る

マウバン方法　未だ開かざる若葉を葉柄より切り落

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し三四日間陰乾しとす然る後洋刀にて中肋と裂片とを分ち壺或は適宜の容器に水を三分の二白ニッパ或は椰子酢三分の一を混じ煮沸しその沸騰最中に注意して入れ其の裂片が皺を失ひ柔軟になる迄煮之れを清浄なる草上にて日光に晒す此の乾燥工程は一日又は二日位にて充分なり更に其の裂片が全く乾燥せる後ち清澄なる軟水を入れたる壺の中に一夜間浸漬し翌朝に至り掻き廻したる後ち日光にて乾燥す午後其の裂片が開く迄その洗滌を繰り返し更に日光にて全く乾燥す出來上りたる裂片は保存に便宜上轆轤に巻き付ける習慣ありされば其の爲めには夜分草上に列へて置けば數分の後には充分容易に曲げられる樣になるを以て之を取り入れて細心の注意を以て柔かく巻き付くるなり

而して此の工程には椰子酢の代に米酢を使用することを得（因に米酢を製造するには清洗せる米四合許りをドロ〳〵糊の樣になる迄水にて炊き清き壺に入れ其の壺の三分の二となる迄水を加へ然る後壺を密封して五六日間放置す然る時は頗る酢パキ味を帶ひ來る之れを「シナメー」と稱する布片が他の布片にて漉すなり）

ロンブロン方法　ロンブロン地方にては此の細片を製するに葉の年齢に就て頗る注意を拂ふ卽ちブリ椰子の開かざる若葉の中肋を小刀にて取去り三四時間水に煮沸す後椰子酢約二合七勺（椰子酢の代りに米にて造れる酢を用ふる時は一升六合又レモン汁ならば一合四勺を）混せ次に葉が全く隱るゝ迄水を加へて五時間煮沸して後三日間日光にて乾燥す此の時は雨に濡れ又は露にかゝらざる樣注意を拂はざるべからず最後に此の裂片は清冷なる水に約十二時間浸置し再び約二日間日光にて乾燥するなり

（ハ）　カラシアオ細片

此の細片はブリ椰子の未だ開かざる嫩葉の中肋より得らるゝものにして元來此の中肋は葉が成熟するに從ひ其の葉を日光に向け放射的に擴け之を上に支ふるの役目をなすものにして之れより細片を得るには非常に注意を要すと云ふ何となれば或ものは他のものよりも黑色を帶ひ其の色澤に不同多ければなり之れ卽ち若葉の內は非常に葉が密生するを以て或ものは光線に強く晒され或ものは全く光線に觸れざるものあるが爲めなり而して最も白色の纖維を得んと欲せばその光線に觸れざるものゝ中肋より得られざる

べからず若し太陽の光線に直接乾燥せしむる時は品は著しく脆弱となるを以て其の工作は日陰若くは夜間に小刀又は鋭利なる器具を以て葉の附著せる部分を除去し此の中肋を二つ又は時に依りては二つ以上に裂き更に小刀と小溝を有する器具との間に挿して之を牽き附著雑物を除ける細片之れ即ちカラシアオ細片なり

（二）　ブリラフィア（ブリ葉纎維）

此のブリ葉纎維はブリ椰子の長き葉柄の上方に生じて未だ日光に晒されざる若き葉身の外皮を剝き取り製出せらるゝものにして更に之が詳細を述べんに此の若葉の摺は葉身二枚堅く密著し葉全體の形狀團扇の如く中央部の長きものは六尺に達し兩側は漸次短く其の纎維は外面より剝き取らるゝと雖も時には內面よりも得らる、されと既に開き終へたる葉よりは得る能はず又其剝取には若葉を幹より切取りてより直ちに之を行はざるべからず（少なくとも二十四時間以內に）然らざれば此の纎維を得ること困難なるのみならず直ちに細く裂け商業的價値を損すること甚だしければなり而して葉纎維を得んには先づ裂片を選擇し中肋を取去る而して之を右足にて基部を踏み上方尖端より二寸位の所を左手に握み強く緊張せしめて剝き取るものにして此の仕事は餘程敏捷に且つ上手に行はざるべからず尙強く牽引するは頗る肝要のことに屬す然らざれば此の皮は數片に破れる恐あるが爲めなり

若し最も白き品質を得んには尙その葉纎維に附著せるパルプを小刀にて摺り取るを要す斯くして得られたる葉纎維は直ちに約三時間は太陽に晒す又內面の皮は葉纎維として使用すること稀なり之れナイフにてパルプを削り取り調製する時は外面よりも非常に時間を要し而も內面の皮は外面のよりも丈夫なるも色の點に於て不適當にして到底同一型のものを揃へることは困難なるを以てなりブリ葉纎維は亦子供等の手にて容易に取扱はるゝ以て子供等が往々立派なる製品を作出することあり尙此の葉纎維は染色に易く染上は外觀非常に奇麗なり而して玆に注意を要するは豫め此の纎維は水に濕して後使用せらるべきことなり

（ホ）　纎維の用途

ブンタル纎維カラシアオ細片（カラシアオ細片製帽子をブリ帽とも稱す）葉纎維は何れも主として製帽

原料として使用せらるゝ外ブンタル及葉纖維は机上亂れ籠の如き又ブリ細片はバニヨス(袋の意)手提籠ボタン及カラー入煙草入團扇等を製造せられブリラファイアは籠座布團窓掛用としてラファイア布の外觀は非常に優美にして調和好き爲め賞翫せらる

四　ブンタル帽

(イ)、原料ブンタル纖維の産額と島内取引

ブンタル纖維の調製に就ては既述の如し茲には其の産額と比律賓群島内に於ける取引に就き記述せんに本纖維の産地は苟くも本群島ブリ椰子の生育せる地方は何れも多少の産出を見ると雖も其の主産地と見るべきはタヤバス州ルクバンを擧げざるべからず又ブラカン州バリウを以て其の次位とす若し夫れ産額に至りては何等準據すべき的確なる材料を得ざるを以て之れが詳細を窺知するを得ずと雖も千九百十一年比律賓科學研究所の報告に據ればルクバンを中心とせる地方に於ける一箇年の産額は凡そ十萬比乃至二十五萬比にして其の半額は同地方に於て帽子として製造せらると云ふ而して此の纖維は地方土人の製出にかゝり買集人の手に依て之を其儘か或は艶出の爲めロール機に掛け等級を三種に選別したる後各地の製帽從業者或は馬尼剌の外國貿易業者に販賣す由來ブンタル帽子の製造に就ては竹帽子と共に比律賓政廳が家庭工業として熱心に普及したる結果は目下地方に於ける重要産業の一となれるの狀態なるを以て買集せられたる纖維は製帽用として其の取引島内に多く外國輸出として未だ見るべきものなし馬尼剌市に於て纖維を取扱ふ主なるものを擧ぐれば

チーマルチニ商會(G. Martini Ltd. Muelle de Industria Manila P. I.)

太田興業株式會社(Ohta Development Co. 214 David Manila P. I. P. O. Box 1150)

にして其他にも多少取扱者なきにあらざるも明ならずマルチニ商會は伊太利人の經營する所にして帽子或は纖維を米國並歐洲方面に輸出し太田興業會社は大正七年七月迄に京都市岩田商會に製帽原料として二百二十「キロクラム」を輸出せるも目下は島内の相場騰貴せしに日本内地にありては製品の價格引合を見ざるの故を以て遂に纖維の取引は中止せられたり

(ロ)　ブンタル纖維の相場

大正八年八月比律賓に於けるブンタル纖維の相場は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

左の如し（一キログラム）

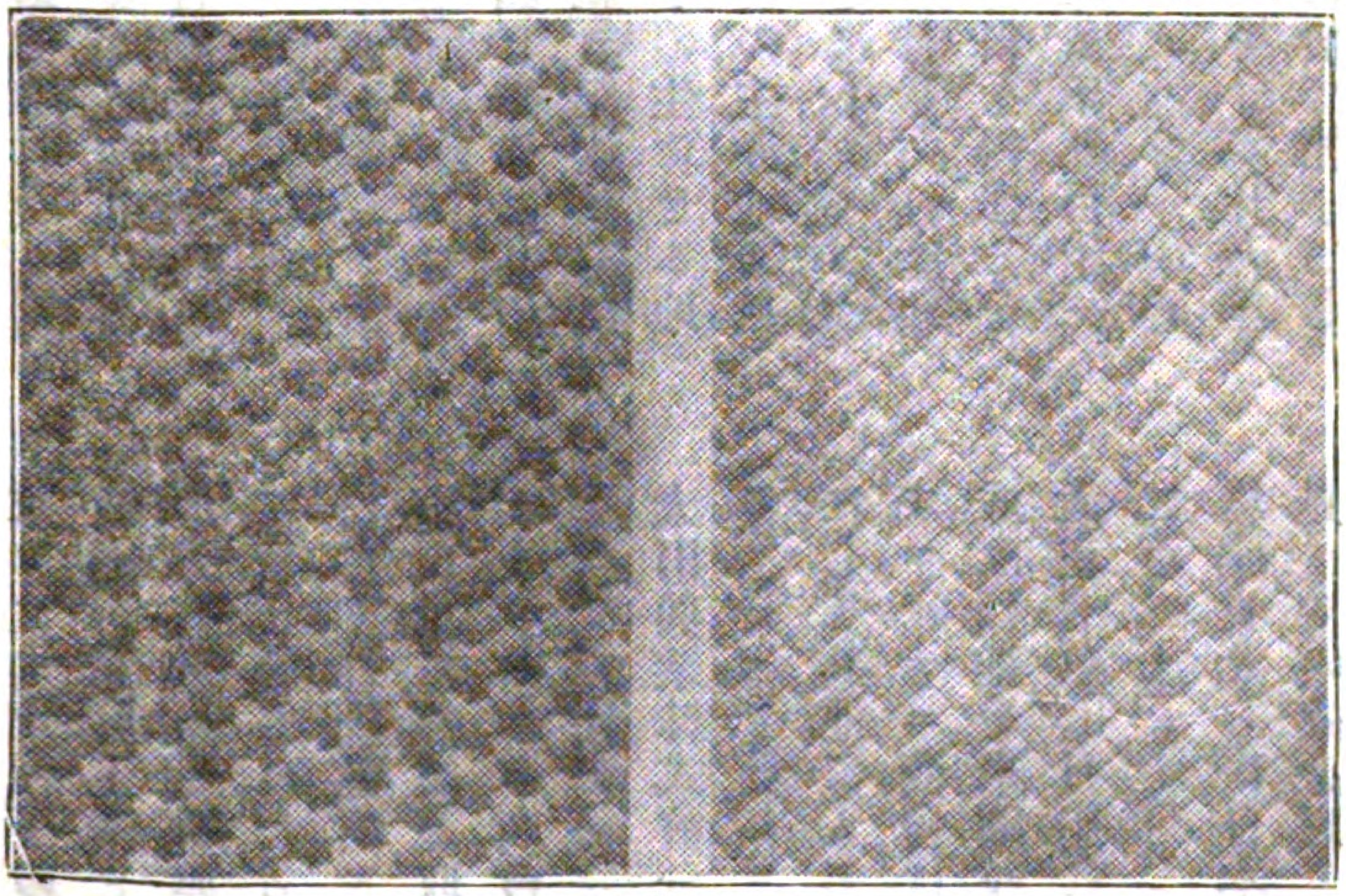
種別	バリウ地方産地値（比）	ルクバン地方産地値（比）
一等品	七・五〇	五・〇〇
二等品	六・五〇	四・〇〇
三等品	六・〇〇	三・〇〇

右はロール機に掛けたる後等級の選別をなしたるものにして若しロール機に掛けざる混合品ならばマニラ市買手倉庫渡にて二比七五仙なり

（八）ブンタル纖維と本島

本島に於ては勿論本纖維の生産なく未だブンタル纖維を市場に見ざるも見本的には大正五年本島第一回共進會開催せられたる當時少許の輸入ありしも（當時はブンタル纖維製帽子と共に）何等其の纖維の利用法講せられざりしは遺憾なり爾來荏苒今日に至る偶々大正八年新竹廳帽蓆同業組合の注目する所となり本纖維を見本として輸入し製帽せるも成績明かならず尙現行本邦輸入税率は本纖維に對し到著値の五分（漂白せざるもの）を課せらるゝも本纖維が織物用として即ち機織原料に供せらるゝものならば無税なり

故に本纖維に就ては更に一層の研究を重ぬるを要す



ブンタル帽綾編と平編

（二）ブンタル帽子の産地及種類

ブンタル纖維を以て編工したる帽子をブンタル帽(Buntal hat)と稱す外觀の美と輕快を以て周く知らる此の帽子は西暦一九〇九年頃迄は呂宋島タヤバス州ルクバンを中心として附近の村落に盛に製造せられたるが其後ブラカン州バリウの商人に依り製帽の業はバリウに傳へられ此地に於ては竹帽の編方を應用して綾編みとなせり現今平編をルクバン帽、綾編をバリウ帽と稱するは其起源茲に胚胎すと云ふ而してルクバン地方の最初にブンタル帽を製造せしよりブンタル帽を一名ルクバン帽とも云ふ又此の帽子を海外にてはバンコックの名に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て知らるゝも敢て暹羅の都市たる「バンコック」と取引を有するが故なりとの意にあらずと云ふ

此の外帽子の産地としてルイジアナ、カンダラッア、ロブス、マウバン、サンパロ、マヤイヤイ等名あるも夫れ〳〵地理的關係により前記二大市場を經由して搬出せらるもの多し現今ルクバンのみにて一週間の製造能力は五〇〇「テルノ」にして一二、〇〇〇比以上の産額なりと云ふ

（ホ）製帽及取引

本群島が産業不振の爲め政府は夙に職業敎育を授くるの必要を認め小學校にて手工或は農業を課しつゝある結果今日に於ては家内工業としての製帽業は大に見るべきものあり此のブンタル帽は一人の手に依り編み上ぐるものあるも又數人の手を經て出來上るを普通とす先づ一般に或者は帽子の帽冠を編み他のものは鍔を編む又縁を縫上ぐる者型付及漂白する者あり編み上げたる帽子は買集人の手にて之を一揃宛に仕譯け地方移出代理業者に賣却す一揃の仕譯とはルクバン帽は八個を以て一組とし之をテルノと稱す之れ多くの編工者中には種々巧拙の差あるを以て斯くの如く「テルノ」にて取引せらるゝ慣習あることも當然なり而して此の帽子は實に纎維採取者→買集者→製帽從業者→買集者→地方代理移出業者→馬尼剌市帽子商（輸出商を含む）の順序を經るを以て纎維より帽子に製造せられマニラ市帽子商の手に入る迄は實に數人の手を經さるべからず故に例へば直接編帽者より購入する時は一箇三比五〇仙の帽子も小賣値にては七比乃至八比を唱ふる有樣なり

或る時は編工者の資金著しく缺乏し彼等が食料品購入の爲め帽子を大安賣する時期を見計ひ安値に入手し多大の利益を收得することあるも又反對に或時は帽子の季節的需要の到來したる時に編工者及買集人は帽子の高値を唱へて容易に賣放たざるが爲め其需要を充たすに困難を感ずることあり要するに現今は比律賓に於けるブンタル帽子は製品の區々たると需給關係の圓滑を缺くあり又一定の標準もなき爲め地方移出業者及外國輸入商によりて取引に困難を伴ふが如し

（ヘ）工賃と帽子の相場

更に帽子調製に對して支拂はるゝ編工賃なるものを見るに帽子の種類に依り異るも概して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

編　工	一「テルノ」に付	二〇仙—五〇仙
（特等品ナラパ）	同	二五仙—五〇仙
火　熨　工	同	五〇仙—七〇仙
仕　上　工	同	五〇仙—七〇仙

而して一「テルノ」中の品質竝に出來榮は頗る區々に渉り從て帽子の價格に關しては定價表の如きもの無きも大體ラクバン帽子最近の取引値を擧ぐれば左の如し

第一種（特等品）	一箇に付	一五比—三〇比
第二種（上等品）	一テルノ	三〇比以上
第三種（竝等品）	同	二五比以上
第四種（下等品）	同	一八比以上

而して最も賣行良好なるは第二種及第三種なりとす近來第四種たる下等品の需要を喚起し來れり之れ英京倫敦に於てオリヂネートに供用せらるゝが爲めにして目下マニラに於ける少くも四大帽子輸出者は通稱ライフと稱して取引競爭盛なりと云ふ

（ト）　ブンタル帽子の輸出高

ブンタル帽は竹帽ブリ帽と共に比律賓輸出は年百萬比を超え主なる仕向地は米國なるも此地より更に英國佛國方面に送らるゝもの多しと云ふ今最近三年間の輸出高を示せば左の如し

▼ブンタル帽子の輸出高

仕向地	大正七年 數量	大正七年 價額	大正六年 數量	大正六年 價額	大正五年 數量	大正五年 價額
米國	個 二九八、一八四	比 九九六、六六九	個 三四四、八六四	比 一、〇九四、八三〇	個 三一七、三〇五	比 八八二、〇五〇
英國	—	—	六〇	一二〇	—	—
佛國	五、〇〇〇	一八、四八六	四〇八	九一二	一、二〇〇	四、二〇〇
西班牙	—	—	—	—	一、二〇〇	四、二〇〇
支那	二五	二七六	—	—	—	—
香港	—	—	二八	五〇七	—	—
日本	—	—	—	—	二六	九〇
濠州	—	—	四七四	一、二九一	—	—
計	三〇三、〇二九	一、〇一五、四三〇	三四五、八三四	一、〇九七、六六〇	三一九、七三一	八九〇、五四〇

五　結論

ブリ椰子の價値の概要は敍上略說の如し就中ブンタル帽子は其の能く漂白せられたるものにありては光澤絹の如く重量は羽毛の輕きに比すべく（普通帽子飾なきもの十匁內外）此の二點に於ては全く他品の追從を許さず美術的に衞生的に且つ經濟的に何人も推賞措く能はざる所なり斯るが故に本那は勿論英、米、佛向の輸出品として最好適の帽子なりと云ふを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

得らず而て顧ふに本島に於ける家内工業として製帽の業は頓に隆盛に赴き當局の指導奨勵並に檢査制は從業者の熱心と相俟つて著しく技術の進歩を促せり此時に當りブンタル纖維の如き最も適好なる原料豐富に供給せられ且つ取引上に注意を拂はるゝあらば本島製帽界は一層の繁忙を來し必ずや比島の産品を凌駕して海外市場に聲價を博するに至るべし尙更に進んで本纖維のみならず一般にブリ椰子に關して一層利用法を講究せば其の用途は更に擴大すべく蓋し本島産業上一段の光彩を添ふるものと云はざるべからず若し夫れ原木たるブリ椰子にして一朝本島に移植せられ原料の採集容易となるの曉に於ては産業界の一大福音たる亦思半ばに過ぎん

臺灣の棕櫚皮

—其生産と消費—

殖産局農務課報告

(一)栽培及生産狀況　本島に於ける棕櫚樹の栽培は極めて微々たるものにして園として見るべきものなく僅に宅地或は畑地に於ける周圍を利用し自家用又は風致用として栽培するに過ぎず營利的に栽培する者殆んど皆無の有様なり從て盛んなる地方として特記すべき箇所なきも最近臺南州嘉義郡小梅庄字科子林及同郡竹崎庄字畚箕湖の二箇所に於て稍多數栽培しつゝあるのみ

今最近に於ける州廳別栽培及生産狀況を記すれば左の如し

州廳	栽培樹數（本）	見積栽培面積（甲）	棕櫚皮生産數量（斤）	同上生産價格（円）
臺北	七、七四四	七四三八	四、七九一	一、五四三
新竹	二三、四六一	一一、五〇六	三三、四九六	一〇、〇三五
臺中	一、六三三	一、〇二〇	九五一	三四七
臺南	四四、〇六四	三三、〇四〇	五、九九八	六、二九七
高雄	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—
花蓮港	四五一	〇二四〇	—	—
計	八六、三五三	四二、二四四	四三、八三六	一八、一八二

(二)消費狀況　本島に於ける棕櫚皮の利用は蓑を編むを以て主たるものとし縄等をも製し又下駄の鼻緒に供することあり纖維靭强なるを以て其用途廣きも本島産のみては未だ其需要を充すに足らず大正九年中に支那より輸入せる數量並に價格は左の如し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

種別	輸入數量	輸入價格
椶梠皮	二五八、四九六斤	三九、三七五円
同上製蓑	二〇枚	二二
同上製繩	一二、二七五斤	三、四六一
計	—	四二、八五八

卽ち本島に於ける消費數量は約三十一萬五千斤にして生產量は消費量の一割五分に達せざるの狀況にありと云ふべし

澎湖島に於ける養貝適地

殖產局水產課調查

一 食用貝類

澎湖島產食用貝類の產額は統計に依れば二十五萬五千斤一萬五千圓にして其內主要なるものは蜊、蚶、九孔として報告さるゝも蜊は淺蜊にあらずして後述「スリガハマ」及「ヒメアサリ」の二種にして前者は淺蜊以上食用の價値あり蚶は伏老にあらずして後述「アラスヂケマンガヒ」を指し九孔は「トコブシ」の一種「イボアナゴウ」の一種を指す食用二枚貝の主產地は澎湖本島の北部沿岸中灣入せる沿岸なり其棲息の狀況を見るに臺灣西海岸に比し地形の關係上繁殖饒多にして日々干潮時沿岸隨所婦女子の採貝に從ふもの甚多きを見る

食用に供したる後の貝殼は處々に山積し之より牡蠣灰の一種を得べく其品質最優良なり

今澎湖島產食用貝類の主要なるものを列記すれば左の如く其種類は臺灣本島に比し甚異るものあり

	方言	和名	學名
1	大蚶トアハム	スリガハマ	Tapes literatus (Linn)
2	紅嘴仔アンチイア 砂蛤仔ソアカガア	ヒメアサリ	Tapes rariegatus (Hanley)
3	厚蛤仔カウカガア	アラスヂケマンガレ	Circe gibleis (Lam)
4	坪仔ピンアア	ケマンカヒ	Circe divaricata (Chemae)
5	不明	不明	不明
6	跳仔ギヨアア	イワウハマグリ	Pitaria Sp
7	壜頭頂仔ホウタウテア	シホナガヒ	Cryptogramma ifuamosa Linn
8	生蚶シンハム	エガヒ	Arca decussata Sombs
9	不明	タイワンヒバリガヒ	Modiola philippinareom Hanley
10	米蠔ビイタン	クロシギノハシ	Lithophagus antillarum Phil

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

11 朱螺ワウレイ	カンギク	Turvo coronatus vargrann-lata
12 不明	クマノコガヒ	Chlorostoma Migricolor (Dkl)
13 好螺ホウレイ	テウセンサヾエ	Turbo argyrostomus Linn
14 九孔カウカム	トコブシの一種	Haliotis Sp.
15 不明	アハビの一種	Haliotis Sp.

此内「カンギク」「スリガハマ」等は各所より媽宮市場に集ることあり

産額に於ては「カンギク」最多く之が塩辛は朱螺蛙と称し本島人の嗜好するところなり

棲息場は本島西海岸と異り必ず硓砧破片を混じ底質硬く介捲の使用に適せず地中二枚貝は多く錐を以て土中を衝き音によりて存在を識別する漁法多く又た四手状のものにて泥土を掻き起すものあり

底質は砂泥地なるも多少硓砧の破岸を混じアヂモ及顕花植物所々に繁茂し「コナウミウチワ」「ラッパモク」の類を密生することあり内湾には小河の注入あり雨期には之が影響を受けて海水鹹度は甚低く凡ての状況は貝類の繁殖に好適なるを見るも冬季の季節風は多少繁殖を妨くるものゝ如し

魚価の低廉なるが如く食用貝類も甚だ廉にして一斤「スリガハマ」にて六、七錢を普通とす

澎湖全島を通し始は全然産せず然れども移殖によりて繁殖を望み難きにあらず

前記種類の外食用貝類に左の如き種類あり

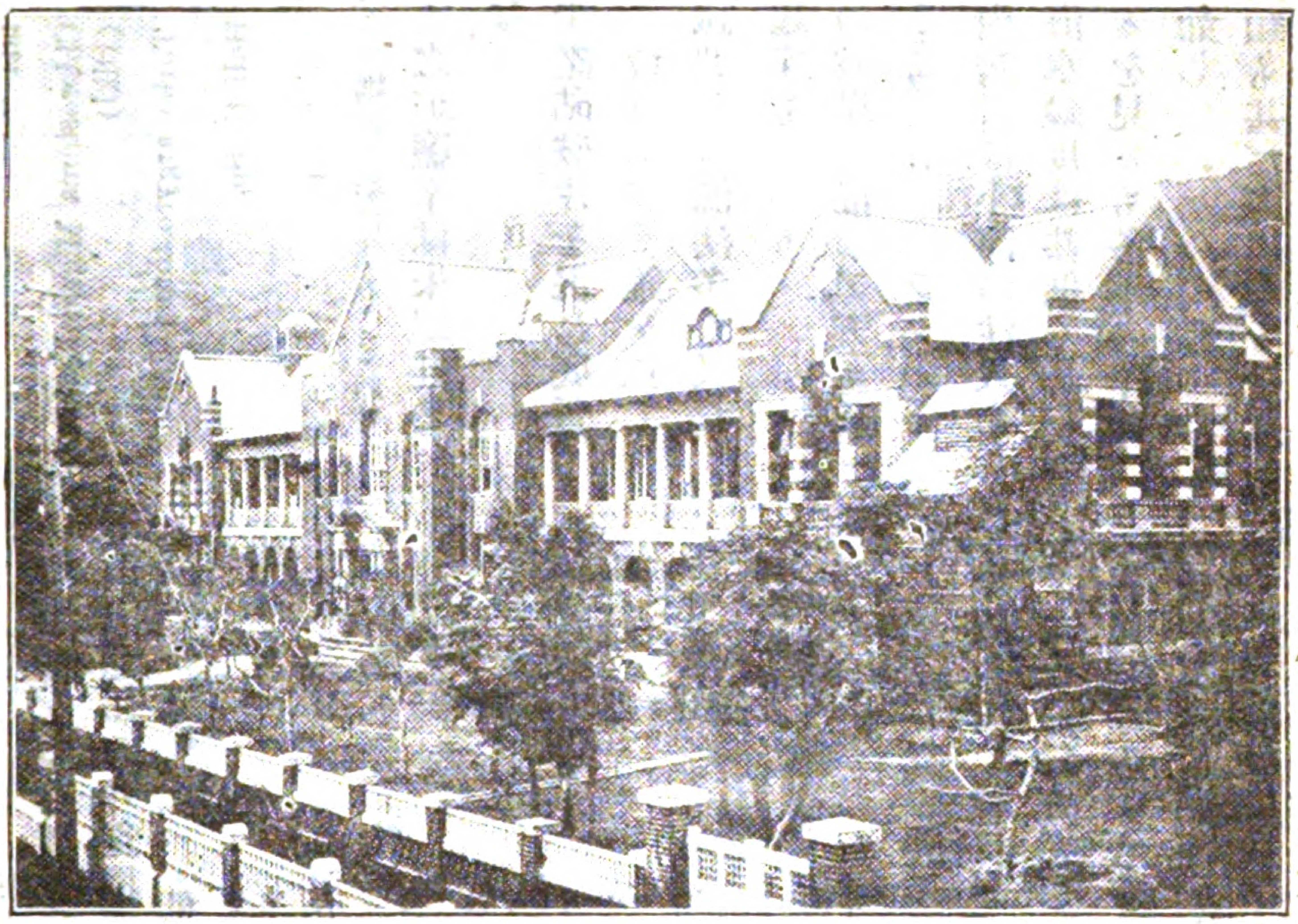
方言	和名	学名
16 不明	リウキウシラトリ	Tellina rugosa Born
17 不明	不明	
18 笑蚶バアショウハム打	ミノガヒの一種	Tellina rugosa Born
19 不明	ホリスヂテツホラ	不明
20 弧螺キョウレイ	イシダヽミ	Lima Sp.
21 不明	アマテブネ	Purpurapersica Linn
22 甘螺チイレイ	イシダヽミアマガヒ	Monodonta labis Linn
23 米螺ビイレイ	イボウミニナ	Nirieta albialla Linn
24 不明	ウヅラタマキビ モリトキ	Neiita helicinoides Reeve Potamiles zonata Brug

二　養殖適地

今回食用二枚貝の主産地たる澎湖本島比岸干潟に就き調査したるところを記せば左の如く各種二枚貝の養殖適地少からざるも湖西、潭邊、後堀潭等最好適にして殊に湖西の如き現に「スリガハマ」の繁殖著しく是等沿岸に於ける養貝適地の総面積は少くも百甲歩を下らさるべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(イ)湖西　湖西は深く灣入し灣口には數多の石滬あり波浪靜穩にして一帶干潮時には廣き干潟を露出し底質は他に見ることを得ざる硓砧(樹枝狀)の破片より成り一見砂質と見らるゝものも悉く砧硓の粉末なりとす爲に地盤は平坦ならず表面下は黑色を呈し多少腐臭を發す棲息する食用貝類は「スリガハマ」最も多く「アラスヂチマンガヒ」之に次ぎ沖合岩石には「カンギク」其他各種螺類及硓砧內には「クロシギノハシ」の類を產す澎湖本島中有用二枚貝の產は湖西附近最も多產するが如し干潟上には一種の紅藻「ラッパモク」「ウシウチワ」「アオサ」海雹菜を附著しアヂモ叢生地中ニ貝類の繁殖良好なり灣內海水は調査當時雨の爲低かりしが如し從て淺蜊類の棲息少し



中央研究所高雄檢糖支所

月日	時刻
六月二十七日	午後二時三十分
水溫	比重
三一・〇	一、〇二〇三(三一・〇)

採集者は婦女と小兒にして一日二、三斤の漁獲あり西螺より湖西に至る海埔地には是等採介の婦女子供にて充たさるゝを見る

(ロ)西螺　沿岸は干潮時露出すること少く沖合に向ひ二三町の間一尺內外の水深を保ち樹枝狀硓砧を以て滿たさる主として螺類を產す、內海を爲せる部分は軟泥質にして干潮時露出面廣く稀にマングローブ繁茂し地形養魚地の築造に便なり「アラスヂチマンガヒ」等を產す

(ハ)沙港　干潟は火山岩の平坦なる岩盤露出し砂泥地に乏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ニ)西寮　干潮時も沙泥の干潟を見ず岸邊は軟質の火山岩にして岩石の裂目にはイソメを產す

(ホ)潭邊　干潟は半月狀を爲し約十甲に及び砂質平坦にして他と異り硓砧の破片を交へず沖合に向ひ緩なる傾斜をなす沖合には「タイワンカサミ」の漁獲多し

(ヘ)港仔港　火山岩の礫散在し南に向ひ漸次干潟の幅狹小なる

(ト)宅脚嶼　干潟は全部岩盤にして介の棲息に適せす

(チ)東衛及西衛　干潟は宅脚嶼の如く岩磐多く澚入深きも地盤堅し以上砂港以西には砂泥地少く螺類多きも淺蜊類少し干潟の沖合は餌料「カネタ、キ」及「タイワンガザミ」漁獲せらる

(リ)火燒坪　殆んど干潟と稱すべきものなく治岩、火山岩露出す

(ヌ)後窟潭　硓砧破片と礫を散在するも稍平坦なる干潟約二十甲步を有す沖合は干潮時一二尺の水深を有す

海底は「コナウミウチワ」の繁茂著し生時黑色を爲せる矮小なる角質海綿を產す棲息貝類は「スリカハマ、イワウハマグリ」の類「アラスジテマンガヒ」「チマンガヒ」等なり

干潟海水の觀測左の如し

月日	時刻	水温	比重	
六月三十日	午後四時	三二・四	一、〇二〇〇(二二・四)	水深一尺干潮前一時間

(ル)文澚　澚底より六七町の干潟を生ず沖合に向ひ傾斜緩なり底質硬き粗沙に泥を混ず文石書院以西は貝の棲息に適す主要貝類は「シホヤガヒ」及前記５等なり沖合よりは「コナウミウチワ」海綿「アヂモ」を存す

三　將軍澚黑蝶試驗地視察

倉島西北端澚内の黑潮試驗地に就き潛水夫をして探介せしめ黑蝶分布の多寡及太さの大要を調査したるに黑蝶は相當繁殖し居ることを確めたり

大さは殼長四寸五分内外のもの最多し此海面は曩に澎湖島海底調査の際に於ても多數自然に繁殖せり海底は花硓砧に充ち「センチリイワツタ」「マユハキモ」の外海藻の繁殖少し海水の觀測左の如し

月日	時刻	水温	比重
	午前十時	二四、二	一、〇二二四(二四、五)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四　工藝用貝類生產狀況

媽宮に於ける貝殼細工業は目下八戸、從業職工十八人に過ぎざるも其原料の主たる夜光貝の如きも臺東廳下或は沖繩縣に仰ぎ澎湖島には殆其產なく黑蝶、子安貝類、法螺貝、千歲貝の如き澎湖水產會に於ける貝殼彫刻傳習に使用する原料も島外より購入し居れり、大正八年購入の原料各種の單價左の如し

子安上物	一個八錢七厘
千歲	一個一圓八十錢
花瓣子安	一個六錢

花瓣子安のみは澎湖島に產し一升一圓を價す尙鈕原料なる高瀨は殆ど產せず之が代用品たる廣瀨介も一時十萬斤生產の見込を爲したるものあり某鈕工場の支店設置の運に至りしも事實は豫想と反し中絕せり尙ほ黑蝶は各沿岸に繁殖するも多くは冬季風浪の爲に打上げられ安全なる棲息場に乏しきもの丶如く著しき繁殖を期待すること或は困難なるべし白蝶に至りては單に澎湖近海にも分布すと稱するに止り一年一二箇偶然漁獲を見る位に過ぎざる狀態なり

五　海綿養殖場

海綿養殖は後窟潭沖合の干潟に在り干潮時一、二尺の水深を保ち水質清澄海底砂礫交りの沙泥地にして介類の棲息に適せり海綿は矮小なるもの多數散在するも商品となる可き大形のものなし

試驗地標杭は風波の爲め流失して其位置を知り難く成長の狀況等調査するを得ざりき

六　定地觀測豫定地調查

從來施行の臺灣沿岸四觀測點の外澎湖島は漁業の盛なる點に於て漁業豐凶の參考上海洋觀測を必要と爲すものあり澎湖本島附近は沿岸屈曲し且つ離島を散在し海水の流迴一定ならず適當の地點として今回將軍澳地先をトし觀測點を選擇し同地派出所巡查と打合せ觀測事務決定の上匆々著手の便を計り水溫比重等測定方法を示せり

▼本島の信徒總數十萬三千三百八十二人

▼佛教四萬七千八百七十八人、內本島人一萬二千二百六十六人、他ハ內地人　▼基督教三萬五千二百七十四人、內本島人三萬三千二百九十五人、外國人三十九人、他ハ內地人　▼神道二萬〇二百二十八人、內本島人一萬〇四百十二人、他ハ內地人ナリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國通信

華府にて　殖産局　澁谷技師

小生の當農務省に於ける調査事項も大方片付候まゝ七月半迄に其結果を取纏め、繼いで南方諸洲より玖馬へ罷越す筈に御座候。此地でさへ昨今は臺北よりも暑く連日九十度以上の氣溫打續き申候。更に南下して玖馬に參り候はば眞に熱帶氣分が味はれ申す事と存候。

前便にて申上候通り、金の米國にては農業上集約にして農産の增收を圖ることは毫も考へ居らず、吾人の要求を滿たす可き筈の材料の至つて乏しきを認め候。然し農産物の加工即ち農産製造或は農業の工業化につきては一般に發達いたし、農産物の價値を增加して市場に提供すべきことに力め居候。尤も穀類や棉の如きは、倉庫より直ちに工業の圏内に運ばれ候へども、果實、蔬菜類の加工は、農産製造の範圍に於いて、或は農家自ら加工し、或はコーオペレーションの形に於いて加工場を設け居候。例せば果汁の製造、蔬菜の乾燥罐詰の如きは夫れに御座候。何しろ大規模の農業にして取り上げ高も多き事に候へば、市場の需要を慮り時として自ら加工保存の有利なる場合あるべき事は當然と存候。然し此間に於いて吾人の學ぶ可き事は、賣手が買手の需要を增す爲めに嗜好に投ずる樣、加工に苦心する事に候。臺灣にても土地の利用と相俟つて、農産製造によりて農業上の利益を增進す可き餘地ある事と存候。啻に芭蕉や柑類のみならず、鳳梨も檨仔も傾斜地を蓋ふに足る可く、小麥や豌豆も更に亞爾加里の强き地域に播種せらる可き儀と被思候。此の種の指導奬勵は土地生産力の增進と共に臺灣には大切なる事と存候米國は國が大きい丈けに內容(キャパシチー)も大きく候。米國には桑も出來、茶も樟腦も出來ることは既知の事實に候、勞力や市場の關係にて、且は保護奬勵の程度にて、未だ盛大にならぬ所以に候。追て生糸や茶や樟

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

腦は米國より日本へ輸入せらるゝ時代のある可きを覺悟せねばならずと存候。此間も當市の博物館にて養蠶の實況を小學校の生徒に展覽せし筈に御座候。蠶蛾が羽を有する爲め、空中を翔び廻るものと心得蛾の標本を糸にて吊し、空中を飛び居る樣に見せ掛け居る狀態なれば、生糸逆輸入の實際迄には間も有る可き事と存候へども、少なくとも右の覺悟が必要と存候。況んや樟腦の如きは戰時中事實人工的に合成せられたる趣なるに於ておやと存候。

初め期待致し候空氣中の遊離窒素固定に關する工業は、左程發達し居らず、やはり日本と同樣、石灰窒素の製造が主に御座候。(石灰窒素より硫酸安母尼亞) 幸ひ農務省にて同室のデビスと申す仁は、陸軍省兼務の技術官にて、主として其方の擔任に御座候。アラバマ州とワシントン州にて新たなる方法にて計劃中の由なれども、戰後經濟界の沈靜にて遽かに達成の樣にもなき模樣に御座候。平和の今日となりては肥料に供するが主なる目的に候間、智利硝石もドシ〳〵輸入せられ、且つ石炭の豐富にして廉價なる米國にては、タールより巨多の硫酸安母尼亞の製造せられ候爲め、該窒素工業の頓に發達せざる事も無理ならぬ事と存候。日本の如く硫安を輸入する國に於いては事情全く之と異なり候間、算盤の取れぬ事も可有之と被考候。

米國農務大臣ワラス氏は目下各州の農科大學卒業式に臨席し、米國農業界は技術に於いては既に極致の進歩を致したれど、農民の經濟思想に關する開發指導は毫も爲されず、爲めに經濟界の動搖につれて農民は益々疲弊するのみ、故に農業智識階級者は、宜しく農民經濟思想の開發に努力せざる可からず、と訓辭致し居る樣子に候。米國にして既に此の聲あり。我國も亦た必ずや心せざるべからざる事と存候

草々

土地改良調査の近狀

本調査は大正九年度より大正十三年度に至る五箇年間に亙り全島に於ける排水不良區域に對し排水に依る土地改良の調査設計を爲すものにして調査員を三班に分ち夫々各地方の調査及設計に從事せしめつゝあり。

大正九年度に著手し現在尙ほ調査中に屬するもの左の如し。

高雄州東港地方	調査面積	約	一萬甲
臺中州溪湖地方	同	同	五千甲
臺北州北部宜蘭地方	同	同	一萬五千甲

調査面積合計約三萬甲にして本年度内に全部を完成し引續き其他の必要地方を調査する豫定なり。

（殖産局農務課報告）

國勢調査の事務進行

客年十月一日に實施せられたる第一回臺灣國勢調査（第二次臨時臺灣戶口調査）の編成事務は豫定の通り進行を告げ單名票及世帶單位票の截斷整理は八月中旬完了し引續き住居、世帶及種族別人口の確定數算出を終りたるを以て六月以降午後五時迄執務し來りたる定時間外の勤務は八月一杯にて之を廢止し一般の勤務時間に復したる趣なるが之より要覽表及集計原表の編製に從事し前者は本年内後者は本年度内に之を了する豫定にして此等の諸表より更に結果表と稱する抽象的統計表を調製し之に依りて記述論評を爲すの順序にして大正十二年迄の繼續事業なりとす

（臨時國勢調査部報告）

鐵道運輸狀況

大正十年七月中運輸の狀況概略左の如し。

▼本線（縱貫線、淡水線、瑞芳線、潮州線） 乘客人員は百五萬三千八百三人にして其の收入は五十萬二千百九十四圓八十九錢なり之を前年同月に比するに人員に於て五萬九千二百十五人收入に於て一萬五千六百二十一圓六十四錢を增加せり。

貨物噸數は十五萬一千二百四十三噸にして其の收入は三十五萬四千二百六十五圓五十五錢なり之を前年

同月に比すれば噸數に於て三萬三千九十一噸、收入に於て五萬一千二百八十二圓七十二錢を減少せり。

▼臺東線　乘客人員は四萬五千七百四十六人にして其の收入は一萬五千二百十五圓二十五錢なり之を前年同月に比すれば人員に於て一萬三千八百三十一人收入に於て五千七百七十八圓十四錢を增加せり。

貨物噸數は六千六百四十六噸にして其收入は八千三百三十三圓十四錢なり之を前年同月に比すれば噸數に於て四千七百五十噸收入に於て五千五百六十六圓八十一錢を增加せり。

▼宜蘭線　乘客人員五萬五千六百四十三人にして其收入一萬三千七百六十六圓六十六錢なり之を前年に比すれば人員に於て九千二百三十二人收入に於て二千九百三十八圓九十二錢を增加せり。

貨物噸數は二千三百九十四噸にして其の收入は二千四百十二圓六十五錢なり之を前年同月に比すれば噸數に於て千三百十八噸收入に於て三百八圓六十四錢を減少せり。（鐵道部報告）

蠶業協議會

每年一回擧行する全島蠶業協議會は七月五日午前九時より總督府一階食堂に開催、第一日に於て局長訓示ありて會議に入り協議事項竝に打合事項に對する答申其他の議事を終りて同七日閉會したり協議したる事項左の如し。

▼蠶業協議事項　蠶業奬勵地域、桑園の調査竝に野桑、桑樹增殖、養蠶違作の原因竝に調査、蠶繭輸送及買收、飼育適期竝に回數、飼育指導、蠶具、豫算經理蠶業講習及蠶業技術員講習竝に品評會等に關する事項十二件

▼打合事項　蠶業敎師轉職又は兼掌の場合報告の件外八件

旗山圳の完成

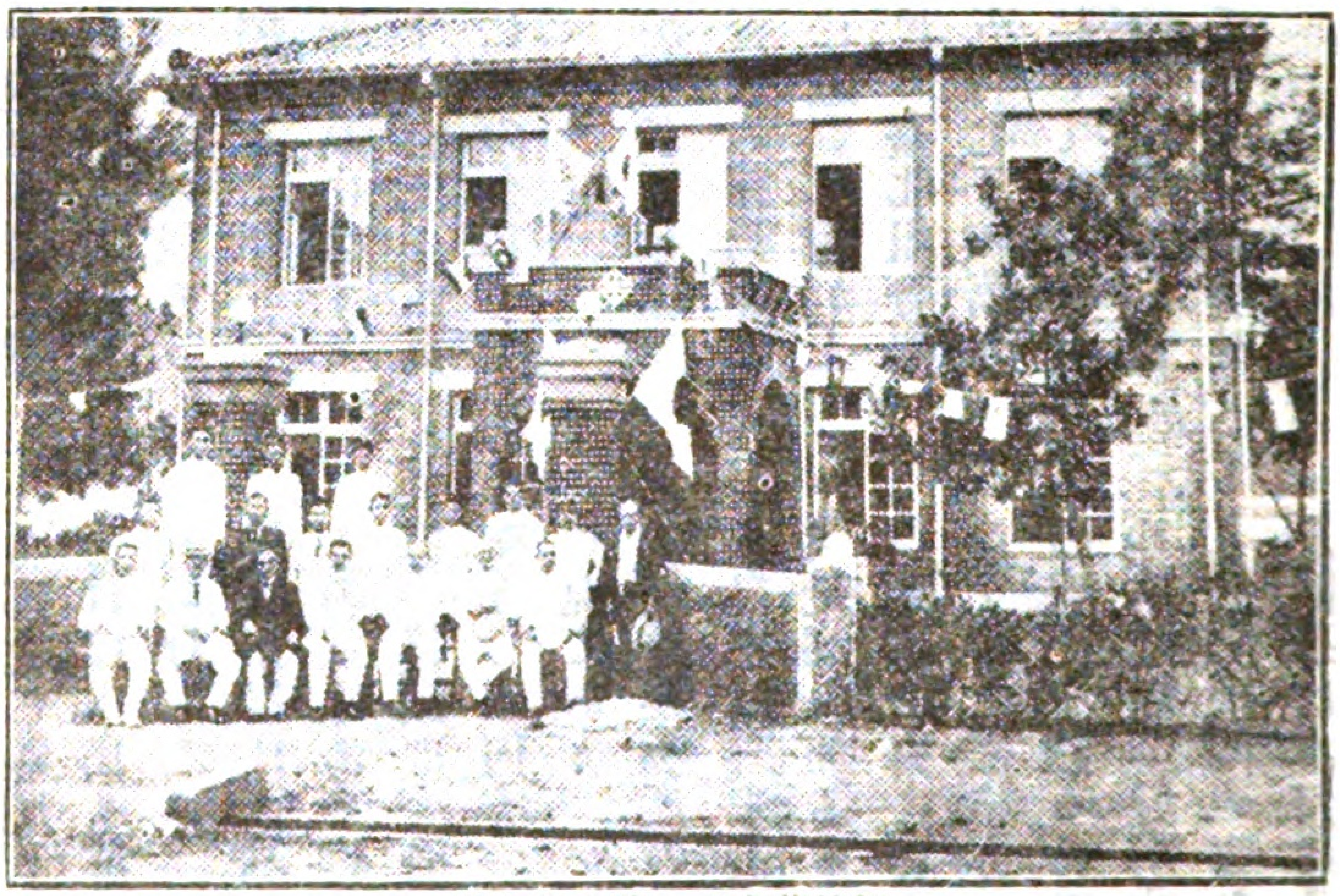
旗山街には從來圓潭子埤圳なるものありしか今回鹽水港製糖株式會社に於て糖業奬勵法により更に之を溪州礈礡坑に至る五里を延長開鑿し高雄州公共埤圳聯合會に引繼くと同時に旗山圳と改名し該工事完成の祝賀會を兼ね臨時總會を八月二十三日午前九時より旗山公館に開催せり當日は御厨内務部長臨席し一場の訓示を與へ松村郡守、勝又奬氏、陳順和氏等の祝辭ありて正午開宴午後一時閉會せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同日午後二時より御厨內務部長の內地に於ける自治行政視察の有益なる宣傳講話あり郡內各街庄吏員其の他官民婦人會員等約二百名は三時間に亙る興味ある講話を聽き午後五時散會せり。（高雄州報告）

旗山街役場の落成

一萬六千圓を投じ豫てより新築工事中の旗山街役場は頃日工事竣工を告げたるを以て昨二十四日午前十一時より新築役場に於て盛大なる落成式を擧行したり助役の工事報告、街長の式辭ありて後御厨內務部長の知事代理としての祝辭竝に松村郡守、石丸屛東街長の祝辭あり午後一時式を終り引續き落成祝賀の宴を公館に催し紅裙酒間を斡旋し盛會裡に午後三時宴を終りたり。（高雄州報告）



新築落成せる旗山街役場

臺灣電力總會

八月十六日午後二時より臺北市同社內に開かれたる第四回通常株主總會は政府持株代表を始め出席四十四人、此株數二十五萬四千七百〇一株にして、高木社長議長席に就き第四營業期（本年一月より六月迄）の業務大要その他につき報告する所あり、營業報告及諸計算、利益金處分等を順次附議したるに孰れも異議なく原案に決したるが其際一株主より日月潭發電工事費は最初の豫定にて十分なるや否、又同工事完成後發電馬力は需要先の見込確實なりや等の質問をなしたるに角副社長より一々答辯する所あり次に監事任期滿了につき選任の件は議長の指名に一任することに決し議長より大倉男、山本悌二郎の兩氏を指名し、二時五十分閉會したり。（臺灣電力株式會社報告）

金融概況

—七月中の—

久しく不況裡に沈淪せし內外の經濟界も月を逐ふて整理の基礎を固め漸次回復の兆候を示し來れると共に本島財界も亦概して順調なる經過を辿れり特に期米の好勢と爪哇糖況の活躍銀塊相場の騰貴米國財界の好調恢復の報等は一段の人氣を添へたるの觀あり爲に一般商取引も次第に回復增加の趨勢を示せり、七月中に於ける臺北、各銀行の手形交換高に徵するに其の枚數二萬六千八十五枚金額一千二百三十四萬二千餘圓にして之を前月末に比するに其の金額に於て二百二十餘萬圓の增加を示せり。

然れども財界の前途は俄に逆睹すべからざるを以て金融業者は未だ警戒を解くに至らず資金の移動亦依然として不活潑の域を脫せざるが故に遊資は彌が上に增嵩するに至れり、之を月末に於ける臺北組合銀行預金貸出金に對照するに預金四千五百七十四萬九千餘圓貸出八千百四十八萬三千餘圓にして之を前月に比するに預金に於て七百九萬一千餘圓を增加したるに反し貸出に於ては百七十七萬六千餘圓を減少せり。

金融の緩漫は今や世界的の大勢なり內地財界に在りては日を追ふて事業界は收縮し外國貿易は逐月不振の狀態に在るを以て益緩漫の度を加へ資金の過剩に苦みつゝあり曩に英米銀行の利下あり本邦に在りても亦之に順應して預金の利下を見むとするの傾向にあれば本島も亦近く預金貸出金の利下を斷行するに至らむ。

株式市場は金利の軟弱と相俟て幾分人氣を喚起したるの氣味あり特に暴落の爲不振の狀態にありし砂糖株の擡頭は一般の注意を惹けり之に反し島內雜株に至りては何等の變化なく依然として拂込額を割るの悲況にあり。

次に重要物產の狀況を見るに

本島米は外米高產米減收見込等により內地よりの注文殺到し加ふるに納稅期を控へ金融逼迫せる際とて農家は一齊に賣出を爲したれば市場は近來稀なる賑ひを呈し價格亦前月に比し一袋五六十錢方昂騰するの盛況を見るに至れり砂糖は需要期に入りたると且つ爪哇糖の好勢內地市場の躍進に持直しの高狀を呈し氣勢挽回の姿なるも未だ樂觀を許さす。

烏龍茶は本月に入りて頓に回復したるものゝ如く米國筋の注文顯れ稍々活況を呈し下茶及舊茶を除く上中茶の荷捌良好となり年內尙多量の輸出あるべく前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

途業觀の姿なり。

包種茶の需要は依然旺盛にして年初以來輸出高三百四十三萬五千六十二斤に達し其價格二百四十萬一千五百餘圓に上れり。

石炭は近時對岸輸出の激增と汽船燃料炭の需要相當多額に上り財界不況以來の出炭制限と相俟て貯炭の激減を現出し炭價も漸く恢復の曙光を認むるを得たり。

物價は年初以來漸落歩調を辿りしか本月に入りてより逆轉の趨勢に變じたるもの、如し今臺北に於ける物價指數を見るに月末一九二、四六を示し前月に比し一、四三の騰貴なり而して各品に付觀察するに前月に比し低落せるは烏龍茶、鷄卵、鉛、銅、セメント、燐寸の諸品にして白米、淸酒、砂糖、麥粉等は却つて反撥を見るに至れり。

手形交換月表、臺北臺南手形交換所組合銀行月報、臺灣銀行劵發行高及流通高、七月末臺北物價指數表左の如し。

手形交換月表

所在地	年月次	枚數	交換高	交換尻	交換枚數一枚に對する平均金額
臺北	大正十年七月	二六、〇八五	一三、五四二、九六八	六、二九九、一六九	
	前月	二七、三〇四	一〇、一三八、六九三	三、五四五、九九九	
	前年七月	三一、一四三	一四、四四七、七二二	四、〇八四、一五四	
臺南	大正十年七月	一四、九一五	四、〇四四、八五五	一、一五二、三五五	
	前月	一五、五六二	四、六九五、二〇五	一、三九五、五八〇	
	前年七月	一四、七七五	七、一四七、八三三	三、八六七、五六一	

臺北手形交換所組合銀行月報　大正十年七月

銀行名＼項目	拂込資本金	積立金	諸預り金	諸貸出金	有價證券	金銀在高
臺灣銀行	四五、〇〇〇、〇〇〇	一〇、五八〇、〇〇〇	三二、五六〇、三五六	四八、一七五、〇四四	一六、八六四、一三五	五、六九五、八五〇
三十四銀行支店	〇	〇	五、八五〇、五五一	五、六八七、五五一	〇	一五、四八五
商工銀行	四、〇五七、五〇〇	一、〇六八、二〇〇	五、四〇一、六〇〇	六、〇五八、四〇九	二、九八四、六五五	七六、九六四
彰化銀行臺北支店	〇	〇	一、六〇一、四三一	一、四五六、五九〇	〇	四一、一五五
新高銀行	五、五〇〇、〇〇〇	一、一二〇、〇〇〇	五、一一一、六一五	六、三五八、一〇〇	一、一一九、八〇〇	五〇、〇四二
華南銀行	七、五〇〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	五、二四五、七二四	三、六八九、一八一	一、五五六、九一九	二四、四九九
合計	六〇、〇五七、五〇〇	一三、七八〇、二〇〇	四五、九四九、五五六	八一、四八五、一四三	二三、五二四、一九八	五、四〇五、〇四五
前月合計	六〇、〇五七、五〇〇	一三、六六七、二〇〇	五八、六三八、八七二	八一、二四九、五八六	一六、四五一、四八〇	五、三五四、〇五五
前年七月合計	五六、八二三、一〇〇	九、八五五、五〇〇	五一、八六七、七四六	七七、〇六七、〇八二	二一、五九五、五六二	四、〇九七、〇四六

臺南手形交換所組合銀行月報　大正十年七月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

銀行名	諸預り金	諸貸出金
臺灣銀行支店	一、七二九、六〇八	一六、四一七、二〇三
新高銀行支店	三七八、八〇四	一、三一九、六一八
商工銀行支店	一、〇〇二、六三六	九九四、五六二
嘉義銀行支店	一、二四四、九三七	一、九〇九、二五七
三十四銀行支店	一、三四二、七三七	三、〇九四、七六四
合計	五、五九八、〇一二	二三、七三五、四〇三
前月合計	五、八五四、五六八	二四、五〇五、〇一〇
前年七月合計	六、二二九、五一五	一九、一五〇、三九八

臺灣銀行劵發行高及流通高表

年月	銀行劵發行高	國庫在高	市場流通高	準備並保證 準備	準備並保證 保證	制限外發行高
十年七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〇
前月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〇
前年七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	〇

臺北物價指數表　大正十年七月末

品目	本月	前月	前年同月
白米	一八六・〇五	一八〇・二三	二九三・六〇
玄米	一四三・〇〇	一三五・九六	二〇九・六五
清酒	二三三・二三	二〇六・三五	二三三・二三
麥酒	一八一・六〇	一八一・六〇	二〇四・〇〇
紅酒	一五三・七八	一五三・七八	一六一・一二
澤庵漬	二八八・八九	二六六・六七	三二四・四四
小麥粉	一六六・〇四	一五八・四九	一七三・五八
砂糖	一五五・八五	一四二・八六	三四〇・六六
鰹節	二八一・八二	二八一・八二	二〇〇・〇〇
味噌	一〇五・七七	一三五・〇七	二〇九・二三
醬油	二〇二・二七	二〇二・二七	二一八・一八
鷄卵	一七七・一四	一八二・八六	二四五・七一
火油	一二二・八二	一二二・八二	二〇五・一三
鹽	一四〇・九一	一四〇・九一	一三五・〇〇
煙草	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇
烏龍茶	九四・八八	一一三・八五	一七六・四七
包種茶	一〇六・九〇	一〇六・九〇	八六・二二
白木綿	一八二・五四	一八二・五四	三八〇・九五
綿布	一二六・五八	一二六・五八	二〇四・六七
洋紙	二七八・二六	二七八・二六	三四七・八三
日本紙	三三七・七八	三三七・七八	二八八・八九
杉板	三五一・一一	三一九・二六	四五一・八五
杉材	三二九・〇三	二九六・七四	三八七・一〇
洋鐵	二二六・三三	二三一・五八	二六三・一六
鉛	一〇六・二五	一三一・八八	一七五・〇〇
炭	一〇二・〇四	一〇四・〇八	一五三・〇六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

煉瓦	二六〇・八七	二六〇・八七	三三〇・四三
日本瓦	一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一九〇・〇〇
板硝子	二五〇・〇〇	二五〇・〇〇	三八一・二九
セメント	一九一・一八	二〇〇・〇〇	四九七・〇六
鐵寸	二六六・六七	二七六・五四	三五五・五六
石油	一九二・〇五	一九二・〇五	二一九・〇九
石炭	一五〇・〇〇	一七五・〇〇	二一二・五〇
木炭	二三三・三三	二三三・三三	二六六・六七
薪	二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	三二八・五七
平均	一九二・四六	一九一・〇三	二五五・六八

（備考）本表は戰前即大正三年七月の物價を一〇〇として計算したるものなり

平均指數五箇年對照表

月次	大正十年	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年
一月	二一三・五四	二七三・五三	二〇九・三八	一七八・三八	一三五・一〇
二月	二一一・四三	二八六・〇八	二〇八・七七	一八二・九七	一三七・五九
三月	二〇五・二五	二八六・九九	二〇三・五八	一八七・四七	一四二・二二
四月	一九八・九〇	二八一・五〇	二〇一・八九	一八二・一六	一三九・六八
五月	一八九・八三	二七二・五四	二〇〇・七五	一八三・九六	一三九・五九
六月	一九一・〇三	二五六・〇四	二〇八・一一	一八七・六八	一四三・三七
七月	一九二・四六	二五三・六八	二二一・二七	一九五・四九	一二四・六九
八月	｜	二四八・二〇	二三九・七〇	二〇二・三六	一六七・八六
九月	｜	二四四・七七	二三二・三七	二〇九・〇二	一六四・九二
十月	｜	二三四・二六	二四二・六六	二一三・一九	一六四・一六
十一月	｜	二二八・一五	二四八・〇二	二二一・六五	一六六・四〇
十二月	｜	二二一・四七	二六四・四九	二二五・六二	一七二・七五

各年月を一〇〇とせる本月平均指數

基礎年月	本月平均
十年六月	一〇〇・七四
九年七月	七五・八七
八年七月	八六・九八
七年七月	九八・四五
六年七月	一二四・四二

臺灣商況

—七月中の—

商工課報告

▼米　●●●内地米相場左の如し。

	定期米七月限 東京	定期米七月限 大阪	正米標準相場（中米）東京	正米標準相場（中米）大阪	内地米本島相場 肥前米	内地米本島相場 豐前米
六日	二八・二八円	二八・二一円	二七・八〇円	二七・八〇円	三一・八〇円	三四・五〇円
十一日	二八・二七	二九・〇九	二八・〇〇	二八・三〇	三二・六〇	三四・四〇
二十日	二八・二七	二九・三一	二七・六〇	二八・六〇	三三・〇〇	三四・六〇
二十八日	二八・五一	二八・九六	二八・四〇	二八・六〇	三三・〇〇	三四・六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政府の買上に應ずるもの尠かりし丈け農家の持米は潤澤なるもの丶如しと雖も當月に入り期米は天災氣構へに買方の活動目醒しく意外の好値を示し一般の注視する所となれり下旬政府は二回に渉り二萬三千石の外米賣下を爲せるも其關係及品質不良の點よりするも原來が外國米とて別段弱氣材料に資せられさりしのみか土用三郎以降は殊の外天候の不良に支配せられたると蘭貢米輸出禁止を入れ旁々一段と强硬を告けたり正米は月初より依然として期米に添はさりしも愈々期米暴騰の牽制に人氣一齊に硬化し月末には著しき鞘寄を見せたり。

本島に於ける内地米價のじり高なるも前述の如く期正米の奔騰に連れたるものに外ならす又久敷形勢不變なりし。

●●●

本島米も内地期正米高てふ好材料に刺激せられ翕然として活氣を呈し移出商談相當多かりしも餘りの高値は買募はれす下旬相場は稍々小戻を見たるも前月に比すれば著しく强調を以て越月せり尙例の丸糯は愈々品薄と共に三十一圓五十一錢と無比の高値を唱へて氣丈を示せり。

●●●

本島米價相場左の如し。

	北部玄米	白米一升	長糯	丸糯
一日	一五・一八円	一九錢	二一・七七円	二七・八三円
十日	一六・一〇	一九	二三・二三	二九・九〇
二十日	一五・八七	二二	二三・二三	二九・九〇
三十日	一五・八七	二二	二五・七六	三一・五一

▼砂糖　底意氣丈裡に保合の商勢を示せる機先歐洲筋の爪哇及玖馬糖買付報頻々として到り「トラスト」續騰を見たるより内地市場又之れに和し逐日市況は昂進歩調となり二十日入電爪哇トラスト十四盾半を移せるより遂に分密糖八、九月限保税十六圓の大關門を突破し好況に向ひつゝありしも月末受渡問題を懸念し兎角買溢り氣味にて仕手關係上一頓坐を現示せしも大勢既に低落を不許もの丶如く就中島内消費糖は各社共賣物稀薄なると各市場在荷皆無なる等勢ひ供給不足を生する觀想多く爲めに相場じり高氣味を辿り居る有樣なれば幾分目先好望と視て可ならんか。

精糖としては需用季なる割合に商談依然芳しからす旁々分蜜糖の好況も何等反應なく引續き閑散裡に保合の商狀にて月末市況基隆沖本船渡値段標準物二十

圓五十錢の唱なりき。

▼小麥粉　上海並に內地製粉會社は旣約品の引渡未濟の爲め各社共引續き全能力を以て操業しつゝあるも旣約品引渡に追はれ居る有樣にて依然在荷潤澤ならざる爲め手持筋の氣腰强く買人側は上海及米國麥粉の輸入を眺め逡巡の姿なれば買氣更に引立す氣乘薄の儘傍觀睨合の情態にて推移彷徨せらるゝものゝ如く月末氣配としては左の如し。

七月末入電氣配

龍印小麥粉	基隆沖本船渡	四圓四十錢
綠ダイヤ印小麥粉	同	四圓十五錢
上海寶星印小麥粉	基隆稅關庫渡納稅物	四圓八錢

▼烏龍茶　六月末より大稻埕市場には漸次夏茶の出廻はり旺盛となり各輸出商何れも買付に著手するに至れり而かも本季夏茶は昨年に比し品質優良のもの多く各再製茶館も米價及勞銀の割安と共に稍々活況を呈し愁眉を開けるの觀あり然れども一方米國の茶況は未だ遽かに樂觀を許さゞるも品質優良なる爲め見込買をなし前年に比し遙かに好況を以て經過せり今其の相場を見るに上物五十圓以上中物四十五圓下物三十圓內外にして本月中引合數量約七萬箱前月よりの通計十萬千六百箱にして之を前年同期に比すれば尙二萬千餘箱の增加を示せり。

▼包種茶　各茶館專ら其再製に忙殺せられ旁ら料花の買入旺盛なり料花は昨年に比し依然として高値にて四英花五十三圓茉利花五十圓丁度を唱へ昨年より約三割方の騰貴なり之れ畢竟病蟲害の爲め生產減となりしに因るものゝ如し本月中包種茶輸出數量三萬五千五百箱通計十四萬二千箱昨年に比すれば約一萬箱の增加なり。

▼綿布　七月中旬迄は全島農繁期にて市況閑散なりしか北部は茶の好況中南部は米價の小騰とにて下旬に至りては幾分購買力を增加し稍々活氣を呈せり然し例年なれば舊盆前後よりは冬物取引盛になるべきも本島綿布業一般昨年の打擊今尙快復に至らざる爲めか冬物準備の餘力に乏敷纏りたる取引なく當用向き取引にて至て小口なるも從つて思惑取引の終息せるは前途却て堅實なるべく豫想せらる。

駱駝六百番	一四・二〇円	三輪〇天竺	三・八〇円
同　五百番	一〇・二〇	尺一白木綿三八〇匁付	二・四五
象兎綿布	九・七〇	同　二六〇匁付	一・六〇
五福祥並布	九・二〇	大尺布五八〇匁付	三・五〇
龍C粗布	九・〇〇	黑無地朱子圖	〇・六〇

黒無地ポプリン	〇・七八	紺小倉	一七・〇〇
紋ポプリン	〇・八六	縞同	一七・〇〇
黒光輝付シシス	一二・〇〇		

▼金物　内地は銀行處分物としては近來一段落を告けたるも打續き不景氣の爲め何分市場在荷の消化緩慢にて市況軟歩調を辿りつゝあり加ふるに獨逸品の如きは極めて格安に輸入せらるゝよりユーエスステール會社其他の米國各會社も屢々値下を斷行せり彼の八幡製鐵所も愈々當月より平枚丸棒を始め山形鋼溝形工形に付値下を發表し市場相場に接近せしめたるも實際取引相場より見るときは尙上鞘なり事情斯くの如くにして金物市場は前途容易に樂觀を許さゞるものゝ如し本島市況は内地安に隨伴しバー、針金、釘類何れも前月より下値を呼び板物は相不變品薄を楯に案外硬く保合ひ水道用鐵管は花蓮港基隆方面に稍取引見るべきものありたり。

丸鐵四分(貫)	円〇・五八	針金十六番(一丸八四斤)	円一五・〇〇
同　五分(同)	〇・五九	平板二十八番(一枚)	二・〇五
同　六分(同)	〇・五七	同　三十番(同)	一・九〇
釘類六分(百斤)	一九・五〇	浪板同　(六尺)	一・六五
同一吋半(同)	一七・二〇	同　(七尺)	一・八五
同　二吋(同)	一六・八〇	同　(八尺)	二・四〇
針金八番(一丸八四斤)	一一・四〇	鐵管内徑一吋(長一尺)	〇・二八
鐵管内徑二吋(長一尺)	円〇・五八	鑄鐵管四吋(一封度)水道用	円〇・〇九
レール十二封度(一哩)	三・五〇		

▼石炭　島内需要としては格別の變化なきも對岸地方に於ける内地炭の投物一掃せられたりと廣東地方製糸業の勃興或は薪材の不足に依り此方面への需要も漸增の傾向を現はれたり又前月報道せる如く内地炭は其後引續き印度方面に續々輸出せられ内地炭界の繁忙を來せる等四圍の好事情に刺激せられて粉炭は前月に比し一圓を唱へ久敷沈靜裡に伸吟せし本島炭界も茲許弗々回復期に入らん乎。

沿道粉炭	基隆本船渡	円九・〇〇
切込一等炭	同	一三・五〇

▼木材　其後の木材界を瞥るに紀州物は在荷薄を楯に一割方の値上を發表せるも本島にては月を越えてより値上に決せり輸入福州材は何分原價安なれば内地材を壓倒して相變らず入津せるか當月は尙不需要期中に屬することにてもあり旁々捗々しき商内無く殊に檜其他の本島產材は高値過の爲めか米國產割安物に阻まれ不賣不振なりと云ふ當月の相場左の如し。

杉檟(長二間半)(七分厘六分)一丁	円〇・五五	杉板四分一坪	円四・〇〇
杉榿(正一寸八分角)一本	〇・八五	杉柱(三寸五分角)一本	二・九四
杉板六分　一坪	三・九九	同　(四寸角)	四・八〇

▼燐寸　平凡なりし燐寸界は中旬に入りカルカッタ蘭貢即ち印度方面よりの注文輻輳せしより輸出筋の活動目醒しく漸く機運の到來を思はしめたるも神戸勞働問題は燐寸職工をして漸次怠業せしめ又一面には諸原料騰貴も加はり生産費嵩增となりしより海外輸出は切角の好機を控へながら一服の姿なりと云ふ本島は月琴五十五圓にて前月相場を距り保合ひたり。

▼肥料　大連市場が期近物の取引のみとなりし以來豆粕はごんと活氣乏しく本島商內も相變らず氣乘薄の儘に推移しつゝありしか米糖高及一般人氣作用に連れ當月中旬よりは基隆、高雄渡二圓十錢と五錢方を上進し過燐酸も前月來じりじり小締相場にて二十度物(七貫五百匁入)百斤一圓八十錢十六度もの(七貫五百匁入)一圓六十五錢又硫安は外國物の輸出多かりし爲め沖渡噸當り百四十圓を唱へたり。

▼工業藥品　槪して頃來人氣弱含みなるも白硝酸及苛性曹達は前者は原料硝石高、後者は需要增にあらざるも實需筋が一般に先高の見解を有することゝで何れも漸騰せり曹達灰に至りては天然曹達なるマガシンの賣込み堪えずして月印の慘落甚し。

六十六度硫酸二〇〇磅一箱	一四.五〇円	硫化曹達一箱	七.五〇円
六十五度硫酸二〇〇磅一箱	一三.九〇	晒粉(カルキ)百箇	一四.八〇
二十度鹽酸一二〇磅一箱	一四.五〇	月印曹達灰同上	七.〇〇
四十度白硝酸一四〇磅一箱	二六.〇〇	洗曹達一樽	五.〇〇
苛性曹達一箱	一二.八〇	月印重曹一樽	一三.二〇
硫酸曹達百斤入一俵	四.二〇		

▼セメント　大不振を持續せる洋灰界は切拔け策として或は合同問題三割生産制限最低販賣値の協定等種々唱へらるゝ所ありしも畢竟纒り付かすして荏苒今に到れるか內地は梅雨期後の需要期に向ひたるに印度爪哇及スマトラ方面よりの大口注文に接したるより合同熱も減退し相場の上進を見るに至れるが本島は目下閑散期なるを以て極めて平凡の商狀を辿り相場は淺野セメント六圓五十錢を保合ひたり。

▼鳳梨罐詰　工賃高及材料高の爲め採算上不引合にて久敷意氣沈衰の風情なりし鳳梨罐詰も今年は原料生鳳梨の增産なると一般生産費安なるに加へ內地よりの注文漸增し近來めきめき商勢昂り相場は月初め双鹿十七圓の所を唱へ强氣配なりしも其後內地は新嘉坡もの割安に輸入せられたる爲め相場の伸力を殺かれ月末十六圓二十錢に低落せり。

▼海產物　商內薄の平凡裡に經過せし海產物界も舊

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

盆も目先に迫れるを以て中旬來移入手筋の活動稍々見るべきものありしか屢々報せるが如く本年は概して品薄の爲め本島出廻り少く加ふるに内地梅雨季節來品質良好のもの拂底の由にて新物は存外氣丈を示せり相場左の如し。

干海老	一七円	小蝦	三六円
鰑(對州秋物)	一二	一番鰑	一〇五
貝柱	一二五	五島鮑	四〇〇
干鮑	六八	鰹無頭	二三
鰹頭付	一九		

▼芎蕉實　珍しき出來榮なりしに加へ船繰圓滑の爲め内地移出は一頓便船毎に一萬籠以上も積込まんずる勢にて素晴らしき繁忙を極め相場も漸次奔騰し一時中部もの一等品二十四圓四等品十三圓臺なりしも追々梨、林檎等の出廻増に伴ひ荷捌け振はず之が爲め相場續落して下旬中部一等品十四圓と崩落し北部もの七圓を報せり。

▼野菜類(臺北)　連日の炎熱打ち續き野菜類の市場出廻りも種類少く聊か豫想外れの感あり當月も相不變瓜類が市場の花形として賣行活潑を極めたり。相場(百斤建値)左の如し。

	月初	月末
大根	一四・〇〇円—一一・〇〇円	一四・〇〇円—一五・〇〇円
大枝葱	一〇・〇〇—四・五〇	六・〇〇—五・〇〇
越瓜	四・五〇	六・〇〇—五・〇〇
牛蒡	四・五〇—五・〇〇	四・五〇—五・〇〇
南瓜	三・〇〇—二・八〇	
赤甘藷	二・〇〇—三・〇〇	
丸加子	九・〇〇	九・〇〇
長加子	二・五〇	三・〇〇—二・四〇
里芋	一五・〇〇	八・〇〇
冬瓜	二・六〇—二・二〇	二・五〇
葱	七・〇〇—五・〇〇	四・〇〇—四・五〇
玉葱	八・〇〇	六・五〇
蓮	四五・〇〇	一五・〇〇
白菜	五・五〇	六・〇〇—五・〇〇
胡瓜	四・八〇	六・五〇—五・〇〇
新姜	六・〇〇—七・〇〇	五・〇〇

▼最近十箇年間に於ける本島と朝鮮との人口増加の歩合　(調査課報)

▼内地人の増加歩合は朝鮮に於て十割二歩強、臺灣に於て五割六歩、

▼土著人の増加歩合は朝鮮に於て二割七歩八厘、臺灣にて於て一割一歩五厘强なり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ひ出多き歌ども

海南博士が臺灣を去るに臨みて詠まれた「雲のあと趁ひ湯の山に入る」や「我に似し翁ありとや」の歌などは中でも脫俗の蹟が著るしかつたが、爾來「浪人」と自稱する博士が行樂自在に優遊せられるゝに及んで其の詠歌は益々詩情仙味を擅にして居る。最近の作を掲げると。

△宇　治

竹の色松杉の色水の色
　宇治の大橋三の間に立ては

△寂光院

苔むせる庭に尼僧の影きえて
　たゞ蜩の音のみのこれる

△三千院

おとづれどあるじはあらで庫裡の庭に
　谷の清水のかそけく聞こゆ

大原の三千院に日は暮れて
　蟬の音時雨る苔のきざはし

又た函嶺にて詠める歌と思しきは

山をつゝみ谷をうづめて白き霧
　はやよせ來らし庭の寛に

最近の作としては

かゝはりの無き身となれと心せし
　文をや讀まむ山にや上らむ

高原ははや秋立ちて尾花咲き
　芒穗にいで蟲の音しげし

高原は狹霧にしめり自から
　我心なみしづもりゆくも

沓掛の宿のたて場に馬すてゝ
　いざ山上りせむ霧晴れたれば

などは殊に面白い、又た文子夫人の留別の作としては

鳳凰木ちりゆく花をあとにして
　今日しわれ去るこの南國を

來ん夏は別れのなみだ露として
　いや清く咲け玉蘭の花

など記し來ればとりどりに咸興の深きを覺ゆるのでおのれも腰折を一つ

白雲の行衛やいづこ西の國の
　空の果てまで流れゆくらむ

（屯）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

統計

臺灣國勢調査

住居、世帶及現在人口

國勢調査部

大正九年十月一日を以て施行せられたる第一回臺灣國勢調査の結果に付ては曩に住居、世帶及人口の概數を發表したるが今や其の確定數を知ることを得たるが故に更に別表に其の詳細を表示す而して其の確定數は全島總計に於て現在住居五十九萬五千二百八箇、現在世帶六十八萬五千二百二十五箇、現在人口三百六十五萬五千三百八人を算するか故に之を前報の概數に對比すれば住居に於て四千二百八十四箇、世帶に於て五千四百七十五箇を減少したるも人口に於ては九百十人を增加せり而して住居及世帶の減少は實査當時に全家不在なりし住居及世帶を現在のものとして計上しありたるを削除したを主因とす

尚全島の人口に就て左に少しく説明する所あらむとす

一 人口の總數及密度

第一回臺灣國勢調査に依る本島現在人口の確定數は三百六十五萬五千三百八人にして之を本島總面積二千三百三十二方里に比例せしむれば人口密度は一方里に付一、五六七●五人なり然れども本調査は蕃地に在る生蕃人（大正八年末に八萬四千五百十四人を算す）を調査せさりしか故に今蕃地に在る生蕃人以外の各種族三萬九千人を全人口より控除し又蕃地の面積を全島總面積より控除し卽ち平地の現在人口三百六十一萬六千三百八人を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平地面積一千二百三十七方里に比例せしむれば一方里に付二、九二三・五人にして是れ即ち本島平地の人口密度なり。

上記の人口密度を内地に比較せんに「國勢調査速報」に依る道府縣別人口の總計は五千五百九十六萬千百四十人にして道府縣面積の總計は二萬四千九百九十五方里なるか故に其の一方里平均人口は二●二三八・九人なり故に本島平地の人口密度は内地よりも遙に稠密なりとす

二　既往の調査に對する人口總數の比較

前記本島現在人口三百六十五萬五千三百八人を明治三十八年十月一日に於ける第一次臨時臺灣戸口調査の現在人口三百二萬九千七百五十一人に比すれば十五年間に六十一萬五千五百五十七人即ち毎年平均四萬一千三十七人を増加し之を大正四年十月一日に於ける第二次臨時臺灣戸口調査の現在人口三百四十七萬九千九百二十二人に比すれば五年間に十七萬五千三百八十六人即ち毎年平均三萬五千七十七人を増加し更に之を大正八年十二月三十一日に於ける算定現住人口三百六十三萬三百八十五人に比すれば九箇月間に二萬四千九百二十三人を増加せり。

三　既往の調査に對する人口密度の比較

本島平地の一方里平均人口は前記の如く二、九二三・五人なり而して既往調査に於ける人口密度を見るに明治三十八年十月一日の現在人口にては二、四八七・二人、大正四年十月一日の現在人口にては二、七八九・七人にして又大正八年十二月三十一日の算定現住人口にては二、九〇五・二人なるを以て今回調査の結果は前後十五年間に四三六・三人後の五年間に一三三・八人又最近九箇月間に一八・三人を増加せり但し右各年の人口は孰も平地面積に平地在住者を比例せしめたるものなり。

四　人口の種族別及其の比較

（イ）　三大種族別　全人口三百六十五萬五千三百八人の種族を内地人、本島人及外國人に三分すれば内地人十六萬四千三百三十五人、本島人三百四十六萬五百七人、外國人二萬四千四百六十六人なるか故に全人口の九四・八％は本島人に屬し内地人は僅に四・五％に止まり更に外國人に至りては〇・七％のみ而して此の三族の人口は既往の調査に對して孰も増加を告く即ち明治三十八年十月一日の現在人口に比すれば内地人十萬七千人本島人四十九萬三千二百餘

人、外國人一萬五千三百餘人を增加し大正四年十月一日の現在人口に比すれば內地人二萬八千九百餘人、本島人十四萬七百餘人、外國人五千七百餘人を增加し又大正八年十二月三十一日の現住人口に比すれば內地人一萬一千餘人本島人一萬二千三百餘人、外國人千五百餘人を增加せり然るに人口に對する增加の割合は內地人及外國人に高く本島人に低きを以て全人口中に於ける各種族の割合(各種族間の權衡)は內地人及外國人に漸增し本島人に漸減せり卽ち明治三十八年十月一日には內地人一・九%、本島人九七・八%、外國人〇・三%なりしを以て今回の調査迄に內地人二・六%、外國人〇・四%を增し本島人三・〇%を減せり。

(ロ) 本島人の細別　本島人總數三百四十六萬六千五百七人の種族を細別すれば福建人二百八十五萬千三百餘人、廣東人五十一萬九千七百餘人、福建廣東以外の漢人二百餘人、熟蕃人四萬八千八百餘人、生蕃人四萬六千二百餘人なり 但し此の生蕃人は平地現在者のみにして蕃地現在者は全く之を包含せす 故に福建人は本島現在人口の主要分子にして本島人總數の八二・三%を占め又全種族總數の七八・〇%を占む然れども明治三十八年十月一日の現在人口に於ては福建人は本島人總數の八三・八%、全種族總數の八二・〇%なりしを以て今回の調査迄に其の割合減少せり是れ蓋し實數に於ては明治三十八年よりも增加したるに拘らず人口の甚夥多なるか爲人口に對する增加の程度は反て他の種族よりも低きものあるか爲に外ならず。

五　人口の男女別及其の比較

(イ) 總人口　今回調査の現在人口三百六十五萬五千三百八人を男女に分ては男百八十九萬三千五百四十一人、女百七十六萬千七百六十七人なるを以て男女の權衡は男五一・八%、女四八・二%に當り又男百に付女九三・〇人、女百に付男一〇七・五人を示す今最後の女百に對する男の割合に依りて之を判定すれば本島は男の割合比較的多數なり卽ち內地道府縣の最多なる東京の一一一・八人及其の第二位なる北海道の一一一・六人には匹敵すべからさるも道府縣全體の平均にては男は女よりも僅に多く女百に付一〇〇・四人に過きさるを以て之に比すれば本島男は著しく超過を示せばなり而して本島に於ける既往調査の女百に付男は明治三十八年十月一日の現在人口にては一一二・七人、大正四年十月一日の現在人口に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ては一〇八・八人、大正八年十二月三十一日の算定現住人口にては一〇七・三人なるか故に男の割合は明治三十八年より大正八年に至る間に著しく低下を告けたるも今回の調査にては大正八年に比して聊昇騰せり。

（ロ）　種族別　右の如く女百に對する男の割合は一〇七・五人なるも之を內、本、外の三種族別に算出すれば內地人には男甚多く內地人は尙一二九・一人に止まるも外國人に至りては三二七・〇人即ち男は女の四倍に近き多數なり然るに本島人男は一〇五・七人にして卽ち平均よりも下位に在り而して既往の調査との比較に於ける著しき現象と認むへきは本島人男割合の漸減にして卽ち明治三十八年十月一日の現在人口にては女百に付男は一一一・七人の高率を報したるに大正四年十月一日の現在人口にては一〇八・八人に減し更に大正八年十二月三十一日の現住人口にては一〇七・三人に減したるに今回の調査にては一〇五・七人なるを以て明治三十八年以降の十五年間に男の割合の減少せること女百に對する七・〇人に及へり。

六　一世帶の人口及其の比較

今回の調査に依る世帶は六十八萬五千二百二十五箇なるを以て一世帶平均の現在人口は五・三人なり而して明治三十八年十月一日は世帶五十八萬五千百九十五箇にして一世帶平均人口五・二人を示し又大正四年十月一日は世帶六十五萬三千四百八十九箇にして一世帶平均人口五・三人を示すか故に今回の調査は世帶は明治三十八年に比して十萬三十箇大正四年に比して三萬千七百三十六箇を增加せるも一世帶平均人口は明治三十八年に比して〇・一人を增加せるのみにして大正四年とは同數五・三人なり而して大正八年末に付ては世帶數の調査を闕く尙內地道府縣全體の平均世帶數は千百二十二萬二千五十三箇にして其の一世帶平均人口は五・〇人なり。

區分	住居	世帶	內地人 男	內地人 女	本島人 福建人 男	本島人 福建人 女	本島人 廣東人 男	本島人 廣東人 女	本島人 其の他 男	本島人 其の他 女	本島人 計 男	本島人 計 女	外國人 男	外國人 女	計 男	計 女	計
全島	五五五、二〇八	六八五、二二五	九二、五七六	七一、六六〇	一、四六九、五四三	一、三八二、八二一	二六五、二九九	二三四、三一二	四六、八五五	四八、四四九	一、七八一、六六六	一、六八四、八七一	一九、三六一	六、〇〇五	一、八九二、五四一	一、七六一、七六七	三、六五四、三〇八
			△六八	△一													

臺北州	一〇六,三一〇	一三二,〇二八	九六,〇八五 △三九	三一,五七八 △一	四三七,六〇一	三一一,六一〇	三,五〇〇	二,一八三	一,三五八	一,三三二	四五二,八五九	三一三,三三三	一一,五六八	二,八一三	四六三,五四〇	三五九,六二七	七五三,〇七七
臺北市	一九,七八七	三三,八八九	一二,五〇一 △一三	一〇,七九五 △一	三三,六三七	三三,九三三	七三五	三九〇	五一	一九	三五,五三三	三三,六三五	七,五二三	二,〇三九	八六,一九五	七六,五八八	一六二,七八二
七星郡	一一,〇三五	一五,九二七	七七八	六七六	五三,〇三二	三九,〇一五	三三	三三	七八	五八	五三,一五三	三九,〇九三	一五六	三三	五五,〇六九	三九,八〇五	八三,八七三
汐止街	一,九八五	二,九八三	一五一	一〇二	八,二三九	七,七一九	三	三	六	五	八,二五八	七,七二六	六〇	八	八,五五九	七,八三六	一六,二八三
士林庄	二,九三三	三,八七〇	一三六	一一三	一〇,九五〇	九,七六〇	六	七	三	三	一〇,九三一	九,七七〇	三三	一三	一一,一二〇	九,八九六	二一,〇一六
北投庄	一,七一五	二,一七三	一九六	二三二	六,一三九	三,五五五	九	八	三〇	三五	六,二一六	三,五八六	一一	三	六,五二三	三,七五一	一二,一六六
松山庄	一,五六九	二,〇一七	九八	九五	三,九九五	三,八九三	一三	一一	一七	三	六,〇三六	三,八七九	二六	五	六,一三〇	三,九七七	一二,一二七
内湖庄	一,九六八	二,七二〇	一二七	八三	八,一六三	七,三一三	二	五	—	二	八,一六三	七,三一九	一五	三	八,三〇六	七,五〇九	一三,七一三
平溪庄	九六五	一,一六三	八〇	三〇	三,三三七	二,九一三	—	—	—	—	三,三三七	二,九一三	二	—	三,六一九	二,九五三	六,三六五
淡水郡	六,七一〇	八,三六九	三五九	三二一	二二,〇三七	一九,八六九	三〇	三一	六七	二七	二二,一七五	一九,九二七	一六九	八五	二二,六九二	二〇,三五三	四三,〇四三
淡水街	三,〇三五	五,一六三	二九六	三〇八	一〇,〇三三	九,五八八	二二	一八	三八	二二	一〇,一一三	九,六二九	一三九	八五	一〇,三七〇	九,九一一	二〇,五九一
八里庄	一,〇一九	一,一五三	二〇	一〇	三,〇六九	二,八八八	八	一	—	—	三,三〇七	二,八九九	五	—	三,三三一	二,九〇九	六,二五〇
三芝庄	一,三五一	一,八九五	一八	三	三,〇八一	五,三三三	一五	一〇	一	二	三,〇九六	五,三六三	三	—	三,一一七	五,三七〇	九,五八七
石門庄	一,一一六	一,三六三	一三	九	三,六五二	三,一一九	六	二	八	三	三,六六六	三,一三五	三	—	三,六七五	三,一五三	六,八一七
基隆郡	一八,七三九	二三,八〇〇	七,六七〇 △二	六,三九三	三七,二五七	五九,九七七	一一七	七一	二一二	一八三	三七,三七六	三〇,二三三	二,三六三	三三	六七,六一三	三七,一五九	一二五,七九二
基隆街	七,〇九七	一〇,八一二	六,五五五 △二	三,五三二	一七,三五五	一六,一二一	三〇	二六	九〇	八一	一七,五六五	一六,二六八	一,八九〇	五五一	二三,八〇〇	二二,一二一	五七,九二一
萬里庄	一,三二七	一,六〇八	九三	三二	五,一九六	三,三五九	一七	一三	—	—	五,二一三	三,三五九	一〇	一	五,二八九	三,五〇二	七,六八八
金山庄	一,三五〇	一,〇五五	五七	五〇	三,二一九	五,三三七	五	三	五	—	三,二二七	五,三六二	二六	三	三,三〇〇	五,五〇三	九,七〇三
七堵庄	一,七一三	二,三七二	一二七	七三	六,一八一	三,六〇五	三	三	一	一	六,一八三	三,六〇八	三八	九	六,三三〇	三,六九二	一二,〇五二
瑞芳庄	三,三九九	五,三七九	四九	六八三	九,七〇七	八,三九〇	二〇	三	九	一〇	九,七三六	八,五〇三	三三六	三三	一〇,九三一	八,一五三	二〇,〇七六
貢寮庄	一,七八八	二,五三〇	五〇	一三	七,三一五	六,〇六六	六	二	一〇七	九二	七,五三七	六,一六一	五	一	七,五八一	六,一七三	一三,六九六
雙溪庄	一,九三三	二,三七三	一一〇	七六	七,二七六	六,一〇三	三七	一六	一	一	七,三一五	六,一一〇	二一	一三	七,三五六	六,一〇九	一三,六九五
宜蘭郡	一三,二三八	一三,五二八	一,九〇五 △一	一,〇三〇	五一,三〇五	三八,六一八	一五〇	一〇三	三一三	三七〇	五一,七三七	三九,一〇三	一九九	五七	五三,二三一	五〇,一八〇	八三,五一一
宜蘭街	三,三三六	五,一八九	一,〇〇一	八七	八,九六〇	九,三三七	一五	二	一五	二二	八,九八八	九,三五八	一一六	二七	一〇,一〇三	一〇,二一二	二〇,三一七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

礁溪庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
頭圍庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
壯圍庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
員山庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
羅東郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
羅東街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五結庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三星庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
冬山庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘇澳郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘇澳庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
文山郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新店庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
深坑庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石碇庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
坪林庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海山郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
板橋庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中和庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鶯歌庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三峽庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土城庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蕃地	一、〇四〇	一、〇六五	四四	三	二、四六七	一、九一三	三三五	四八五	—	—	三、一三三	二、四九六	四	—	三、一六九	二、四一八	五、五八七
新莊郡	六、八七二	八、六六七	一三〇	八五	三五、九二六	三五、五三七	一五	三六	四	四	二六、〇四五	三五、八一七	四二	一七	二六、二〇五	三五、九一七	五〇、一二三
新莊街	五、五四八	二、八四四	五五	六一	八、三七六	七、八三三	六五	四三	一	二	八、五三〇	七、八五六	一五	八	八、四四〇	七、九五五	一六、三九五
鷺洲庄	二、二五五	三、三〇一	二五	一五	九、八六〇	九、一六六	—	四	—	—	九、八八〇	九、一七〇	二〇	四	九、九〇五	九、一八九	一九、〇九四
五股庄	一、〇五八	一、一八六	三	四	五、六六一	五、一四七	七	九	—	—	五、六八八	五、一五六	六	五	五、七〇六	五、一六五	一〇、八七一
林口庄	一、一五五	一、五九六	八	五	四、一一九	五、六六三	五	一	五	五	四、一三五	五、六五五	一	—	四、一四四	五、六五八	七、七九二
水面	二四五	二〇九	一、六五一 △二〇	二六九	一九八	—	八	—	八	—	二二四	—	九二六	二	三、九七一	五一〇	五、一〇一
新竹州	八二、八四四	九五、八一五	五、五六五	四、三二〇	一〇四、五六五	一〇一、二五六	一七一、九三九	一六九、二五七	一、五六九	一、一九五	二七七、七一五	二七一、六八八	九七〇	五五九	二八四、〇四六	二七六、二四七	五六〇、二九三
新竹郡	一八、七六五	二一、六六〇	一、六六二	一、四五五	二五、九〇九	二五、九七八	三四、三二六	三五、三二五	一九	一〇	六〇、一六四	五九、三〇一	二八八	一四一	六二、一一四	六〇、九六七	一二三、九一一
新竹街	四、七五六	六、八四四	一、五七五	一、二七六	一五、〇〇一	一五、五九一	一、二五五	一、二九五	九	一	一四、二六四	一四、六八七	二二二	一一三	一五、八五九	一六、〇七五	三一、九三四
舊港庄	一、九八一	二、一八八	五一	二四	五、二〇四	五、〇六一	一、〇八六	一、〇五七	—	—	六、二二〇	六、一一八	二	二	六、二五四	六、一四四	一二、四八七
紅毛庄	九四二	一、一六八	二一	一〇	一、五五九	一、四一八	二、七〇二	二、六〇五	—	—	四、〇二一	四、〇二五	五	二	四、〇八五	四、〇五五	八、一〇〇
湖口庄	一、三一〇	一、三六七	四八	三三	六六	六〇	五、五一一	五、〇八一	—	—	五、五七七	五、一四一	—	—	五、六二五	五、一六五	一〇、七八八
新埔庄	五、〇二〇	五、四八八	四〇	四二	一六七	一四二	一〇、一四九	一〇、〇五七	—	一	一〇、三一六	一〇、二〇〇	一八	九	一〇、三七四	一〇、二二一	二〇、五九五
關西庄	二、三六四	二、八六九	五六	三三	九七	八五	九、二五五	九、一六一	一〇	七	九、三六二	九、二五五	三六	一一	九、四四四	九、二六六	一八、七二〇
六家庄	七五五	八八七	一五	五	八五二	七七七	二、一八五	二、〇七八	—	—	三、〇五五	二、八一五	四	一	三、〇五二	二、八一八	五、八六〇
香山庄	一、七五五	三、〇一八	五五	三九	五、〇九一	四、九九一	六八四	六五二	—	—	五、七七五	五、六六五	五	五	五、八四三	五、六八五	一一、五一七
蕃地	三四三	三九一	六五	一八	七一	五五	一、四一五	一、二六七	—	一	一、四八四	一、三二一	一	一	一、五一〇	一、三四〇	二、八五〇
中壢郡	一〇、五八二	一一、六七一	二五五	三三	五、五九〇	五、〇六〇	五五、二〇三	五一、八一六	一	五	五八、七九五	五六、八七九	六九	三三	五九、一一七	五七、一一五	一一六、二三〇
中壢庄	二、五六六	一、〇〇九	一〇〇	一一〇	二、六五七	二、四四三	六、七二五	六、三一三	一	二	九、五八五	八、六七六	四〇	八	九、五四五	八、七七四	一八、五二七
平鎮庄	一、四九八	一、五五〇	一八	九	三一二	二五九	五、五五八	五、三〇六	—	—	五、八七〇	五、四六五	—	—	五、八八八	五、四七四	一一、三〇二
楊梅庄	二、七六〇	五、一五四	七四	六四	二六八	二五一	九、七八一	九、四八九	—	一	一〇、〇五九	九、七四一	二一	一一	一〇、一五四	九、七五六	一九、九一〇
新屋庄	一、八八九	三、一五五	二一	一六	五八〇	四六四	七、〇五七	六、八四五	—	—	七、六五七	七、三〇九	五	五	七、六六五	七、三一四	一四、九七一
觀音庄	一、八六九	一、九八五	三三	一五	一、八〇五	一、六六四	四、一〇一	四、〇四四	—	—	五、九〇四	五、七〇八	九	—	五、九二九	五、七二一	一一、六五〇
桃園郡	九、六六四	一一、三八八	五三五	四五六	五二、六五九	五〇、五五五	一、八二六	一、六六七	二五四	一四五	五四、六八八	五二、五八五	九四	三七	五五、五一八	五二、八六八	一〇八、一八六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

桃園街	三、四六七	四、一二〇	四一八	四〇〇	八、〇九〇	八、〇四七	一〇六	一〇六	七	八	八、一〇四	八、一四一	八三	一八	八、七〇四	八、四九九	一七、三七四
蘆竹庄	一、四六六	一、九四六	二四	八	六、四六六	四、九六六	四〇一	三七一	九〇	四七	六、八九〇	六、五一四	七	二	六、九二一	六、三三三	一三、三五六
大園庄	二、〇六六	二、三三三	三六	一三	六、九四三	七、四二一	三四八	三七	二	七	六、八八四	六、四〇九	一	三	六、九八四	六、四一七	一三、四〇〇
龜山庄	二、七二一	二、六〇四	一八	八	七、二六八	六、三一六	四六二	三五〇	一三〇	八四	七、六一〇	六、〇四〇	二	一	七、六四〇	六、〇三六	一三、八六六
八塊庄	一、四三八	一、三六三	三六	二四	四、一一六	三、八七三	六六八	七〇三	三	三	四、八一三	四、三八一	二	三	四、八三一	四、六〇八	九、四三六
大溪郡	七、三六七	八、四六二	七一一	四六五	一四、〇〇三	三三、七一四	九、二八三	九、〇八三	八六	四六	二三、三七四	二二、八四三	六二	二〇	二四、一四七	二三、三八〇	四七、四七七
大溪街	三、七三四	四、〇二六	二三〇	一四五	一〇、九九一	一一、三四四	八二三	八六九	七七	四〇	一二、八六三	一二、一三三	四二	八	一二、一三四	一二、四三四	二四、六一九
龍潭庄	二、四七一	二、七三一	三六	四一	一、〇三七	九三〇	七、三三六	七、〇〇四	九	三	八、三六二	八、三三七	一六	六	八、四四四	八、三六四	一七、〇四六
蕃地	一、四〇二	一、三一四	四三四	二四一	一、九七七	一、四三〇	一、一三三	九一〇	—	三	三、〇九六	二、〇三三	四	六	三、三二八	二、二八二	四、八一〇
竹東郡	八、四七一	九、九九四	九〇三	三七〇	八〇六	九三二	二七、〇五三	二七、七九一	二〇	二一	二六、七三六	二八、四六四	八一	一六	二九、四五三	二六、八三三	五六、三一三
竹東庄	一、七三〇	一、九六八	一三七	一六一	一三九	一二一	三、一八三	三、一六三	—	二	三、三四三	三、三〇六	三六	三	三、三四七	三、四七〇	一一、〇〇七
芎林庄	一、三三三	一、三〇四	一七	一一	八七	六三	四、三三四	四、六七七	二	一	四、六三三	四、七四一	一二	七	四、六八二	四、七三九	九、四四一
横山庄	一、三三六	一、八四〇	四四	三一	一〇一	一〇四	三、三三九	三、一六一	九	八	三、二四九	三、三〇四	八	三	三、四〇〇	三、三三七	一〇、六三七
北埔庄	一、〇三八	一、三六九	三七	三一	七一	四四	四、〇三六	四、一七二	一	三	四、一一九	四、二一六	二〇	四	四、二〇六	四、二八三	八、四八九
峨眉庄	八三〇	九三〇	二一	四	三六	二四	三、〇八四	三、一七三	一	三	三、一三三	三、二一〇	四	一	三、一四八	三、二一三	六、三六三
寶山庄	一、一三六	一、三〇三	一四	九	三三一	二三八	四、二九九	四、三六三	—	二	四、六〇〇	四、六一四	一	—	四、六一四	四、六三二	九、二四七
蕃地	七三四	一、〇七七	三一四	一〇三	三七	一六	一、六一七	一、〇三二	七	二	一、六六一	一、〇三三	—	—	一、六七三	一、一三六	三、一四一
竹南郡	九、九七三	一一、一一三	四六一	三六三	一三、七一〇	一三、四三六	一七、三四二	一七、八〇六	七三四	七一六	三三、八〇三	三三、九六八	七一	二三	三四、三三七	三四、三三六	六八、六七三
竹南庄	一、九〇三	二、二八三	一六八	一四四	六、〇六七	六、〇二二	二〇四	二〇七	九	四	六、二八〇	六、二三三	一三	七	六、四六一	六、三八四	一二、八四三
頭分庄	一、九六二	二、二四四	四一	四三	一、二三八	一、一四〇	六、二九三	六、八四二	—	一	七、三三二	七、九八三	二八	三	七、三六二	八、〇二六	一三、六二一
三灣庄	一、〇三三	一、一〇四	二一	四	三三	二二	三、三八九	三、四八四	—	二	三、六六一	三、三三八	一	—	三、六七四	三、三四一	七、〇一六
南庄	一、二九八	一、四一一	四四	三六	一三三	一一二	三、七四〇	三、七九八	四六	四六	三、九二二	三、九三六	一三	一	三、九七六	四、〇一三	七、九九二
造橋庄	六四三	六六二	三三	二四	七〇七	六三七	一、六三三	一、六八〇	一三〇	八三	二、四七一	二、四二二	—	—	二、三〇七	二、四四六	四、九三三
後龍庄	二、七〇三	二、九八〇	一一二	六七	七、四三三	七、四四三	九九六	九九七	三六三	三四六	八、九九八	九、〇六六	一三	一一	九、一一四	九、〇九六	一六、二一〇
蕃地	三六六	三九九	四一	二七	四七	六	九一〇	七九六	—	二	九三七	八一六	二	一	一、〇一〇	八四六	一、八四六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

苗栗郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
苗栗街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
頭屋庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
公館庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
銅鑼庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三叉庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
苑裡庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通霄庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四湖庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大湖郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大湖庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
獅潭庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
卓蘭庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	一	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水面	一七	一〇	—	—	四〇	—	—	—	—	—	四〇	—	一〇八	—	一四六	—	一四六
臺中州	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中市	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大屯郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大里庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
霧峰庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
太平庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北屯庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西屯庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南屯庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
烏日庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	一	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豐原郡	九、〇七七	一〇、三八二	九六	三四〇	三三、六〇三	二一、四八一	九、七三四	九、〇九八	九八	九八	三三、〇三四	三〇、九六七	一〇一	四四	三三、〇九一	三一、五一一	四四、〇八七
豐原街	五、一一六	五、四四四	七〇	一六三	四、三八四	四、四〇四	六、一〇〇	五、六九五	五五	二	一〇、三六六	一〇、〇七八	九六	一七	一〇、六七三	一〇、二八七	二〇、八六四
內埔庄	一、六一六	一、六七三	三三	五五	四、一一一	五、八〇〇	一、三〇四	一、六九八	九	二五	五、八四四	五、五五一	二六	六	六、六〇五	五、七〇六	一一、六〇五
神岡庄	一、六二九	二、〇二一	三三	一七	三、五四一	三、三六四	九九六	九八五	七七	二四	六、四〇七	六、五一〇	一	—	六、四四三	六、五五七	一三、九九八
大雅庄	一、二四四	一、四四〇	四〇	一五	四、六六七	四、六三五	九四九	五六一	—	—	四、七八七	四、四四四	八	一	四、八八五	四、三四〇	九、二二五
潭子庄	一、三七三	一、四七三	一〇〇	九五	三、九九九	三、七四一	六四一	五三三	—	一	四、三八〇	四、三九四	四	—	四、六七四	四、五五七	九、〇一一
東勢郡	五、〇七五	五、五四九	六〇	三五一	八〇〇	四四四	一四、六八四	一四、五一六	五	五	一五、四〇七	一五、〇五六	三	七	一六、五〇一	一五、六六四	三一、一六五
東勢庄	二、七五四	二、九六一	五三	一六八	四四一	三五八	八、一八七	八、二五七	四	五	八、五五〇	八、五三〇	一〇	七	八、七七四	八、七七五	一七、四四八
石岡庄	八八九	九七一	四	一五	一〇四	一五七	五、〇六二	五、〇八八	—	—	五、一六六	五、二二五	一	—	五、三二一	五、二五八	六、四六八
新社庄	一、二二〇	一、二六九	四四	四一	一八五	一三〇	五、一八八	五、〇四三	一	—	五、三七四	五、一七四	一	—	五、四四七	五、三二三	六、六六三
蕃地	五九二	四六八	五二八	五九	一九三	六〇	二四七	一一七	—	—	四五九	一五七	四	—	三六八	二六六	九九三
大甲郡	一四、五〇〇	一七、二四〇	四六五 △一	三五三	四八、八九五	四七、三四六	一、七〇一	一、七七七	九三	五五	五〇、八八八	四九、三九八	一二六	二六	五二、四八〇	四九、六七八	一〇一、一五八
清水街	五、四六九	四、〇四九	一〇六 △一	七〇	一五、一五三	一一、八九三	五	一七	七	四	一二、一六一	一二、九一五	五九	六	一五、二九七	一二、九八九	四四、五八六
梧棲街	一、九〇二	一、七七一	五六	三九	五、五三三	五、六〇四	—	六	—	—	五、五四一	五、六一〇	一七	九	五、五五六	五、六六三	一一、一九一
外埔庄	六九九	一、二六一	九八	三三	九、一五五	九、〇八三	一、一八九	一、〇七一	五五	四〇	五、五六七	五、一七六	八	一	五、四〇七	五、一九三	六、五七五
大甲庄	三、七〇八	五、〇二五	一二九	一七	七、五〇六	七、五四一	六五八	六五七	二五	六	八、一九七	八、一九六	四四	五	八、五六一	八、五一八	一六、六六五
大安庄	一、三五四	一、三九三	三三	一	五、九五八	五、六六七	五六	五八	四	一	五、九八六	五、八二六	一	—	五、九九九	五、八一七	七、八二六
沙鹿庄	一、八五六	二、一四〇	一〇四	五五	六、五八六	六、三六五	九	一三	二	一〇	六、六〇九	六、三八七	四〇	五	六、七五五	六、五八五	一二、一二八
龍井庄	一、七五三	二、一四七	二七	五五	六、五二九	六、一三五	一〇	八	四	三	六、五五一	六、一四六	一	一	六、五六一	六、一六二	一五、七五五
大肚庄	一、三二八	一、五八五	四四	五五	四、五〇五	四、一五八	七	七	一〇	九	四、五三二	四、一五四	五	一	四、五五〇	四、一六〇	八、五五〇
彰化郡	三三、六九八	二七、〇三五	八四四	六七一	六九、三五〇	六六、五七三	五〇八	三八五	九八	八八	六九、六五六	六六、七四五	五四四	一〇〇	七〇、八四四	六七、五四四	一三八、三五八
彰化街	三、九四九	五、七五七	五七七	三五一	八、一六九	八、一五八	三五	二六	—	一	八、三三三	八、三五五	一六一	五一	八、五七〇	八、七〇七	一七、五六四
鹿港街	四、五九四	六、五四九	一五三	四四	一五、一八六	一四、九九六	五	四	五	六	一五、一九一	一四、九九六	一三五	五六	一五、四四八	一五、〇五三	三〇、五五〇
南郭庄	一、三二六	一、四〇〇	六八	四〇	五、六四八	五、五九三	一二九	九六	三二	三	五、六七八	五、六八六	一七	四	五、八五五	五、六六六	七、五五一
大竹庄	一、五三三	一、六四四	三三	八	四、六〇一	四、三五五	三	六	—	四	四、六六六	四、四五五	一	一	四、六六六	四、四五三	八、六六二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和美庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
線西庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福興庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秀水庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花壇庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
芬園庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
員林郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
員林街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大村庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埔鹽庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
溪湖庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
坡心庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
永靖庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
社頭庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
田中庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二水庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北斗郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北斗街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
田尾庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埤頭庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二林庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沙山庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大城庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
竹塘庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
溪州庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南投郡	九,九四〇	一一,二三七	六九一	三九九	三〇,三三七	二八,七三三	八一六	六一三	一二	一九	三一,三八三	二九,三六三	一三	一四	三三,一三六	二九,九六三	六三,一一七
南投街	三,三三三	三,六九三	四六六	四八三	九,三三七	九,三六一	三〇〇	一六三	三	[illegible]	一〇,〇六〇	九,三六一	三六	七	一〇,三九三	一〇,〇三三	二〇,六三六
草屯庄	三,一七八	三,六三九	八八	三七	九,六一六	九,二八三	二一三	一六〇	一	四	九,八四三	九,四七七	二一	六	九,〇二三	九,三四〇	一九,四六二
中寮庄	一,〇九四	一,三三四	三四	一一	三,一六八	二,八二一	二三六	六一	七	一	三,四四四	三,〇一六	一	—	三,四七六	三,〇三〇	六,五〇六
名間庄	二,五一三	二,六三八	七四	四三	七,六七三	七,二六八	六四	三六	一	二	八,〇三八	七,三〇六	二	一	八,一二四	七,三三三	一五,四六八
新高郡	二,六八七	三,二六二	七〇七 △四	三六三	七,三三四	六,三六三	一,七四六	一,三三六	一六八	三四〇	九,二六八	八,〇七六	二三	四	一〇,〇三〇	八,四七八	一八,三〇八
集集庄	一,四一三	一,三八〇	三八四 △三	二三〇	三,四七三	三,〇三四	七三三	四八〇	一三	三六	四,二一六	三,三六三	一六	四	四,六一三	三,八四七	八,四七三
魚池庄	一,二三八	一,二一三	八八	四〇	三,六一三	三,四八四	六四七	三三一	一八三	一六〇	四,四四七	四,二一六	三	—	四,三三八	四,一六六	八,八〇四
蕃地	三四四	三八七	二三三	一〇三	二六六	三三	三六六	七〇四	—	一	六三三	一六〇	—	—	八六七	三六三	一,二三二
能高郡	四,九八三	三,九二六	一,〇〇二	六四六	六,一〇一	四,七〇一	三,四一六	四,四一八	二,三六二	二,七〇六	一四,〇七九	一一,八三三	一七三	二八	一三,一三四	一三,三〇六	二七,七六三
埔里街	三,四七八	三,六八三	三八六	四三六	四,六六六	四,二一六	二,八三七	二,三三一	二,四一六	二,三八三	一〇,二三三	九,三四〇	一六三	二七	一一,〇〇三	九,八二三	二〇,八二六
國姓庄	六六六	一,〇二三	八六	三〇	六六一	四〇八	二,〇七〇	一,六四〇	七〇	七八	二,〇三一	二,一二六	七	一	二,六二三	二,一三七	三,〇八一
蕃地	三三六	六一〇	三四〇	一八〇	四一四	七七	三〇六	二三七	七三	四四	六六六	三三六	一	—	一,三三七	三三六	一,八六六
竹山郡	四,六一四	三,八七六	二三三	一八四	一三,一六三	一四,三八二	四〇三	三一〇	一八	三三	一三,六一六	一四,七一七	三三	一〇	一三,八八四	一四,六一一	三〇,八〇三
竹山庄	三,三六六	三,八八七	一六三	一六六	一〇,一〇一	九,三八三	二一七	一三八	三	六	一〇,三一一	九,七四六	二八	八	一〇,三四四	九,六一六	二〇,四七〇
鹿谷庄	一,三一八	一,七八六	四〇	一三	三,〇六二	四,七六七	一八八	一三二	一三	二六	三,一六三	四,六七八	三	二	三,三四〇	四,六六三	一〇,〇三三
水面	一三	一二	—	—	三	三	—	—	—	—	三	三	[illegible]	—	八三	三	[illegible]
臺南州	一七一,六六六	一八七,三八〇	一四,六〇六 △六	一三,三〇一	四六七,〇一六	四四一,三三三	三,六六一	二,七八一	三,七四七	三,七七七	四七四,四三七	四四七,八八〇	二,七三三	一,〇〇四	四六三,〇六三	四六一,〇八三	九三四,一八〇
臺南市	一三,六六六	一七,六三六	七,〇六一 △一	三,〇七八	三一,七七三	三〇,〇七七	一四三	六三	三三	六	三一,六七〇	三〇,一四三	一,六一一	六八三	四〇,六三四	六三,六〇六	七六,三八〇
新豐郡	三,四六六	一四,六一六	三七〇	二七六	三六,〇〇六	三七,三〇六	七	七	三七	六六	三六,〇七三	三七,三七六	一四	七	三六,三三七	三七,六六三	七七,一一三
永寧庄	二,一七七	二,三四八	一三八	一一一	六,六一三	六,一八六	—	四	六	六	六,六一六	六,一八四	二	四	七,〇八六	六,三一七	一三,三六三
仁德庄	一,七七四	一,八八七	三〇	一四	四,四四四	四,〇六四	—	—	—	—	四,四四四	四,〇六四	—	—	四,四七四	四,一〇八	八,三八二
歸仁庄	二,六一七	二,七三七	三三	一六	六,三八一	六,二三一	—	一	—	—	六,三八一	六,二三一	三	二	六,四〇六	六,二七〇	一二,六七六
關廟庄	一,八〇二	一,八二三	三三	二六	四,六一〇	四,四一〇	四	三	二六	二四	四,六四〇	四,四四七	四	—	五,六八七	四,四三三	九,一六〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

龍崎庄	八五	八八四	六	一	二,二一六	二,〇五六	—	—	二三	四	二,二四〇	二,〇六六	—	—	二,二四六	二,〇七〇	四,三一六
永康庄	一,九九九	二,四八七	一〇五	九九	六,一九七	五,九五七	—	—	一	五	六,一九八	五,九三〇	四	五	六,四〇五	六,〇五二	一二,五五七
安順庄	二,二三四	二,五六二	一三	一二	八,三一九	八,五八三	五	一	—	—	八,二三二	八,五八四	一	—	八,二五八	八,五六四	一六,八五五
新化郡	二三,四八六	二五,六一〇	四三七	三二二	五一,五二五	五〇,九五八	八七	五六	二,一六五	二,一四九	五三,七七五	五五,一六六	二六	七	五四,二五八	五四,四九五	一〇七,七五三
新化街	一,九四五	二,四二四	五五	四五	五,一五二	五,〇〇五	—	—	四三七	四五六	五,四九六	五,四五九	一五	一	五,六四五	五,四五四	一一,〇七八
新市庄	一,三五二	一,五二七	二五	一〇	五,〇一五	二,八九一	—	—	六〇	六〇	五,〇七五	二,九一一	一	—	五,〇九九	二,九一一	六,〇一〇
安定庄	二,五六二	二,四五六	九	八	七,六七二	七,六一〇	—	—	—	二	七,六七二	七,六一二	—	—	七,六八一	七,六二〇	一五,三〇一
善化庄	二,二五〇	二,五八五	一三	九六	五,九八四	五,六七六	—	—	—	五	五,九八三	五,六七九	六	四	六,一一三	五,七八一	一一,八九五
山上庄	九五五	一,〇七六	二二	一五	二,五四五	二,四七二	—	—	一五二	一五〇	二,六七七	二,六〇二	二	—	二,七〇一	二,六一五	五,三一六
玉井庄	一,一四六	一,一九〇	一〇五	六四	二,一五四	二,一六五	一五	八	二六七	五二八	二,四五四	二,五五一	四	二	二,五四五	二,五六七	五,一二〇
楠西庄	六五五	六五五	一五	一一	一,二七六	一,一〇五	二七	九	一一五	一〇五	一,四一一	一,三一六	—	—	一,四五六	一,三五〇	二,七六六
南化庄	九八九	一,〇五八	一八	一二	二,〇五一	二,二二四	四六	五九	九二	一〇一	二,一八九	二,三六四	—	—	二,二〇七	二,三七六	四,五八三
左鎮庄	六四一	一,〇五五	一〇	五	一,六七五	一,七四二	一	五	一,一五〇	一,〇八四	二,八二四	二,八二六	—	—	二,八五四	二,八五二	五,六六六
曾文郡	一〇,一一六	一〇,七九八	五六五	五一〇	二六,七八六	二六,〇五九	六	三	五四五	六〇四	二七,五五七	二六,六四七	二六	六	二七,七五八	二六,九七五	五四,七五一
麻豆街	四,一五四	四,五一六	二四五	二一五	一一,四七二	一一,二五〇	五	四	—	一	一一,四七五	一一,二五五	二二	五	一一,七四二	一一,四五五	二三,一九七
下營庄	二,〇三五	二,一六〇	一五	一一	五,六八九	五,七五八	—	—	—	—	五,六八九	五,七五八	—	—	五,七〇二	五,七六九	一一,四七一
六甲庄	一,四五八	一,四八二	六九	四七	五,四六五	五,二六五	二	—	一	一	五,四六八	五,二六四	五	一	五,五六八	五,五一二	一一,〇八〇
官田庄	一,五〇五	一,四一六	五二	五六	五,二七一	五,〇四六	—	—	一一五	一三四	五,三八六	五,一八〇	—	—	五,五六八	五,二七二	一〇,八四〇
大內庄	一,一七六	一,二一八	一六	八	二,九一一	二,七五六	一	—	四一六	四五八	三,三二一	三,二一七	一	—	三,三四八	三,二二五	六,五七五
北門郡	一七,〇七〇	一七,八五一	二七五	一八五	五〇,五七〇	四九,〇七二	五	五	二五	五八	五〇,五九七	四九,一一五	九	二	五〇,八八一	四九,三〇〇	一〇〇,一八一
佳里庄	五,七五一	五,八七八	一七二	一二六	九,四九一	九,四五五	五	五	二二	五五	九,四八八	九,四六一	四	二	九,六六四	九,五七九	一九,二四三
西港庄	二,〇五五	二,一〇五	一七	九	五,六八二	五,八四〇	—	—	—	一	五,六八二	五,八四一	—	—	五,六九九	五,八五〇	一一,五四九
七股庄	二,四〇五	二,五〇四	九	一〇	八,一六〇	八,〇八六	—	—	—	—	八,一六〇	八,〇八六	—	—	八,一六九	八,〇九六	一六,二六五
將軍庄	二,七七六	二,九一五	一二	八	八,四〇九	八,五五〇	—	—	—	一	八,四〇九	八,五五一	二	—	八,四二三	八,五五九	一六,九八二
北門庄	二,五六七	二,七九一	五一	五七	八,二五六	七,一〇八	—	—	—	二	八,二五六	七,一一〇	五	—	八,二九〇	七,二五四	一五,五四四

學甲庄	三、五六五	三、六六五	一三	三	一〇、六七五	一〇、一八五	—	—	—	一	一〇、六五五	一〇、一六〇	—	—	一〇、六五六	一〇、一六一	二〇、八一七
新營郡	一三、三一三	一七、一三六	一、〇四七 △一	八〇二	三八、六四〇	三六、七八四	八〇四	三八四	八〇八	八三六	四〇、三三三	三八、二〇七	七八	二三	四一、六七八	三九、〇四四	八〇、七二二
鹽水街	三、三三五	三、八六六	二三四 △一	二〇六	八、七三七	八、四八一	—	—	—	五	八、七三七	八、四〇五	四三	五一	九、〇三七	八、七一〇	一七、七四七
新營庄	二、三七八	二、七三六	三三六	二六一	六、一四六	五、六七九	一六	六	—	一	六、一六二	五、六四四	三	—	六、三〇〇	六、二〇六	一二、五〇六
柳營庄	一、六八〇	一、八〇〇	三三	三一	四、三二七	四、〇一一	八	三	三六	三一	四、三七四	四、〇六七	三	—	四、四五三	四、〇六八	八、五二〇
後壁庄	二、三三六	二、六八〇	二〇八	一三一	六、六八〇	六、三六七	一	一	一	四	六、六八四	六、三七四	三	—	七、一六四	六、七四六	一三、九〇八
白河庄	三、三三六	三、四四一	一六四	一〇八	七、二一六	七、一三七	三八〇	二三一	三二八	三〇二	八、四二四	七、七一〇	一六	三	八、六一四	七、八二一	一六、四三五
番社庄	二、〇一六	二、一六七	三〇	二二	三、〇四四	四、六四一	三六六	三一六	四三〇	四七六	三、八七三	三、四二六	—	一	三、六〇一	三、四三三	一一、三三六
嘉義郡	六六、六〇一	三一、〇四七	四、二〇三 △四	三、三〇四	七三、一〇三	六四、八六六	一、六七一	一、四六四	六〇	三七	四、一三四	六七、三八八	三七三	一三六	七八、六一六	七一、〇三二	一四九、六四八
嘉義街	七、八一六	八、八〇二	二、八三八 △四	二、六三三	一六、一七四	一三、〇二六	一一〇	七六	三	三	一六、二八七	一三、一〇三	三一二	一二八	一六、六六一	一七、八一六	三七、四七七
水上庄	三、〇三三	三、二三六	三三一	三三六	七、〇〇一	六、三六三	六八	六四	一	一	七、〇七〇	六、四三六	八	二	七、四〇六	六、六六七	一四、一〇六
民雄庄	三、〇八七	三、二八四	三四	三六	八、〇六四	七、三三七	三六	三六	一四	八	八、一四四	七、六〇一	七	三	八、二一六	七、六三六	一五、八五二
新巷庄	三、二七三	三、四三三	四〇	四	八、二三〇	七、七三六	—	一	六	一	八、二三六	七、七八一	三	一	八、二七六	七、八三三	一六、一〇四
溪口庄	一、六七七	一、八三〇	一四	八	四、七四三	四、三八六	—	—	—	—	四、七四三	四、三八六	一	—	四、七五〇	四、三八四	九、一三四
大林庄	二、三四六	二、六三三	二三二	一三三	六、一七七	三、七七六	八四	七二	—	—	六、二六一	三、八四六	六四	三	六、三〇七	六、〇〇一	一二、三〇八
小梅庄	一、七七七	一、八三〇	二一	一一	三、四〇七	四、八三二	一四〇	一一一	—	一	三、三四七	四、六三四	三	二	三、三七三	四、六六七	一〇、三四〇
竹崎庄	二、六四三	三、〇六六	二三四	一三六	八、一三七	七、一一〇	二二六	一六一	—	一	八、三六三	七、三〇二	三	—	八、六〇二	七、四四一	一六、〇四三
番路庄	六六六	六七〇	二三	一八	二、三四六	二、一三八	二七〇	一六一	一	二	二、八二〇	二、三三一	—	—	二、八四三	二、三四六	五、一八三
中埔庄	二、一七一	二、一六一	三六	三三	四、六四七	四、四三七	三六七	四六四	三三	一三	三、三七六	四、六三六	三	—	三、六四一	四、六七一	一〇、六一二
大埔庄	二二三	二二四	七	三	三七三	三三六	一三二	一〇四	—	四	三〇三	四四七	—	—	三一二	四三〇	六六二
蕃地	三七一	四〇一	三三一	二一八	一六六	三六	三〇八	一八三	—	一	三七七	二四一	三	二	六一三	四六二	一、〇七三
斗六郡	一三、七一〇	一四、六一六	三六四	三一四	三六、八一四	三四、六〇一	三〇七	四一二	二〇	一四	三七、三三一	三五、一〇八	一〇八	三四	三八、〇二三	三五、六三六	七三、六七六
斗六街	四、八三二	三、二三六	四二六	四一一	一二、一〇二	一一、三六八	一六二	一四八	一一	六	一二、三六六	一一、七二二	八〇	六六	一二、六〇三	一二、一三六	二五、〇六四
古坑庄	二、七三八	二、八八七	四〇	二一	七、四〇四	六、八六三	二六四	二〇七	六	三	七、六七七	七、〇七三	—	一	七、七一七	七、〇六七	一四、八一四
斗南庄	二、六四二	七、八三六	七八	六七	三、一一六	六、六三六	三〇	二二	—	一	七、一四六	六、六八六	二四	四	七、二三一	六、七六〇	一四、〇一一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

龍崎庄	八六五	八四四	六	一	二、二三六	二、〇五六	—	—	二四	二五	二、二四〇	二、〇六九	—	—	二、二三六	二、〇八〇	四、三一六
永康庄	一、九六九	二、四八七	一五	九	六、一九七	五、九五七	—	—	一	五	六、一九八	五、九四〇	四	五	六、四〇五	六、〇五二	一二、四五七
安順庄	二、二三四	二、五六二	一五	三	八、三五九	八、五八二	五	一	—	—	八、三三三	八、五八四	一	—	八、三三八	八、五九五	一六、六五五
新化郡	三、四八六	五、六一〇	四七	五三	三一、五三五	三〇、九五八	八〇	三九	二、一六五	二、一四九	三四、七五五	三三、一六六	二六	七	三四、二三八	三三、四九七	六七、七五五
新化街	一、九五五	二、四四四	五五	六五	五、一五三	五、〇〇五	—	—	四七	五六	五、四九九	五、五五九	一五	一	五、六四五	五、四四五	一一、〇八〇
新市庄	一、五三二	一、五三七	二七	二〇	三、〇一五	二、八五一	—	—	六〇	六〇	三、〇七五	二、八九一	一	—	三、〇九九	二、九一一	六、〇一〇
安定庄	二、五六二	二、四五六	九	八	七、六七二	七、六一〇	—	—	—	二	七、六七二	七、六一二	—	—	七、六八一	七、六二〇	一五、三〇一
善化庄	二、二五〇	二、四八八	一三	九八	五、九八四	五、六七六	—	—	—	五	五、九八四	五、六七九	六	四	六、一二三	五、七六一	一一、八八四
山上庄	九五五	一、〇六六	二三	五	二、五四五	二、四七二	—	—	一三	一〇	二、六七七	二、六〇二	二	—	二、七〇一	二、六一五	五、三一六
玉井庄	一、二四九	一、一六〇	一〇五	四〇	二、一五四	二、一九五	一五	八	二六七	五二八	二、四五四	二、五五一	四	二	二、五五四	二、五九七	五、一五一
楠西庄	六五五	六五五	一五	一一	一、二六九	一、一〇五	二七	九	一一五	一〇五	一、四二一	一、五一九	—	—	一、四五六	一、五四〇	二、九九六
南化庄	九八九	一、〇五八	一八	一三	二、〇五一	二、三三四	四六	三九	九二	一〇一	二、一八九	二、五六四	—	—	二、二〇七	二、五七六	四、五八五
左鎮庄	六四一	一、〇五五	一〇	五	一、六七五	一、七四二	一	五	一、一四〇	一、〇八四	二、八二四	二、八二九	—	—	二、八五四	二、八五二	五、六六六
曾文郡	一〇、二二六	一〇、六六八	一九五	五〇	二六、九七六	二六、〇五九	六	四	一五五	六〇四	二七、四五七	二六、六四七	二六	六	二七、七五八	二六、九七四	五四、七三一
麻豆街	四、二三四	四、五六六	二四五	二二五	一一、四七二	一一、二三〇	五	四	—	一	一一、四七五	一一、二三五	二三	五	一一、七四二	一一、四五五	二三、一九七
下營庄	二、〇四二	二、一六〇	一五	一一	五、六八九	五、七五八	—	—	—	—	五、六八九	五、七五八	—	—	五、七〇二	五、七四九	一一、四五一
六甲庄	一、四九八	一、四八二	六九	四七	五、四九五	五、二六四	二	—	一	一	五、四九六	五、二六四	五	一	五、五六八	五、三一二	一〇、八八〇
官田庄	一、三五一	一、二一九	五二	五九	五、二二一	五、〇四九	—	—	一三五	一三四	五、五四六	五、一九五	—	—	五、五九八	五、二三二	一〇、八三〇
大內庄	一、二九六	一、二二八	一六	八	二、九二一	二、七五九	一	—	四一九	四四八	三、三四一	三、二一七	一	—	三、三四八	三、二二五	六、五七三
北門郡	一七、〇九〇	一七、八五一	二五五	一八五	四〇、五七〇	三九、〇五二	五	五	二五	五八	四〇、五九七	三九、一一五	九	二	四〇、八八一	三九、五〇〇	八〇、三八一
佳里庄	五、五六一	五、八七八	一三二	一二六	九、四六一	九、四五五	五	五	二三	三五	九、四八八	九、四六一	四	二	九、六六四	九、五七九	一九、二四三
西港庄	二、〇五二	二、一〇四	一七	九	五、六八二	五、八四〇	—	—	—	一	五、六八二	五、八四一	—	—	五、六六九	五、八八〇	一一、五四九
七股庄	二、四〇四	二、五〇四	九	一〇	八、一二〇	八、〇八六	—	—	—	—	八、一二〇	八、〇八六	—	—	八、一九六	八、〇六六	一六、二六二
將軍庄	二、七六九	二、九二五	一二	八	八、四〇九	八、五四〇	—	—	—	一	八、四〇九	八、五四一	二	—	八、四二五	八、五六九	一六、九九四
北門庄	二、五六七	二、七六一	二一	二七	八、二五六	七、二〇六	—	—	—	二	八、二五六	七、二〇八	五	—	八、二六〇	七、四三五	一五、六九五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學甲庄	四、四六九	四、六六九	一五	四	一〇、六四九	一〇、一八四	—	—	—	一	一〇、六九九	一〇、一八六	—	—	一〇、四四六	一〇、一九一	二〇、八九七
新營郡	一四、四一四	一七、一四六	一、〇五七 △一	八〇九	四六、六五〇	四六、七八五	八〇五	四八五	八〇八	八四六	五〇、四四九	四八、一〇七	七六	四四	五一、六七八	四六、〇四五	八〇、七一九
鹽水街	四、四二一	四、八六六	九四五 △一	一〇六	八、七四七	八、五八一	—	—	—	九	八、七四七	八、五〇四	五四	二一	六、〇九七	八、七一〇	一七、七五七
新營庄	二、四七八	二、七四六	四四六	二六九	六、一五六	四、六四七	一六	六	—	一	六、一六九	四、六五五	九	—	六、四〇〇	六、二〇六	一二、七〇六
柳營庄	一、六八〇	一、八〇〇	四四	四一	五、四二七	五、〇一一	八	四	四六	四一	五、四七五	五、〇六七	四	—	五、五四四	五、〇六八	八、四四〇
後壁庄	二、四四六	二、六八〇	二〇八	一七四	六、六八九	六、四六七	一	四	一	五	六、六八九	六、四七五	九	—	七、一六九	六、七五六	一四、六四八
白河庄	四、四四六	四、五五一	一六五	一〇八	七、九一六	七、一四七	四八〇	四四一	四四八	四〇九	八、五九五	七、七一〇	二六	四	八、六一五	七、八九一	一六、五四四
番社庄	二、四一六	二、四六七	四〇	四四	四、〇四五	五、六四一	四六六	四六	五五〇	五七六	四、八七四	四、五四六	—	一	四、六〇五	四、五四四	一一、四四六
嘉義郡	四六、六〇一	四四、〇五七	五、九〇四 △五	四、四〇五	七四、一〇四	六四、八四六	一、六七一	一、五六五	六〇	四七	五、一四五	六七、四六六	四七四	一四六	七六、六一六	七一、〇四一	一五六、六五六
嘉義街	七、八一六	八、八〇二	二、八四八 △五	四、四六四	一六、二七五	一四、〇二六	一一〇	七六	四	四	一六、四八七	一四、一〇四	四一二	一二六	一六、六六一	一七、八一六	四七、五七七
水上庄	四、〇四四	四、二四六	四四一	四四六	七、〇〇一	六、四六九	六八	六四	一	一	七、〇七〇	六、五四六	八	二	七、五〇六	六、六六七	一五、一〇六
民雄庄	四、〇八七	四、六八五	四五	四六	八、〇八五	七、四四七	四六	四六	一五	八	八、一五五	七、六〇一	七	二	八、二一六	七、六四六	一四、八七四
新巷庄	四、七四四	四、五四四	五〇	五四	八、四四〇	七、七四六	—	一	六	一	八、二四六	七、七八一	四	一	八、二七六	七、八四四	一六、一〇五
溪口庄	一、六七七	一、八四〇	一五	八	五、七五四	五、四六六	—	—	—	—	五、七五四	五、四六六	一	—	五、七七〇	五、四六五	六、一四五
大林庄	二、四五六	二、六四四	四四二	一〇四	六、二六一	四、八五八	△五	七二	—	—	六、二六一	四、八五八	四五	二	六、四〇七	六、〇〇一	一二、四〇八
小梅庄	一、七七一	一、八四〇	二一	一一	四、四〇七	五、八五二	一五〇	一一一	—	一	四、四五七	五、六四五	四	二	四、四七四	五、六六七	一〇、四五〇
竹崎庄	二、六五四	四、〇六六	一四五	一四六	八、一四七	七、一一〇	二二六	一六一	—	一	八、四六九	七、四〇二	四	—	八、六〇二	七、五五一	一六、〇五四
番路庄	六六六	六七〇	二四	一八	二、四五六	二、一四八	二七〇	一六一	一	二	二、八一〇	二、四四一	—	—	二、八五四	二、四五六	四、一六九
中埔庄	二、一七一	二、一六一	四六	四四	五、六五七	五、五四七	四六七	五六五	四四	一四	四、四七六	五、六四六	四	—	四、六五一	五、六七一	一〇、六二四
大埔庄	二二四	二二五	七	四	四七四	四四六	一四二	一〇五	—	五	四〇四	五五七	—	—	四一二	五四〇	六六二
蕃地	四七一	五〇一	四四一	二一八	四六六	四六	四〇八	一八四	—	一	四七七	四五二	四	二	六一四	五六二	一、四七四
斗六郡	一四、七一〇	一五、六二六	四六五	四一五	四六、八四五	四五、六八一	四〇七	五二一	二〇	一五	四七、四四一	四六、一〇八	一〇八	四五	四六、〇二四	四四、六四六	九四、六七六
斗六街	五、八四二	四、二五六	五四六	五一一	一二、四〇二	一一、四六八	一六二	一五八	一一	六	一二、四六八	一一、七二一	八〇	四六	一二、六〇四	一二、一四六	二四、〇六五
古坑庄	二、七四八	二、八六七	五〇	二一	七、五〇五	六、八六四	二六五	四〇七	六	四	七、六七七	七、〇七四	—	一	七、七一七	七、〇六七	一五、八一五
斗南庄	四、六五二	七、八四六	六	六七	四、一一六	六、六四六	四〇	四二	—	一	七、一五六	六、六八六	二五	五	七、〇四一	六、七六〇	一五、〇一一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
大坪庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荊桐庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
虎尾郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西螺街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
虎尾庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二崙庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
崙背庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海口庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土庫庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北港郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北港街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元長庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四湖庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
口湖庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水林庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東石郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朴子街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六脚庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東石庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
布袋庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿草庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
太保庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
義竹庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水面	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	—	—	—	—	—	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]
高雄州	[illegible]	[illegible]	[illegible] △ [illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

高雄郡	一三,三三四	一六,四六一	四,〇五四 △二	三,四八一	四五,八九七	五〇,七四三	九七	六九	九一	一〇四	四三,〇八四	四〇,九〇一	四〇	一六一	四六,六四四	四五,三三四	九四,一四四
高雄街	六,九二六	八,〇〇八	三,七四四 △二	三,一〇三	一四,七九六	一一,六八三	三三	三	—	八	一四,八三〇	一一,七一四	四一四	一三八	一九,〇八七	一四,六六六	二四,〇四四
仁武庄	一,二九〇	一,六八四	七	一〇	四,八一〇	四,五六五	四二	五一	八〇	八四	四,六三四	四,七一〇	—	—	四,六三六	四,七九〇	九,六七六
燕巢庄	九一六	一,〇四六	六	三	二,七二三	二,五四〇	—	—	—	—	二,七一三	二,五四〇	一	一	二,七五一	二,五四四	五,二六六
楠梓庄	二,四八六	二,七六四	二八四	二九六	六,五〇二	六,一八六	一	—	八	二	六,三一一	六,二〇〇	二一	六	六,七一七	六,三四四	一三,一六一
左營庄	二,六四六	二,八四一	二三	二三	七,一六四	六,七一七	—	—	四	一	七,一六八	六,七一八	一六	四	七,一〇八	六,七三七	一四,八四四
岡山郡	二二,三六四	二一,七四四	一四四	一一〇	四四,二九八	四三,八九〇	二一八	一四六	三四	一四	四四,三六八	四四,〇六一	四四	四	四四,六三六	四四,一八三	八八,八四〇
岡山庄	一,八四七	二,一四三	七七	七〇	四,三二七	四,〇六六	八	四	一一	一三	四,四三六	四,一一四	四〇	二	四,五三四	四,一八四	一〇,六四八
阿蓮庄	一,一〇八	一,二八八	一〇	八	四,一二二	四,〇四六	二	四二	一	—	四,一四三	四,〇八八	四	—	四,一六七	四,〇六六	八,二三四
路竹庄	一,四八六	一,八七〇	二六	一四	四,九四六	四,九〇八	一	—	—	—	四,九六〇	四,九〇八	一	—	四,九八七	四,九二三	九,九一〇
湖內庄	四,三八四	四,四四〇	一四	三	一〇,九三三	九,八〇三	—	—	—	—	一〇,九三三	九,八〇三	一	一	一〇,九五八	九,八〇九	二〇,七六七
彌陀庄	四,四九六	四,九三一	二七	二四	一〇,八六六	一〇,〇二六	一九八	一二一	—	一	一一,〇六三	一〇,一三八	—	—	一一,〇九一	一〇,一七一	二一,二六二
鳳山郡	二二,三八〇	二一,八九六	八四三	六七三	四〇,四一三	三八,四六六	六六	七七	九八	一二六	四〇,九八一	三八,七八六	一四六.	三八	四一,六七三	三九,四一一	八一,一八四
鳳山街	二,四四一	二,七六一	二九八	二七〇	四,二九七	三,九六六	三八	四四	八四	九六	四,三四〇	四,一三七	一三一	三四	四,八三六	四,三六一	一一,四一一
小港庄	四,〇一三	二,四三一	二三八	一八四	四,三四一	三,九一七	—	—	一	二	四,三四一	三,九一七	四	—	四,六八四	四,〇六六	一〇,七八二
林園庄	二,一六〇	二,四八一	一八	一〇	六,四三四	六,〇〇四	—	四	—	二	六,四三四	六,〇一〇	三	一	六,四六四	六,〇二一	一二,四六六
大寮庄	二,二一四	二,四六一	一六四	一〇九	四,八八一	四,九三七	七	六	三	七	四,九〇二	四,九六〇	二	—	六,〇六六	六,〇六六	一二,一三八
大樹庄	一,九三三	二,一三七	一一一	八六	四,四二三	三,八六三	一	三	一	二	四,四二六	三,九〇〇	七	二	四,三三三	三,九八八	一〇,三四二
鳥松庄	八一四	八九三	一三	一七	二,〇一八	一,八八六	一三	六	七	七	二,〇三八	一,八四四	二	—	二,〇六三	一,八七二	四,九四六
旗山郡	一〇,二九四	一〇,六四三	八一〇	六二八	一四,七五〇	一二,七三八	一〇,一四三	一〇,〇〇八	四,三三九	二,四七六	二七,四一四	二六,四二一	一二一	四八	二八,二三三	二六,九六八	五四,二三一
旗山街	二,八八九	四,〇一二	五四	三九六	六,一二七	四,七四三	七一六	六六七	二三三	四三六	七,一四〇	六,七四〇	七七	二四	七,七五〇	七,二四一	一四,〇三一
美濃庄	二,九一〇	二,九一一	七四	三六	六〇	六八	七,七一四	七,七四八	三六	四一	七,八四六	七,八七八	二一	八	七,九四四	七,八四四	一五,八八八
杉林庄	一,〇三一	一,〇八一	四四	二七	四一八	二七一	一,四四八	一,三三一	九一〇	九三四	二,四七六	二,四四七	一八	四	二,六三八	二,四八六	五,一二七
甲仙庄	三七六	四四一	一〇三	四一	一七一	六三	一七三	一一〇	六八六	七七三	一,〇四一	九三八	四	—	一,一三八	九九六	二,一三七
內門庄	一,三五八	一,四六七	二〇	七	二,八六六	二,七七七	二一	二三	一,四四六	一,四四七	三,四五八	三,一六八	一	—	三,二七六	三,一七四	八,三六三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

田寮庄	一,三八四	一,四一〇	一八	八	四,一〇八	三,八三〇	—	二	一〇七	六二	四,二一三	三,九三九	—	—	四,二二二	三,九四四	八,一六六
蕃地	一〇七	一一一	二八	一〇	一七	四	一三七	九三	一〇	七	一八四	一〇九	一	—	二一四	一一六	三三〇
屏東郡	一三,四六三	一四,二二一	二,一六二 △三	一,七三八	二一,三三〇	一六,七七六	六,六一三	六,〇九六	二,[illegible]〇〇	二,四三二	三三,二四三	三一,二六七	三四九	八八	三三,七三七	三三,一三三	六六,八七〇
屏東街	四,六三三	三,〇一三	一,六八四 △三	一,四一三	八,八七二	七,八六七	六八〇	三三二	二一六	二三三	九,七六八	八,六九二	二八七	六七	一一,七九二	一〇,一三四	二一,八八六
長興庄	二,〇二六	二,〇三八	二九	一九	一,〇七六	一,〇〇六	四,三一〇	四,二一三	八〇	九九	三,四七六	三,三一八	一八	六	五,四二三	五,三四三	一〇,八六六
鹽埔庄	一,四三七	一,四四六	一三	三	二,六一二	二,八八七	一,〇三六	九九三	一六七	一九七	四,一三八	四,〇七六	—	—	四,一三一	四,〇八四	八,二一三
高樹庄	一,六六二	一,六六三	一一	八	一,〇九八	一,八三〇	一,九九四	二,〇〇三	四五三	四六四	四,二七七	四,三二六	一一	三	四,二九九	四,三五〇	八,六三九
六龜庄	九三六	一,一〇三	一三四	一一三	二八七	一三〇	六六七	八六八	一,一九四	一,〇四七	二,四四八	二,〇四三	一一	四	二,三九二	二,〇六二	四,六三三
里港庄	一,四三四	一,三七三	一〇三	六六	三,七四七	三,三三二	一四四	一六一	二〇	二二	三,九一一	三,七三三	一九	八	四,〇三三	三,八八九	七,八七二
九塊庄	六〇二	六三三	一〇	八	二,三四一	二,四八六	三〇	三一	四二	四六	二,三四三	二,三八三	二	—	二,三四三	二,三九一	三,七三六
蕃地	四二一	四四六	一六八	六四	一四七	六	三六九	二一四	一三六	六四	六八二	三二六	一	—	八三一	四一〇	一,二四一
潮州郡	一一,三六七	一一,六一〇	三二四	二三四	一一,四一九	一一,四八六	一四,一三三	一三,九六一	三,三八四	三,六八一	一九,八九八	一九,一三八	一一三	四四	一九,三六三	一九,四三六	三八,八〇一
潮州庄	一,三三三	一,三七〇	一〇三	六四	三,一一三	二,九四八	三三九	二一六	三七二	四〇七	三,七四六	三,三七一	三〇	七	三,六〇一	三,六七二	七,二七三
萬巒庄	二,一〇七	二,一四〇	一六	一一	一,三三六	一,三三六	三,〇六二	三,一八〇	六〇一	九七七	三,二八九	三,四九二	二七	二〇	三,三三二	三,三一四	一〇,八一六
内埔庄	三,二八八	三,三三三	二七	一七	一,三三四	一,六二九	六,一三八	六,二一〇	八一三	八七六	八,三四四	八,七一三	一八	一三	八,三八九	八,七四四	一七,一三三
竹田庄	一,四三四	一,四四七	一六	九	七八四	七四四	二,八二三	二,七一四	一一三	一四二	三,七三〇	三,六〇〇	四	三	三,七三〇	三,六一二	七,三六二
新埤庄	六〇七	六四二	一六	六	一六六	一〇二	一,七六七	一,三九七	三九一	六四四	二,三一四	二,四三三	六	二	二,三四六	二,四三一	四,九九七
枋寮庄	一,三六六	一,六三三	四八	三二	三,四三〇	三,三三六	三七	六四	三三九	六〇八	四,〇四六	四,一〇八	八	—	四,一〇二	四,一四〇	八,二四二
枋山庄	四四二	四六四	三六	二七	九九九	一,〇八六	一六	九	二〇	二三	一,〇四三	一,一二〇	—	—	一,〇七一	一,一四七	二,二一六
蕃地	三八	三八	六〇	三八	六	三	三	一	三	二	一四	八	—	—	七四	四六	一二〇
東港郡	一一,三三三	一三,〇三三	二一二	一二三	一六,九三八	一六,三四〇	二,八六六	三,〇八二	三四〇	四一三	三三,一三四	三二,八三三	一三八	四九	三三,三〇二	三二,〇一六	六六,三三三
東港街	二,二三三	二,三一六	一〇四	八八	六,九一〇	六,三八二	一〇	一一	二〇	一三	六,九四〇	六,四〇八	一一〇	三三	七,一六四	六,三三一	一三,六九三
新園庄	二,三七一	二,六七六	三〇	二六	七,七〇八	七,三六〇	三一	三二	四一	四九	七,七八〇	七,四四一	—	—	七,八一〇	七,四六七	一五,二七七
萬丹庄	二,六八二	二,七六一	一六	一二	七,三三七	六,八八七	六八	三七	七四	八〇	七,四七九	七,〇二四	四	—	七,四九九	七,〇三六	一四,五三三
林邊庄	一,六三三	一,七三九	三〇	九	四,四一三	四,二三一	三三	六二	一一一	一一九	四,三七八	四,四三二	一九	八	四,六四七	四,四三九	九,一〇六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佳冬庄	[illegible]	[illegible]	八	八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
琉球庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
恆春郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
恆春庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
車城庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿州庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一〇一	一〇一	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
澎湖郡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
馬公街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
湖西庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
白沙庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西嶼庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
望安庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	一	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水面	[illegible]	[illegible]	△ [illegible]	一	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東支廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
卑南區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿野區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
里壠區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新開園區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
火燒島區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新港支廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
成廣澳區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

都歷區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
都鑾區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
加走灣區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
太武支廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
太麻里區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大武區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	[illegible]	—	—	—	[illegible]	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花蓮港廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花蓮支廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花蓮港街	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
吉野區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	—	[illegible]	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平野區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
壽區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳳林區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新社區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
瑞穗區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉里支廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉里庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大庄區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
研海支廳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃地	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水面	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漫錄

理苗の夢

蕉鹿夢

今更絮說するまでもなく、支那人が臺灣の土番を目して、敎化に服屬する有無により、熟番生番の二類に區別したのは、原と支那內地の西南邊疆に占居する苗族に向ひ、其歸附の異同により、熟苗及び生苗の稱呼を與へ來つたのに倣うたのであることは、人の知れる所であるが、而かも其苗族最古の分布區域は、南支一帶の饒谷沃野であつたとすれば、苗と蕃との二者の間に、多少地理的氣緣の接近が無ければならぬ、支那に於ける理苗の沿革を回顧するのも、臺番の考査に强ち痴人說夢の襲套であらぬかもしれぬ。

試みに支那の史乘に據りて、苗族の事情を記るしてあるのを討ぬるに、少なくも三千餘年の以前に溯ることが出來る、支那の文獻として古るきもの、一、なる再謨の一節に、

蠢茲たる有苗、昏迷恭はず、

苗民命に逆ふ、

など書いてあるのが卽ち是れで、つら〳〵當時の分野を討ねて見るに、所謂る彭蠡の波を左にし、洞庭の水を右にし、南に汶山を控へ、北に衡山を望んで居るといふのは、其大概で、彭蠡卽ち後の江西の鄱陽湖、洞庭卽ち後の澎南の洞庭湖、將た河南湖北の交界なる、北嶺支脈の衡山と、南嶺支脈の汶山との間なる、楊子江流域千里の平原は、其中心地點であつたことが明かである、斯くて北方黃河の流域に占居せる漢族の一群と、生存の競爭に拮抗し、其最後の失敗は、漸次楊子江の上流に沿ひつゝ退却し、四川、貴州、雲南、廣西の山谷に蟄伏すべく餘儀なくせられ終つたので、而かも帝堯が三苗を三危に遷すといひ、帝舜が三苗を分北したといふ類の史蹟に照らし合はするときは、取り別け其最も强悍にして服し難き一部をば、甘肅の東南なる三危山邊の僻陬に驅逐し去つたものと思はれる。

生番の人を殺すは臺中の常事と、前人の評せし如く、臺灣の土番に殺馘の　天性を有した事は、繰り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

返へすまでもあらぬが、苗族にも殺人の風の盛んに行はる丶事は、恰も臺蕃に類似するものがあるので、『睚眦の隙あるも、遂に人を殺すに至り、殺さる丶の家は、擧族必ず讐を報じ遂げて後巳み、否らざれば親戚亦之を助け、抗勁して悔いず』（通禨）と傳へられてあるなどは其適例である、殊に紫姜苗と呼ばる丶一部などは、殺を嗜むこと最も甚だしく、仇人を得れば、其肉を生にて啗ふといふ事も見えて居る、彼の康熙雍正の間、治臺事宜に關して切々立言した藍鹿洲が、臺灣の土蕃を以て苗族に比較し、理苗施設を移して、理蕃施設に易ふるの可能なるを主張せし痕あるのも、畢竟著眼點を此同似に置いたのに因るらしく思はれる。

そこで支那歴世の政府、殊に近代の清朝が、一方には、堡碉を設け、兵を屯して防禦の計を講じ、他面には、保甲の法を立て丶、漢人をして自衞の事に當らしめ、時に馴服せる熟苗を役して、生苗を制し、中には熟苗の地域に、義學を設けて、撫化を圖ることなどに努めたのであつたが、名あれども實效の伴はざりしは、實際の情弊であるのを免かれなかつた、雍正四年、雲貴總督鄂爾泰の上疏の中に、『雲貴に、荒地甚だ多し、議する者、宜しく開闢すべきを言ふも、利の在る所は、人の爭うて趨る所、其開墾を禁ぜざるに、來りて開墾せざるもの、荒地は槪して苗界に近く、實に苗衆の牽制を慮るに緣ることを知らず、若し果して土司（頭目）法に遵ひ、夷人畏伏せば將に招かずして來る者多からんとす』と謂つて居るが、仍然として此狀態を後代にまで持續したのであつた。

そして從前臺灣に於ける蕃害が、啻に個人の殺馘に止まらず、屢々擧衆嘯嗷、防隘の兵備に向つて抵抗を敢てせし如く、苗族の叛亂を企てし事も、過去の史上に其例少なくないのである、中にも、康熙四十二年八月、雲南の苗族叛を謀り、貴州提督李芳遠等が、大兵を率ゐて進勦し、苗族一千餘人を斬り、三百寨（寨といふのは臺灣で土蕃部落を社といふのと略ぼ同じ意義に取られる）を降した事の如き、又雍正十三年七月、貴州の苗族、附近諸縣を陷れ、部將哈元生之が討伐に從ひ、各寨を攻め燬き、降苗六百及び土司三十人を誘殺したので、苗族の激昂を增長せしめ、其多くが手づから自己の妻兒を刺し殺し決死頑抗殆ど三箇月の久しきに及んだ事の如き、其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最たるものであつて、乾隆五年、雲貴總督張廣泗が、討苗の事に、前後斬首五千に及び、嘉慶六年、雲貴總督琅玕が討苗の時、苗族を殲すこと二千餘人に及んだといふ事などは、其制勝史の誇りとも謂ふべきで、道光十二年、連州の八排猺(苗の屬)の叛亂に、清軍死する者一千餘、辛うじて之を平らげ得たといふ例は、寧ろ多くに通じて見らるゝ結果である。

さて此れ等の苗族、殊に生苗負嵎の位置は、密林幽篁仰げども天日を見ず、宛も是れ洪荒以來斧斤の未だ嘗て入らざる所で、其唯一武器は弓矢であるが、而かも矢には一種の毒を塗るのである、抑も此毒料には、凡そ三種許りもあつて、就中礦(コアン)と呼ぶ毒は、最も劇烈で、若しも人が此毒矢に中るときは、たとひ傷が淺くとも、迚も治癒の手段が無いと言はれて居る、支那の有司が、理苗の施設上、第一の障碍であると認めたのは、即ち此毒矢で、其兇行を企つる者を膺懲するために、兵を派すれば、彼等は深林の間に潛伏しつゝ、毒矢を放つて抗拒するので、到底十分の目的を達することが出來なかつた、そこで或る方法を設けて、毒の原料が何であるかを究め、且つ之に依りて更に解毒の工夫を講じやうといふことで、雍正年間、貴州地方の官吏に命じ、精密なる取り調べを爲さしむることを企てた。

之に對する清國官吏の復命書や意見書といふものは、汗牛充棟とまではいかぬにしても、中々少からずあるが、其中から、彼れ此れ總合して、所謂る毒の性質といふもの、考定を概括して言へば、其最も畏るべき礦(コアン)といふのは、苗族語でサアと呼ぶ木の汁の、石の上に滴下し、凝結した微紅或は紫色を呈する物を取つて、精製するので、此樹木は、或る地方には甚だ少なく、殆ど至寶視せられて居るが、或る地方には、非常に繁茂し居るといふことである、其他の二種は、或る草から製するものと、毒蛇の類から製するものとで、草より製する毒料は、熟成後二三箇月を過ぐれば、氣が洩れて效を失ひ、毒蛇より製する毒料は、數年に亙りて使用することは出來るが、是れとても其害は、單に筋肉の局部が腐爛するだけであるから、差して生命に關はるといふ程で無いといふ意味を縷述しある報告もある。

そこで斯く毒料の原質が分明になつたとすれば、次に起る問題は、其毒の原料を、苗族の土地に絶滅せしむる方法があるかといふ事と、既に其毒に中り

し患部を、完全に治癒し得べき解毒の藥方があるかといふ、二項であつたが、孰れも實行難を免かれなかつた、現に苗地內の毒木を伐り盡すといふ事の如きは、言ふべくして行はれぬ机上の成案で、廣西省の如きは、所屬の苗地に、此毒木の數が比較的少ないといふのを好機とし、人をして密かに入りて、其樹種の伐盡を爲さしめやうと企て、先づ南寧府隆安縣の橋建村といふ苗界で、毒木三株を發見したが、共に高さ八丈、周り一丈四五尺あつて、之を伐り倒すためには、非常の勞力を要するのであつた、殊に人跡未到の內部なる深山密林に忍び入り、克く危險を感ずることなしに、箇樣な大木を伐り盡すなどいふ事は、到底人力の得て能くする所に非ずといふ理由で、結局中止に歸したといふ話である、昔し鼠の仲間が、猫害防止のために、頭を集めて評議の末、世の中のあらゆる猫の頸に、鈴を繋くべしといふ案を可決した、是れは勿論敵猫の一擧一動を豫知する名策として、最上の案ではあつたが、さて如何にして之を實行せんかの一段に至りて、衆鼠啞然として自失し了したといふ笑話はあるが、苗地の毒木を悉く伐探し盡さうとする防苗計畫も、ツマリ滑稽政治の一面を、理苗の歷史に殘さんとせし、失敗のペイジに外ならぬのであつた。

東洋學者のラクペリイ氏を初めとして、時に蕃苗同源說の肯定を强ふべく發表せられし觀想は、今日既に勢力を失墜するに至つたことが事實としても、併し乍ら、少なくも過去に於ける舊政府時代の理蕃は、理苗の前蹤より導かれたるもの、多かつたのは蔽ふべからずで、歷史的にも取長補短の依從ありしを認めねばならぬとすれば、理苗の夢亦吾人に或る何物かを訓ふるの感じがある。

あめつちの
かくろへことを
我か胸に
さゝやく如き
水の音かな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

瑯嶠

仙俗居士

△若蛭子丸

小田縣民佐藤利八は、三名の水夫を相手に、百三十石積の帆船若蛭子丸にて、明治五年十月二十八日、中玉島出帆、紀州尾和瀬の荷物を積取り、回航の途次、翌六年正月十四日より、三晝夜に亘るの大風に遭ひ、何れとも方向の、得知れぬ大洋の中に漂ひ、三月八日朝、遥に島影を認めたるが、食料已に盡き、此の最終の四日間は、食はず飲まずにてありしを、是に至て勇を鼓し、夕刻漸く岸に達せしに、忽ち異様なる土蕃二三十人馳け來り、先づ所持の品を奪ひ取り、果ては追々群がり集りて、其數二三百と覺しく、船中の積荷は、盡く掠められ、剩さへ船を毀ち、尚ほ飽き足らで、一同の穿てる衣服までを剝ぎ去り、若しも之に手向ひなば、殺害をも加へ兼まじき勢なれば、難船饑餓の疲勞の上に、身には一寸の武器もなく、衆寡も敵し難かりしより、無念を忍ひて、彼等の爲すがまゝに任かせしに、少かに一枚の古著と船の鑑札、金比羅の守札、及び五兩の紙幣とを殘せるのみといふ憐れさである。

此時群中に在りし、一老蕃の同情を得て、其家に一夜の寐食を全ふし、翌九日は伴はれて、南方一里半許なる一部落に至るに、三軒の漢人家屋あり、爰に漸く臺灣島なること、及び前者がマボク(馬武窟)にて、後者がカネバ(加里猛狎)なるを知る、三泊の後ち、會々來合せたる漢人陳安生に伴はれ、更に南方十里許バラカホ(馬蘭拗)なる同人の家に往き、滯留すること百日餘、此の間日々、牧牛或は耕作、木樵などの雜役に力めて、其の厚意に報ひ、時の到るを待ちつゝありしに、幸ひにも鳳山旗後(今の高雄)の商人李成忠といふ者、船にて此地に來るあり、始めて筆談を以て、意思を通するを得たのである、之に伴はれて琅嶠の海上を廻り、六月二十日旗後に著し、爰に清國官憲に引渡され、其の保護を受け、府城に到りしに、偶然にも當時來遊中の、福島少佐に面會し、爲に日本歸還の便宜は捗り、同三十日、再び旗後に戻り、ソレより福州、上海、長崎を經て、約二百八十日目に、故郷の山を眺めたのである。

小田縣なんか何處だらう、と思ふ人もあらうが、今は岡山縣の一部分で、若蛭子丸は、備中國淺口

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

柏島村の船籍である、此の記事の日附は、佐藤の記臆に基くも、或は間違なしとも限らぬ、ソレは此船が、玉島を出帆せし後に於て、我國は太陽暦を採ること丶爲り、即ち明治五年十二月三日を以て、六年一月一日とせられたるの異動があるからである。

△副島大使

同じ六年の三月、副島外務卿は全權大使として清國へ特派と成り、柳原副使(前光)の外に、平井希昌、鄭永寧等を隨へ、龍驤、筑波の二艦に分乘して、品川灣を出發せらる。

其の使命は、前きに伊達大臣(宗城)の締結されたる、日清修交條規の批准交換に在りと傳ふるも、當年の廟堂人材(人才に非ず)雲の如しとは言へ、岩倉、木戸、大久保、伊藤などの巨頭は、去て歐米巡視中に在る、此時に際して政界一方の重鎭たる副島外務卿が、是しきの用務の爲に特派さる丶こと、聊かぎやう／＼し過ぎるとの世評もあつた、が果して、他に重大なる任務を帶びて居られる、开は臺灣問題である、臺灣問題を解決すれば、自づと琉球問題が解決する、琉球問題こそ主要の目的である。

尙泰王は我が朝廷の殊遇に對し、謝恩の表を上られたのであるが、其の特使船が薩摩沖に近けるとき恰も二艦は、同じ海上を通過したのである。大使は一詩を賦し、保護せむ海南新置の藩と叫んで居られる。

風勢皷濤々勢奔。　火輪一擧艦旗飜。
聖言切至在臣耳。　保護海南新置藩。

今人は訝るだらう、東京より北京、なんだつて九州の南端を迂廻するかと、然り、此は上海に直航したからである、上海に寄港を要するは、北京唯一の交通路たる白河の解氷如何を確むる爲である。斯くて一行の天津上陸までは、約四十日を要したのである、當年の北京は、今の歐米よりも遠しと言はねば成らぬ。

大使は四月二十日を以て、天津に李鴻章を訪ひ、尋て北京に入られたのである。一行の眼には、辮髮胡服を憐れと映せしならむも、彼官民は却て、社袮大小下駄の扮裝を嗤笑の種とし、東夷來を呼はつたのである。

柳原副使が鄭永寧を伴ひ、淸國政府の外交部たる

總理衙門に就て、臺灣生蕃の質問に著手されたは五月七日である、之が應接に當れる先方の主務大臣を毛昶煕といへるが、謂ゆる瓢簞に鯰、機を相て跳返さうの用意は甚だ巧みである、勿論毎日面會したわけでは無いが、是より六七十間、結局要領を得ない、爰に其の長談判を、摘い摘んで言へば斯うである。

生蕃が琉球人を殺したといふことは、承知して居るが、貴國人を害したといふことは、まだ聞かない、臺灣も琉球も清國の屬島である、屬島同士の事は當方の存念に在る、お構ひ下さるな。

其の琉球人が、日本國民なればこそ質問に及ふのである、琉球王は今日、立派に日本國の藩王である。

イヤそんな筈は無い。

然らはお尋ね致すが、加害者たる生蕃は、之を懲罰するお積りかどうか。

アレは化外の民で厶る、懲罰は致さない。

是は怪しからん、民の父母たる者が、赤子の害に遭ふを見遁しにするといふことがあるか、して見れは臺灣蕃地には、貴國に主權の無いのであらう。

イヤ／＼主權はある、臺灣は立派に清國の版圖である。

斯んなことを繰返すのみにて果てしが無い、ツマリ臺灣の出來事に對し、日本には何等容喙の權なしとの挨拶であつた。折柄に日本大使の手にも、叉た法理衙門にも、若蛭子丸乘組小田縣民遭難の報告が届いたのである、何等容喙の權なしと刎付つゝあつた毛大臣も、流石に開いた口が塞がらなく成つた、柳原副使は之を機とし、

生蕃の我が臣民を害せること、既に重れりである、貴國にして之を懲罰せさる以上、我國は一軍を派して、之を處分するの外はない、他日御異儀なきやう、玆に申入れ置く。

斯く言ひ放て切上けたのは七月に入てからの事であつた、之に就て一方異樣に思はるゝは、此の大切な談判に、何故大使親ら出馬して居らぬかである。

是より先き、大使は國書捧呈の爲め、同治皇帝に謁見せんことを申込んで居られる、此は清國朝廷に取て、先例なき重大問題、彼の英佛聯合軍が、曾て城下の盟をさせたにも拘らす、恭親王限りにて事を了したり、遠き昔しの乾隆帝は、三十八個國の語を使ひ別けして、使臣を延見せられたと傳へらるゝが其れは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

藩屬國であつた、去れは清國朝庭に於ては、親王を以て代理し、若くは藩屬國に對するの例に由ららむものをと力めたのであるが、大使は是を聽かはこそ、斷然對等國の禮を以てせんことを迫つたのである、其末遂に六月二十九日を以て、之を決行させたのであるが、英佛を初め、北京駐在の外國使臣は、其の成功に驚き且つ先例の啓かれしに感謝したのである。

是に於てか、表面の使命たる批准交換は濟みたり、濟みたる如くにて濟まぬは臺灣問題、即ち琉球問題である、此は徒らに議論を闘はさんよりも、事實を以て爭ふに如かぬ、言はゞ事實を先きにして議論に立戻り、そして解決さるべき運命に在る、大使の意中は、孰れは近く再來しなければ成らぬと思ひつゝ、北京を立去られたのであらう、途上通州の詩は、夢重謁の三字に其意を寓せるものゝやうである。

使事完成持節還。　猶嗟身世未全閒。
通州夜雨蓬窓夢。　重謁清皇咫尺間。

通州より白河を下つて、天津に再び李鴻章を訪れたが、李は依然として倨傲不遜の色がある、大使は懐ふところあり、卒爾に語るものゝ如く、

貴國は聖人の生れし所、且つ自ら稱して中華と謂ふ、初余め竊に以爲らく、吏廉にして地潔く、到底敝邦の及ぶ所にあらざるべしと、今親しく其地に入り、面あたり其狀を察するに、汚吏朝に滿ち、糞臭市に載つ、醜穢此の如くにして、中華の實、其れ果して何くにか在る。

言ひ畢て故さらに笑に紛らはす、李は心に小癪な東夷よと思つたであらうが、考へて見れば辯解の辭を持たない、慚汗滲々として背を浹したといふことである、此外に大使の片言隻句が、李をしてヂリツ／＼と、畏敬の念を起さしめたといふ話柄もあるが、此の一話の若きは、日本使臣副島としてよりも、寧ろ沛公遠孫劉種臣として、悲憤し慷慨せるの概ありと謂つべきである。附記す、後ち明治九年中、副島種臣個人として此地に來遊せるに、李鴻章は其の閑散なるを聞き、留て清國々政を整理せんことを請へる由なるが、源を此の會見に發せるものと念ふ。

何事もテキパキと、遣て除けし明治新政の功臣も、清國を相手にしては、まぎろしきこと限なかつたと言ふことであるが、大使の歸朝復命は、實に七月二十六日であつた。「都をは霞と共に立出て、秋風ぞ吹く白河の關」とは能因法師が、豫しめ此事を詠み置かれたと附會したく爲る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海外思潮

ハーシユ氏の社會主義批判

總督府囑託　高橋　惇

(下)政治及び道德上に及ぼす社會主義の影響

一

余輩は前章に於て、產業上に及ぼす社會主義の影響に就て評論したが、今囘は社會主義を實施する國家即ち社會主義國に於ける政治方面竝に道德方面は如何なる狀態を呈するに至るべきかを研究して見度いと思ふ。

要するに屢々說明せる如く、國家が產業を總て其管理の下に置く時は、必然中央權力の指揮監督の下に統括せらるゝ幾多の官吏團、即ち產業機關の監督の衝に當る官僚の組織を釀成するは免れ得ない。隨て、生產品の數量、品質等は擧げて彼等の意志に左右せらるゝのみならず、苟も其社會主義國の國民たる以上は男女の別なく、其職業、住所、勞働功程に關しては凡て該監督官の裁量の下に絕對服從を爲して、個人の自由意志の如きは全然抑壓せねばならず、また國內の印刷所は凡て官憲の掌中にあるが故に、書籍、新聞、雜誌又は其他の出版物を獨占管理するに至ることは當然である。斯の如く社會主義は一國產業を管理する爲めに有史以來世界に於て其類例を觀ざる程の權力を其官僚に附與せざるを得ない然かも其權限たるや實に廣大にして全國民の個人生活に迄も干涉する。全盛期の大シーザーと雖、羅馬國民に對して斯る權能は享有してゐなかつた。

社會主義國に於ける監督官が權能行使に際し絕對的に誠實であり、公衆の利福のみを念として私利を圖らず、附與された權限を超ゆる如き越權的行爲に出づることなしとせば、社會主義國に於ける官憲は極端な專制に流れず、また其國民は奴隷の屈辱を免かれ得るのであるが、斯る理想は果して期待し得られるであらうか、別言すれば社會主義國の官吏は何等私利的或は專制的傾向に陷らずして與へられた權能を誠實公平に行使し得るであらうか。是れ余輩が

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

考察を要する重大問題である。

二

諸多の團體生活に於て觀察さるゝ如く一國の官憲は其職權及び所屬官廳の特權に對する擴張を企圖するもので、斯る傾向は各階級を通じて一般人類の通有性なるが、就中官吏に於て甚しいのである。夫れは彼等が服務し執行して居る職能が他社會の人々の職分と大徑庭あるが爲めで、勢ひ一種の階級心が誘起せらるゝ結果である。他社會に於ても然る如く、彼等は殊に自己の利害問題を一般公衆の福利よりも重視し、之を第一義と爲して總ての標準をそこに置き、また彼等は組織緊密にして整然たる階級組織を爲し、一大中央機關に依り之れを統括するが故に、幷て不正を行ひ易く、假令爾余國民の反抗に逢遇するも其反抗は散漫稀薄にして統一を缺くが故に、容易に之を鎭壓し得るのである。

此事實は歷史の實證する所にして、有史以來苟も政治團體たる以上は、其權力伸張と被支配の囘避と部理的權能の絕對化に汲々たらざりしものは一つもない。追擧する迄無く、チユートン族の選擧侯から專制的世襲王權の獲得、微々たる役僧又は長老から王侯をも凌駕する大僧正又は法皇への陞位、又は現在合衆國に於て政黨機關が掌握する絕對權の如きに於て其類例を觀得るのである、玆に又好個の例證とも見做し得るは、合衆國に於ける政治組織である。米國民は種々の形式にて各州政廳に對する監督權を享有し、參政權を有するに拘らず、彼等米國民は政治機關に對する監督權は夙くも事實上既に遺失してゐるは瞭かな事實である。卽ち其權能は何時の間にか政黨機關に、詳言せば、國民の參政權を奪取するを主眼として出來た政黨的色彩ある官僚の掌中に移つてあつたのである。而して該政黨官吏は或「親分」の配下に屬し、其命令を奉じて各候補者に相應の椅子を與へる、斯くして結局國民は二名の競爭者中より一名を選擇指名して「親分」たらしむることの是認權を單に享有するに過ぎぬのである。斯くの如く米國に於ける政黨は異常な發達を遂げ、國民の家僕は主人の位置を奪ふに至つた。

前述の傾向は、單り政治社會又は官界に於てのみ行はれるとは限らぬ。苟も團體生活の營まれる所には斯る現象が附隨し勝ちで、英國に於て異常な發達を遂げた彼の消費組合が旣に其絕好の適例を示して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゐる。かの熱誠な社會主義者ヘンリー、デマレストロイドは其著書「勞働組合論」に於て斯く述べてゐる「各部の消費組合支部は、組合事務並に方策に關する問題を決定する目的にて、定期集合を開催してゐるが、各支部の卸部主任は二名の代表者を選出し、該代表者は廣汎な經驗と中央集權的特權とを擁して、地方委員を巧みに籠絡してゐる。卽ち卸部は地方住民の選出に係る委員の管理に屬し、且つ住民の利便を齎す可き組織になつてゐるに拘らず、實際は公衆管理は名實相伴はざる空名たるに過ぎず、中央機關の權力絶大にして公衆は最早之に對して如何とも爲し難い位置に立つに至つた。」云々

斯くの如きは英國の勞働組合に於ても亦窺はれる處で、多年英國勞働組合史の研究に從事せるシドニー、ウエッブ氏夫妻の著書「產業上の平民主義」が、之れを立證して餘りあるものである。卽ち曰く「何事によらず全團體の輿論に從ふ可きである………勞働組合は民衆の義憤が具體化し發達して遂に全國民を包括せる一種の保險會社となり………頓て組合員の心裡に漸次行政機關の必要を痛感し………繁激を加へ行く事務と復雜多端なる諸問題とは勢ひ能力、訓練、生活樣式とに於て特有なる役員社會の發生を促した。而かも其執行權を特定せんとしたが失敗に歸し、却て權能の限界を不明瞭ならしめたと共に、一方に於ては實に此權力の分化が禍を爲して民衆の管理權を覆へし………役員の一年交代制、集會、公衆投票採決法などは、民衆の管理權回復策としては實際無力なものとなつた。或る危機に臨む毎に組合員たる各個人は自ら創設した一種官僚機關の爲めに抑壓され勝ちなことが解つた。更に他の民權の回收策としてデモクラシーがあつた。然しこれとても到底問題を解決し得なかつた。去り乍ら役員の執行權の分化(スペシアリゼーション)は、之を監督するを目的とする最高責任評議會を設け、之れに立法機關としての權能を附與することに因り、之れを調節することが出來たが………職工社會に於ては斯る評議會的集合を望み得ること至難なるのみならず、漸次其數を增加しつゝ行く有給役員の爲めに權力を壟斷された。(下略)」云々

三

由是觀之、勞働組合に於てすら役員の權能を抑制することは不可能に屬し、辛ふじて選擧制評議會を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

設けて、幾分其目的を遂げてゐる。然るに一方に於ては役員は益々其數を加ふる爲め、事實上豫想通りの效果が擧がらない。此點は既にシドニー夫妻が認知してゐる處である。況や國家に於ては到底選擧制に依る監督團體を以て、官僚の專橫を抑制することなぞは望まれないに於てをや。

組合は離合集散自由なる任意的集合團であるから個人の自由を束縛され、危險を感ずる場合には自由に脫會し得らるゝのみならず、若し少數組合員が組合の方針又は措置に對して、不滿を抱懷する場合連袂脫會し、若し多數會員が滿足を得ざる時は、從來の役員を罷免して新役員を任命することが出來る、事情如此、且つ又組合に於ける役員は國家に於ける官吏の如く一種の階級を形成し得ざるを以て、優に役員の橫恣を抑止することが出來る。然るに社會主義化された國家に於ては、全然これと事情を異にせざるを得ない。卽ち國家は組合の夫れの如く、任意的團體ではない。されば國民たる者は國家に不滿を抱くが故に、其國家を解散して、他の國家を新に成立せしむることは不可能である。於是乎、少數不平者は多數橫暴者の犧牲となり、また多數不平國民も亦た官僚社會の蹂躪を甘諾せざるを得ない。加ふるに社會主義國に於ける官吏は一階級又は一社會を成すが故に、勢ひ專橫に流れ易く、また收賄、威嚇等の惡德を行ひ易いのである。

由來支配者は被支配階級を蹂躪しつゝ權力を擴大して行くものであるから、社會主義的國家の整然として組織統一ある官憲の權力は、之に對して民力の如何とも爲し難き絕大なるものとなり、土地、資本利潤を其掌中に收め、一方には收賄と威嚇とを逞ふするに至るは瞭然たるものがある。贅言を要する迄もなく、余輩が幾回となく繰返し說明せる如く、彼等官僚――現業員に對する監督官の人事に關する權能は殆ど絕對的であるから、民衆の不平は到處に伏在するは當然の理である。隨て自己の滿足を得るが爲めに賄賂は行はれ、また反對に庶民に對する監督官の威嚇が行はれ易い。

四

監督官の橫恣は單にこれのみに止まらぬ、余輩が屢に說述せる如く、社會主義國に於ける官憲は、新聞發行に因る利益をも奪ひて民營たるを許容せぬ。隨て單行本、新聞、雜誌及び其他の印刷物は總て官

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

憲の手に獨占せらるゝを以て、言論の自由なぞは望み得べくもなく、勢ひ監督官又は監督機關に對して出版物に依り組織ある反對運動を執ることは到底不可能事に屬する。勿論通信機關も官營又は其管理下に置かるゝを以つて、秘密出版は之を爲し得るとするも之を頒布することは望まれない。勿論單行印刷物のみに限らず疑問の書信も亦た彼等官憲の徒が自由に開封又は沒收し得るを以つて、書信に據る個人的運動の途すら無いのである。

民衆は監督官又は監督機關に對して如何なる不滿を抱くも言論の自由、集會の自由を有せざるが爲め、之を發表匡正するの力がない、民衆は官憲に對して斯くの如く無氣力なるに隨ひ、一方執行機關又は官吏は愈々權力絶大となり、暴威を逞ふし、人間天賦の個人の自由意志は全然彼等の脚下に蹂躙せられ、奴隷として生活せねばならぬ。要するに社會主義國に於ては官憲の侵害に對して何等組織ある民衆側の反抗運動を行ひ得る手段が無い、否な奪はれてゐるのである。

然るに右の事實を一笑に附して、執行機關に對するに民選議會を以て對抗せしむれば何等憂ふるものなしと力說する論者が尠くないが、余輩の見解は一願の價値だになき夢想論と見做さゞるを得ない。如何となれば、ウエッブ夫妻が既に勞働組合發達史の研究に於て知悉せるが如く、最も勢力ある執行機關の爲めに利益を得つゝある徒輩が多數選出さるゝを以つて、實は官憲に對する監督機關たる立法機關は彼等の職權行使を監視し抑制し得ずして官憲の傀儡に墮するのみならず、却つて執行機關の權能を保障し擴大せしむるに至る。

社會主義國の監督官も人間たる以上は官權を濫用して自己社會の利福を圖らぬと限らぬ、勢ひ自利的又は不公平の行爲に流れ易く、社會主義の綱領たる「分配の平等」又は「平等なる勞働報酬」は、彼支配階級に屬する現業員に對してのみ嚴守せられ、官吏は隱然利益を壟斷し、不正の富を蓄積し易く、彼等は他階級の民衆とは比較にもならぬ豪奢な生活を營み實に特殊階級を形成するに至るは必然である。

權力と富とを獲得せる以上は、其地位を失はざらんことを希ひ、永久に之を確守するに汲々たるのみならず、其子孫をして支配階級より被支配階級に墮落せしむることを欲せず、何等かの方法を講じて自己の地位——尠くとも官吏たるの特權を子孫に傳へんとするは必然の趨勢たらざるを得ない、斯く觀察し來る時は社會主義的國家に於ける官吏の地位又は官吏階級は論理上の歸結として世襲たるは免かれ難

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いのである。
斯かる歸趨は何に原因するか。そは監督官個人の背德に因るに非ずして、實に社會主義國に於ける特有の官僚制度の罪に歸せざるを得ない。前述の如き事情の下に在りて、何人か克く官吏としての節義を完ふし得るものがあらうか。彼等をして墮落せしむるものは其絕大なる權能の附與に在る、卓見の社會主義者は既に此危險を洞見してゐる。

然るにまた監督官の權力濫行に對しては同盟罷業を以つて對抗し得可しと說く論者もあるが、食料品を始め有ゆる物資は總て官有物に屬し、否尠くとも監督官に於て之を保管するを以て、同盟罷業者と其家族とに對して物資供給を杜絕し得可く、爲めに社會主義國に於ては到底同盟罷業は成功し得ざる事情に在れば、此論は甚しい謬論たるを免れない。

五

翻て社會主義國に於ける國民の家庭生活如何を考察するに實に慄然たるものがある。男女共日々勞働に從事する必要上、彼等自身其の子女を養育するの餘裕なく、兒童は夙くより兩親の懷より離れて國立養育院又は寄宿舍に收容される。隨て幼兒時代より彼等は兩親の溫情、は別種の冷かな規則の下に育ちて、兩親の膝下に於て始めて成長し行くが如き性格は見る可くもない。慈愛と同情とに據り薰育されずに恐怖に依つて敎育されて行くのである。兩親の感化と薰育とに依つて成長する意志の訓練の如きは全然沒却され、懲罰を敎育の基礎とするが爲めに、慈愛と同情との言葉に依つて誘發せしめ得る悔恨の念を生ぜしめ得ない。何事に對しても研究的態度の下に之を理解せんと努むる幼年時代に於ける智識慾は徒に抑壓されて、一律的學課の智識に限定されて了ふ實に此時代こそ生涯に涉る情操と知能と人格の基礎を据ゑる重大な時代である。絕對盲從と監督者に對する不快な恐怖、爲我心、不正直及び怯懦は實に養育院に於て成長せる兒童の成人後の特性とならざるを得ない。

兒童時代に斯くして成長せる成年男女は、社會に出て、更に壓迫的生活を送るのである。社會主義國に於ける生活行爲は凡て官憲の管理命令の下に拘束せらる、を以て、人は自發的行動に因り其生活を營むものであるとの自覺と、獨立心とを喪失して了ふ加之、監督官も亦た上司の命令を奉じて職務を執行し、規則に違背せざらんことに汲々たるを以て、支配階級たる彼等も被支配階級たる爾余民衆と等しく獨立心を失ひ、依賴心強く責任觀念稀薄となる。斯くして國民を擧げて、獨立、進取、自恃の氣風は影

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を沒し、代ふるに官憲の命令に對する奴隷的盲從と依頼心とのみが際立つに至る。更に又た此の傾向は國民をして社會事象に對する共同責任感の減滅を深からしむるに至るだらう。

人間としての個人權及び平等權の觀念、正義心、自由と獨立との尊重、此等の觀念は凡て人間社會に於ける契約關係より發達せるもので、此關係に於て各人は社會の一員としての自己の立場を自覺し、人間生活は社會契約の關係に繋るを認知し、斯くて權利の平等、正義、自由、獨立の道德的意義を理解するものである。然るに社會主義に於ては社會契約に代ふるに成文律を以てするが故に、自然契約關係に基く道德觀念は消滅す可き筈である、既に契約關係なしとすれば、權利の平等は意義を爲さず、權利の平等必要なしとすれば、當然の歸結として個人權の侵害は是認せられる譯である。於是乎、官憲の權力は益々伸張し、官命に對する盲從が唯一の生活上の金科玉條たらざるを得ない。此傾向は更に自發的協同心をして被强制的協同心に、換言すれば「自ら爲す可し」との主動的傾向をして「汝爲す可し」の受動的命令傾向に墮落せしめる。

個人の權利、自由、平等、獨立が否定さるゝ社會主義國に於ては、强制と威嚇とが支配者の常習的態度となり、恐怖と威壓とが被支配者の心理的感情となる。要するに被支配階級に屬する民衆は全然奴隷化せられ、彼等が監督官に對する對抗上、欺瞞と虛僞とを唯一の武器となすに至り、廉直と忠實の美德は地を拂ひ、所謂奴隷根性のみが濃厚となり、一方支配階級は專恣暴戾の極に達し、社會主義國に於ては道德は其影を沒し、實に百鬼夜行の暗黑世界を現出するに至らんは必然である。

斯くの如く考察し來る時は、社會主義が實現されたる曉は、凡ての方面に於て悲慘なものゝみである即ち產業的に言へば退化となり、異常なる生產力の減退を來し、全國民の貧窮を釀成し、政治的には支配階級の絕對專制と多數民衆の奴隷化を出現し、社會的には一夫一婦制の破壞と亂淫と純潔高尙なる家庭的享樂の喪失とを誘發し、道德的には自由と平等との結果による有ゆる美德は地上より其影を沒し奴隸制度に附隨する惡德のみ單り榮えて擧世溷濁の穢土と化し去るに至る。即ち一言にして之を掩ふへば社會主義の夢想する天國の樂土は、實に醜惡無類の地獄と言はざるを得ない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詞苑

題溪山驟雨圖應岳陽先生囑即請郢政　魏潤菴

黑雲西北來。蓬々滿天地。幾時風雨俱。空濛復狂恣。亂灑萬木蘇。驚破四山睡。得無蛟龍怒。雷電奮金翅。潤泉滾々流。百道如奔驥。山容與書家。變幻非人意。誰爲寫此圖。筆力挾千騎。行人擎傘出。冒雨緣何事。懸知前路遙。何處夕陽寺。

夢遊臺灣日月潭　杉南　篠出勝也

蒼然吟矚遠。千頃古潭空。波底峰姿倒。藻間魚隊雄。林疎挂新月。洞邃閟清風。即是曾遊地。景光存眼中。

削壁嶄然立。此中藏太湖。風鹹千

樹禿。日昃帆孤。蕃社覩人警。惟禽乘雨呼。醒來昔遊夢。新月在梧桐。

送吉川精馬君之閩粵及南洋諸島　蕉松　小松吉久

其一

促裝遠入嶺南州。不是尋常汗漫遊。兩廣山河憐苦戰。七閩都市訪名流。老榕掩地鶯聲亂。大火橫空虎氣愁。想到九龍江上夕。美酒盈樽月滿船。

其二

愛國忠君在策勳。片帆直破海南雲。豪懷不讓宗元幹。遠路還追張子文。椰酒盈壺香欲醉。珊瑚入網赤如焚。此游併著探風記。歸日瀛州播異聞。

太子遊歐歸過臺灣恭賦奉迎　楊天健

萬里歐遊過海隈。東宮樓艦此歸途。他年我國新修史。第一交鄰記壯圖。

辛酉立秋後三日將歸故山有作　古都　尾崎秀眞

爲謀衣錦悅慈顏。一劍投荒滯絕關。往事回頭如夢寐。卅年辜負舊靑山。

尾崎白水先生奉委東歸社中人公餞於古亭村溪畔樂水旗亭即席賦此以壯其行　雪漁　謝汝銓

襟期洒落酒詩仙。一住南溟廿五年。鑑世文章多藻繪。新疆風物好宣傳。扶鳩堂上親猶健。訓鯉庭中子盡賢。書劍半肩秋萬里。重波穩渡去來船。

辛酉立秋前一日開瀛桃竹三社聯合吟會於陋園賦似雲年主人　雪漁　謝汝銓

陋園幽雅主人賢。共設吟樽落葉天。籌算獨知新國計。簞瓢不見舊家傳。纖題艷寫尼還俗。泥醉高歌我欲眠。見說明朝將遠別。秋槎浮海作張騫。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即事　潤庵　魏清德

蝙蝠翔々暑氣蒸。滿天黃色亦堪徵。
臺灣風雨將來夕。白蟻紛々亂撲灯。

樂水亭送社友尾崎白水先生久客還鄉　魏清德

樂水旗亭醉綺羅。送君歸去問如何。
別來風月知無恙。久客聲音笑不訛。
舊日親明重晤對。前時游釣復經過。
故園我亦頻回首。咫尺年々省覲多。

送僚友古郡先生東上　石崖　林佛國

填橋一別起颱風。博望乘槎逐浪中。
家國十年回首去。東南萬里覺心同。
匡時有策籌平治。經世無私見始終。
此次省親兼訪士。好談臺政已成功。

樂水亭送白水先生東歸賦此以贈　黃贊鈞

天高氣廻草亭秋。餞送人同半日遊。
餘酒杯和明月盡。殘棊局共暮雲收。
十年桑梓悲歌集。一舸蓬萊清淺流。
朝野即今多政客。從容爲彼說瀛洲。

緱山雜詠　林石崖

緱山屬文山郡深坑庄去景美里餘山腰建指南宮崇祀純陽夫子相傳純陽出乩稱其地爲臺山第一窩中元偕僚友石崚君步月上山乘輿耑返艸々賦絕即呈石崚

萬峯群山拱指南。渾雄氣象獨包涵。
相傳呂祖雲遊後。指點瑯環乍築庵。
廟貌巍峩四十春。彫甍畫棟此謀新。
無端財界波瀾起。愁殺鳩資拮据人。
中元普施晝闐々。濁酒何堪復夜澆。
明月有情知我意。隨人參謁過清宵。
巉巖直上似飛翔。双袖飄風陣々香。
到此不知身所置。覺離人世入仙鄉。
上山連袂有崖崚。消息先傳是柳星。
記室不知頻問意。累伊抄錄一時停。
切換紅羊經紀難。萬商誰得一身安。
多君誠敬來祈禱。席地爭眠好夢看。

天青月白照靈山。我喜塵心此夜閒。
遙望電燈千點處。疑霞散彩有星圜。
緱山形勝本天然。望蜀猶思近大川。
人力何時來補拙。銅龍雲際汲飛泉。
台山第一信非虛。飛鳳朝天意態舒。
福地深藏寒暑外。夏冬我欲伴仙居。
洞府枌榆已結緣。黃粱未熟亦神仙。
一時臥聽鈞天樂。醒後歸來月正圓。

送黃彩堂君之大陸　陳文潛

翩々年少正當時。莫道鵬摶萬里遲。
從此揚帆天際去。青雲得路展双眉。
一路薰風送遠行。壯遊倒處氣橫生。
羨君大有鵬飛志。展翅圖南萬里程。
陽關疊唱淚如絲。附驥無緣悵別離。
落日江亭流水急。望君痴立幾多時。

送傳明君還粵　黃南勳

驛亭柳色自依々。無限離情戀夕暉。
我自有家歸未得。那堪客裡送君歸。
一旦欲歸不我留。離情無限逐行舟。
深知此後相思處。怕見屋梁月滿樓。

書劍飄然出大瀛。秋風萬里送行旌。
輕舟指日鄉關着。雁信憑鱗慰一聲。

月十五日乘孟家寶丸出長崎港
忽見當空月鏡高懸口占一絕

檳榔　莊玉波

荷花香裡客南遊。破浪乘風萬里舟。
多謝團圓天上月。殷懃相送出神州。

舟中曉起

曉日昇暘谷。人間萬象開。光陰如
箭去。白髮似潮來。商戰神勞矣。
敲詩意快哉。遠期蘭領地。奏凱賦
東回。

舟中曉望

曙色波光映。蜃樓海市開。倚舷觀
不盡。境是古蓬萊。

早秋二日宿北投中夜風發勢如
怒濤客夢不安因起賦

雲漁

庭事狂號夜到明。遙山客枕夢難成。
飄々帳外搖燈影。颯々檐前作雨聲。
豈欲底人將木拔。如何聖世不條鳴。
凄涼獨自披衣坐。野店荒雞亂五更。

臺北曉起

施家本

曙光未破七星屯。殘月猶留景福門。
寂寂一城春夢裏。有人叉手望天垣。

秋夜偶成

滿街陋俗鬧蘭盆。簫鼓聲中月欲昏。
烈士閑居何所事。漢書一卷酒盈樽。

閒簫

秋風蕭索滿吳門。幽憤胸中莫與論。
永夜短簫聲斷續。知誰招得子胥魂。

漫詠

花前林笑舊頻開。買醉端因破涕來。
自古英雄無奈處。丹心只合致粧臺。

秋感雜憶十疊韻示

鷹取岳陽

風吹崖樹濕聲新。嵐氣夜深冷襲人。
註罷杜詩空對月。半潭秋水影如銀。

風聲又帶水聲新。七十二峰月近人。
猛虎不眠松洞裏。眼光烱烱閃如銀。

創建廣寒宮殿新。淨光明裡盡佳人。
餘材仍有天桂露。滴作黃金滴作銀。

十丈天桂滴露新。仙香醉殺倚欄人。
玉帝爲鑄垣娥像。夜々清光凝作銀。

天籟更添松籟新。玉樓應有弄簫人。
姮娥出舞知何處。十二欄杆月似銀。

臨水曲欄設席新。曉風殘月勵詩人。
此間誰問含情柳。菡萏花開冷似銀。

棹歌一曲聽清新。舟入蘆花不見人。
澤國深秋無限思。萬川明月水如銀。

西風吹盡月華新。腸斷煙波江上人。
莫使湘靈空鼓瑟。淚珠點袖白於銀。

江天一碧雁聲新。又倚西窗憶遠人。
經夏妾身憔悴甚。指環過重不堪銀。

芳魂入夢別愁新。憐汝當年嫁賈人。
恨殺天涯今夜月。臨江冷冷影如銀。

雜報

今夏の炎威と島都の銷暑施設

本年は内地も朝鮮も又た支那の方も一體に暑かつたやうだが、臺灣でも七月の半ばから八月の同じ頃にかけては例もながら暑さの頂上であつた。中でも七月三十一日の午後二時は華氏百一度五分といふ高氣溫を示じて領臺以來の新記錄であると言はれた丈けに其の前後に於ても炎威は例年よりも劇しかつた。隨つて銷暑の方法が人々により夫々行はれて北投の溫泉に山氣を吸ふて公共浴場に一日の暑を避ける者や乃至は今少し踏み出して土曜日曜を草山の樹氣に浸つて見るといふ高地利用の客、でなければ淡水に子供と一緒に海水浴をするか、或は手近な古亭庄の水泳場に赴く人なども多く、山に河に海に、暑を避け涼を趁ふの人を以て充たされた中で、公共的銷暑の方法として施設されて市民の歡迎を受けたものを擧げると、其の一つは

▼大正街の少年水浴場

である、之れは臺灣土地建物株式會社が其の所有地なる大正街三條通りと四條通りの間の一區域二千坪の內、約四百坪の面積を有する池潭を利用し之を整理して水浴場と爲したもので、水深は三尺計り鑿井の水と水道とを混用したものが絕えず交換されるといふ設備で水浴場の外には砂場及運動場の設備もあり主として少年の水浴に開放されたが大いに市民の歡迎を受けて相當有利に此方面の兒童に便用された。今一つは本誌の口繪寫眞にある靑年基督教會の施設に係る臺北城內の

▼府中街の水泳場

であるが夫れは全部コンクリート造りの、縱十一間、幅六間、水深三尺から九尺、池水は二十八時間每に全部交換されるといふ最新式の構造で開場以來泳浴申込者も相應にあり附近市民から可なりに利用された、水浴場としては本年の處先づ是れ丈けに過ないが來年からは市に於ても相當施設を爲す筈だといふ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことである、（次に）

▼夏期の林間學校

としては、臺北の詔安尋常小學校に於て今夏第一回の試みとして圓山の銅像裏手の地に三週間の林間學校を設けて相當効果を擧げた外に青年基督敎會施設の林間學校が草山に置かれて其の期間は僅かに一週間に過ぎなかつたが是亦た相當の效果を與へたらしい、夫れに次では基隆に於ける臺北市内小學校の

▼水泳及臨海學校

で、附屬小學（附屬小學では別に臨海學校を設けた）を除いた臺北市内の五尋常小學校及び一高等小學の尋常四年以上の男女兒童志望者に對する水泳並に臨海敎授の爲め基隆のクールベー濱に天幕を張り七月初旬から八月四日迄、前記の兒童を二班に分ち隔日順にて同所に住復せしめ、水泳練習の傍ら臨海敎授としては、海岸の地勢、海と圖書、海と歷史、海上生活、海の生產物等の題下に夫々主任者をして敎授せしめ、水泳の外には適當なる休養、運動等を課するもので、其の志望兒童は二百名に上り效益頗る多きものがあつたと言はれてある、臨海學校の施設は今年に始まつた譯では無いが、銷暑の施設として大體上記のものは本年に於ける新しき試みであると言つてよい、勿論年來唱道されたものが偶然本年に試みられたので、それが曾々領臺以來の暑さといふ歲であつた爲に適切に有意義に諒解されたのであるが、今後は是等の施設を大いに整備せしめて在臺者の慰安といふよりは寧ろ當然の保健法として自由に且つ便宜に利用せしめたいものである。

本島の養蠶

—大正九年中の—

本島の新產業として前途頗る有望と稱せらるゝ養蠶業の、昨大正九年中の成績を見るに其飼育戶數は新竹州の七百〇九戶、臺北州の六百三十戶を筆頭に、臺中の三百七十三戶、臺南の百九十戶、花蓮港の百六十七戶、高雄の六十七戶、臺東の七戶の順となり、合計二千百四十三戶、又蠶種掃立枚數は、計五千五百二十九枚にして、飼育戶數一戶に就き平均二枚五步八厘に相當することゝなる。而して其產繭は總計七百九十七石四斗六升一合となりて、蠶種一枚につき平均一斗四升四合二勺餘に當ることゝなるが、今

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其產繭の種類に依つて之れを類別せは、繭六百六十八石七斗九升八合、玉繭七十二石九斗五升四合、出殻繭四升、屑繭五十五石六斗六升九合となる。更に之を四季に區別して其の成績を見ると飼育戸數も掃立枚數も夏蠶に於て最も多きを見るに其の收繭高に至つては春蠶最も多きが、今蠶種一枚に就ての收繭高を四季に別ちて見れば、春蠶は一斗八升八合、夏蠶は一斗五升七合二勺、秋蠶は九升二合、冬蠶は九升一合一勺となり春蠶は最も多く恰も秋冬に二倍するを見る　（調査課報告）

諸集會

▼七月十九日臺北市役所に於て第一回町委員打合會を開く▼同十七日江頭街鐵道部グラウンドに於て同部工場職工慰勞運動會を開く▼七月三十日臺北府前街日米商店主催自轉車遠乘會を基隆クルベー濱に催す▼十九日臺北州會議室に於て第四回衛生集談會開催、堀内博士の「衛生の經濟的價値」と題する講演ありたり▼二十日鐵道ホテルに於て下村前長官夫人の送別會を開く▼十七日臺南公館に於て臺南醫學會總會を開く▼二十九日鐵道ホテルに於て新高銀行定時株主總會を開く▼二十五日商工銀行定時株主總會を同行に開く▼二十六日三板橋に於て明石總督臨時祭執行▼二十七日午後四時下村博士送別の紳士對學生角力會を總督府西側構内土俵上に開く▼二十八日午前十時長官々邸に於て下村氏の告別ありたり▼二十六日夜北中出身者送迎會を蓬萊閣に催ほし同窓の新任高雄州警務課長の歡迎を兼ね木場丑尉送別の宴を開く▼二十九日鶴山新竹郡守送別會をライオンに開く▼市制發布の趣旨に基き自治の本義を實現する爲め八月一日南門公會堂に於て南門外會總會を開く▼賀來新長官は八月一日午後四時半より官邸に於て茶話會を開く▼八月五日より臺南州に於て所得稅調查委員會を開く▼八月十日より向ふ二週間短期勸業組合講習會を臺中州に開く▼自治の訓練及修養の目的を以て八月六日臺中民友會を臺中座に開く▼八月七日北投無名庵に於て賀來長官新任祝賀の爲め大分縣人會を開く▼八月十六日電力會社定時株主總會を同社に開く▼八月六日午後四時よりクルベー濱に於て稅關員祝賀會を催す▼四日圓山淨土宗布教所に於て故佐久間將軍七週忌追悼法會執行▼八月六日鐵道ホテルに於て州衛生集談會を開き堀内博士の衛生に關する講話ありたり▼八月十二日臺北醫院講堂に於て醫學會例會開催、來臺中の九州帝國大學教授小野寺博士の「マラリヤ患者に關する二三の小實驗」と題する講演ありたり▼十二日總督府長官公室に於て下村前長官紀念事業に付官民打合會を開く▼十六日臺北衛生展覽會を開始す

編輯雜記

（九月九日、屯）

▼鎌田委員、嚴君危篤の報に接し急遽歸省、次て嚴君逝去の報あり同人敬弔の意を表す

▼東郷委員大いに編輯の整備に力む

▼本號より從來の「時報」を時報と島情の二欄に分つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

■七月

▼十八日(月)

□臺北府前街の火災　午後九時過松井吳服店火を失し附近十餘戸を燒く

▼二十二日(金)

□下村前長官告別　午前十時總督府會議室に於て告別式を行ふ

□賀來長官新任挨拶　午前十時過總督府會議室に於て新任の告辭ありたり

□新舊長官送迎會　此夜鐵道ホテルに於て官民合同新舊長官の大送迎會を催す

▼二十四日(日)

□兒玉神社遷座式　相州江の島の兒玉神社造營成り此日莊嚴なる遷座式を行ふ

▼二十六日(火)

□故明石將軍臨時祭　午前七時三板橋の墓域に於て故明石總督の臨時墓前祭を行ふ

▼三十一日(日)

□領臺以來の炎暑　連日炎暑甚しく此日午後二時氣溫百一度五分に達す領臺以來の新記錄なり

■八月

▼二日(火)

□中央研究所分掌規程　勅令公布同所新官制による分掌規程訓令一三九號公布せらる

▼六日(土)

□暴風襲來　此日東南の暴風本島を襲ふ被害多し

人事消息

自七月十五日
至八月十五日

▼御厨規三氏（高雄州內務部長、本誌編纂委員）七月十五日歸臺

▼赤石定藏氏（臺日社長、本誌評議員）十八日內地より歸臺、二十一日再び上京す

▼白勢黎吉氏（鐵道部事務官）十八日歐米視察の途に上る

▼下村前長官　二十二日告別の爲め著臺、二十八日內地へ歸還

▼賀來新長官二十二日歸府

▼松木則吉氏（總督祕書官）二十五日歸府、八月四日上京

▼杉田代議士　二十五日來臺、八月四日歸京

▼阿部嘉七氏（元總督府事務官、本誌編纂委員）山形縣理事官に榮轉、二十八日臺北發赴任の途に上る

▼中川小十郎氏（臺銀頭取）八月一日上京

▼阿部滂氏（財務局長、本誌評議員）同上

▼鎌田正威氏（專賣局事務官、本誌編纂委員）嚴君危篤の報に接し八月一日歸省す

▼新井聯隊長　八月四日熊本に赴任

▼林熊徵氏（華南頭取、本誌評議員）八月十四日上海に赴く

任命

▼六月二十九日

總督府醫院醫長　伊藤晃
上京ヲ命ス

總督府州技師　山田拍採
東京、千葉、岩手、秋田及山形ノ一府四縣ヘ出張ヲ命ス

總督府醫學專門學校　大森[illegible]彥
京都ヘ出張ヲ命ス

公立中學校教諭　三屋靜
東京、京都及廣島ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▲六月三十日

總督府參事官 吉岡荒造

總督府官房秘書課長喜多孝治不在中代理ヲ命ス

總督府醫院醫長 於保乙彥

醫學專門學校教授 久保信之

（各通）

英領香港、馬來半島、蘭領東印度、英領北ボルネオ及比律賓ヘ出張ヲ命ス

總督府技師 金平亮三

蘭領東印度英領印度及錫崙ヘ出張ヲ命ス

▲七月一日

農事試驗場技師 磯永吉

海外ヨリ歸任ノ途次大阪、兵庫岡山及廣島ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス

總督府蕃務警視 佐藤求巳

東京、宮城、埼玉、岐阜及福岡ノ一府四縣下ヘ出張ヲ命ス

總督府州郡守 細井鶴三郎

上京ノ序ヲ以テ大阪、千葉、三重、奈良及廣島ノ一府四縣下ヘ出張ヲ命ス

草野義一

臺南州協議會員ヲ命ス

▲七月五日

休職總督府研究所技師
兼總督府醫學專門學校教授 小泉丹

復職ヲ命ス

▲七月四日

高雄州郡屬 磯貝武平

任郡守、竹山郡守ヲ命ス

新竹州警部 毛利鎭意

任郡守、兼州警視、大湖郡守ヲ命ス、大湖郡勤務ヲ命ス

高雄州警部 城戶彥市

任郡守、兼州警視、恒春郡守ヲ命ス、恒春郡勤務ヲ命ス

臺南州警部 神田龜次郎

任州警視、警察署長ヲ命ス

總督府警部兼警察官及司獄官練習所教官警察官及司獄官練習所舍監陸軍砲兵中尉 下村庸

任郡守、兼州警視、蘇澳郡守ヲ命ス、蘇澳郡勤務ヲ命ス

郡守 島岩太郎

郡守 副島實三郎

郡守 國谷德太郎

郡守 關香之助

（各通）

依願免本官

郡守兼州警視 齋藤永治

郡守兼州警視 垣田林左衞門

（各通）

依願免本官並兼官

郡守 福島平

臺南州南投郡守ヲ命ス

郡守 岩本多助

臺中州彰化郡守ヲ命ス

州警視 岡崎豐治

臺南州嘉義郡警察課長ヲ命ス

郡守 石渡榮吉

臺中州北斗郡守ヲ命ス

郡守 增永吉次郎

臺中州大屯郡守ヲ命ス

郡守 隈元多市郎

臺南州北港郡守ヲ命ス

郡守 小島仁三郎

新竹州大溪郡守ヲ命ス

州警視 小島仁三郎

新竹州大溪郡勤務ヲ命ス

郡守 森直吉

臺南州虎尾郡守ヲ命ス

鐵道部事務官 白勢黎吉

上京ヲ命ス

州理事官 角田廣次

上京ノ序ヲ以テ東京、大阪、千葉、群馬、福島、新潟、三重及廣島ノ二府六縣下ヘ出張ヲ命ス

▲七月六日

專賣局參事 林季彥

兼任臺灣總督府專賣局事務官

公立中學校教諭　堀莊之進
任臺灣公立高等女學校教諭、臺南高等女學校勤務ヲ命ス
高雄州屛東郡屛東街長　石丸・長城
奏任官ヲ以テ待遇セラル
▲七月七日
專賣局長　賀來佐賀太郎
上京ヲ命ス
▲七月四日
州理事官　太田吾一
臺北州内務部長井澤眞民不在中代理ヲ命ス
▲七月八日
總督府醫院醫長　久名文任
兼任臺灣總督府醫學專門學校教授
公立高等女學校教諭　近藤眞三
（各通）
師範學校教諭　西巻南平
任總督府師範學校教授、臺南師範學校勤務ヲ命ス
石川縣立圖書館長　竝川直廣
任總督府圖書館長
總督府醫院醫官補　小島留三
任總督府醫院醫官、基隆醫院勤務ヲ命ス
醫院醫官補陸軍三等軍醫　原廣藏
任總督府醫院醫官、澎湖醫院勤務ヲ命ス
總督府醫院醫官補　山下靜一
任總督府醫院醫官、新竹醫院勤務ヲ命ス
總督府醫院醫長　桂三友
上京ヲ命ス
醫學專門學校教授　山口助治
東京、京都及廣島ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス
▲七月十一日
臺中州協議會員ヲ命ス　角田廣次
專賣局長　賀來佐賀太郎
任臺灣總督府總務長官
總務長官　下村宏
依願免本官
▲七月七日
專賣局事務官　杉本良
上京ヲ命ス
▲七月十一日
總務長官　賀來佐賀太郎
專賣局長心得ヲ命ス
殖産局長　高田元治郎
總務長官賀來佐賀太郎不在中代理ヲ命ス
▲七月八日
圖書館長　竝河直廣
赴任ノ途次上京ヲ命ス
▲七月十三日
研究所技師　山口[illegible]留
東京及京都ノ二府下ヘ出張ヲ命ス
▲七月十四日
總督府技師　栗木得一
長崎縣外八縣下及北海道ヘ出張ノ序ヲ以テ東京、大阪、神奈川、兵庫及福岡ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス
▲七月十一日
商業專門學校教授　川田長兵衛
商業專門學校長加藤正生不在中代理ヲ命ス
▲七月十五日
樗木貞次郎
任州警察醫、高雄州警務部衞生課勤務ヲ命ス
醫院醫長兼醫學專門學校教授　細谷雄太
依願免本官並兼官
法院判官　谷野格
東京、大阪ヘ出張ノ序ヲ以テ富山、金澤及福井ヘ出張ヲ命ス
總督府技師　稻垣頴策
殖産局農務課兼殖産局附屬糖業試驗場勤務ヲ命ス
▲七月十六日
研究所技師　小泉丹
上京ノ序ヲ以テ東京及茨城ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス
税關監視官　小谷常英

東京、横濱、大阪及神戸へ出張ヲ命ス

公立高等女學校教諭　塗谷はる

山形縣下ヨリ上京ヲ命ス

▲七月十八日

總督府事務官　阿部嘉七

財務局金融課長中屋重治不在中代理ヲ命ス

財務局事務官　中田榮次郎

財務局税務課長心得前田稔靖不在中代理ヲ命ス

總督府事務官　前田稔靖

財務局金融課長代理ヲ免ス

▲七月十九日

臺中州協議會員　廖西東

願ニ依リ臺中州協議會員ヲ免ス

島田宗謙

臺南州協議會員ヲ命ス

▲七月十一日

總務長官　賀來佐賀太郎

市區計劃委員長ヲ命ス、官設埤圳補償審査委員長ヲ命ス總督府鐵道職員救濟組合審査會議長ヲ命ス、公立學校職員恩給審査委員長ヲ命ス

▲七月二十日

公立公學校教諭兼總督府
編修書記總督府技師　岡本要八郎

高等官七等ヲ以テ待遇セラル

總督府技師　井手薫

市區計劃臨時委員ヲ命ス

▲七月二十一日

技師　福留喜之助

稅關長　原鶴次郎

技師　野呂寧

技師　倉岡彦助

技師　吉田碩造

（各通）

鐵道部技師　音羽守

勅任官ヲ以テ待遇セラル

臺北州屬　越山正彦

任臺灣總督府郡守、臺北州新莊郡守ヲ命ス

通信屬　橋本定二

任臺灣總督府通信事務官、新竹郵便局長ヲ命ス

總督府屬　水間位彦

任總督府通信事務官、臺中郵便局長ヲ命ス

臺灣實業學校教諭　江副秀喜

臺灣實業學校教諭　山本規

任臺灣實業學校教諭、臺北商業學校勤務ヲ命ス

臺灣公立中學校教諭　黑山貫造

任公立高等女學校教諭、臺南高等女學校勤務ヲ命ス

總督府郡守　吉成安任

通信事務官　小野塚斧太郎

依願免本官

▲七月十九日

總督府事務官　古木章光

歸府ノ途次上京ヲ命ス

▲七月二十一日

通信事務官　樋口寛

臺北郵便局長ヲ命ス

通信事務官　瀧千代多

臺南郵便局長ヲ命ス

通信事務官　山本定二

新竹郵便局長ヲ命ス

▲七月二十二日

總督府事務官　阿部嘉七

任山形縣理事官

州理事官　蜂須賀善亮

任北海道理事官

▲七月二十三日

研究所技師　大島正滿

東京、京都、神奈川、青森、茨城、千葉、栃木、滋賀、長崎、宮崎ノ二府八縣下及北海道へ出張ヲ命ス

公立高等普通學校教諭　國井清吉

上京ヲ命ス

▲七月二十六日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

任醫院醫長　　　　　本間喜代松
兼東醫院長ヲ命ス
總督府醫院醫長　門馬健也
依願免本官
上京ヲ命ス　　秘書官　松本剛吉
▲七月二十七日
上京ヲ命ス　總督府參事官　菊池武芳
▲七月二十二日
總督府事務官　菊池武芳
財務局會計課長兼務ヲ命ス
財務局事務官　中田榮次郎
財務局金融課長中屋重治不在中代理ヲ命ス
▲七月二十八日
總督府事務官　村田三郎
遞信局爲替貯金課長藤井恭敬不在中代理ヲ命ス
財務局長　阿部滂
上京ヲ命ス
醫學專門學校教授　安達島次
東京府外一府一縣下へ出張ノ序ヲ以テ朝鮮及支那滿洲へ出張ヲ命スパ

▼正　誤

前號任命欄中、長沼清造、小出三郎ノ兩氏ノ任命ヲ「任鐵道事務官」トセシハ「任鐵道部技師」ノ誤ニ付訂正ス

寄贈書目

書名		發行所
滿蒙之文化	每號	滿蒙文化協會
大亞	每號	大亞義會本部
東亞經濟研究	同	其社
新臺灣	同	其社
實業之臺灣	同	其社
臺法月報	同	其社
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其社
極東公論	同	其社
大陸	同	拓植新報社
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅務課
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
臺灣鐵道	同	其社
靑島商報	同	其社
臺灣農事報	同	臺灣農友會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
博愛	同	臺灣博愛社
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其社
臺灣警察協會雜誌	同	其社
南洋協會雜誌	同	其社
海事新報	同	帝國海事協會
週報（上海貿易）	同	上海日本商業會議所
東洋時報	同	東洋協會
南洋經濟新報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協會
大陸	同	大陸社
地方行政	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	外事課調查課
臺灣パック	同	臺灣パック社
高砂パック	同	高砂パック社
統計學雜誌	同	統計學社
遞信協會雜誌	同	遞信協會
滿蒙實業彙報	同	大連商業會議所
會計	同	明治大學出版部
統計集誌	同	東京統計協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所

漢文欄

就中央研究所之新官制而述

中央研究所長 總務長官 賀來佐賀太郎

一 研究機關之統一

業經本年八月初二日以勅令第三百六十二號頒布臺灣總督府中央研究所官制。即辨理列左事業。

一、農業、糖業、林業、工業、暨關於衛生之研究、調查、試驗、分析、鑑定、講習及講話、

二、種苗、種畜細菌學的豫防治療品其餘研究調查或經試驗結果之物料等育成製造、分派或借給

蓋按照新官制。掌理以上事項之主意。即以本島之產業及。關於衛生上之研究。調查。試驗。爲重要者也。但由沿革上之理由而言則。將從前別個機關而。各分各存之研究所。農事試驗場。糖業試驗場。園藝試驗場。茶樹栽培試驗場。試畜場。林事試驗場等。合爲統一。以爲本島之產業及衛生上基礎的研究。調查。及試驗之目的。可謂設置有力之一大機關也。凡爲事業之經營。猶其基本之調查特爲緊要。即如本島。就熱帶地之產業衛生而言。其基礎之試驗。研究。尤爲必要。然其機關。因其種類。各分爲獨立。其間並無組織的聯絡則。不惟無裨於保其系統的研究。協調。反倒有缺基本調查之統一。恐有礙基礎的調查本旨之虞。因此今設中央研究所。統合所有從來獨立各處之各種試驗。研究。機關。愈加努力於其目的之達成。希圖以資本島之產業。及衛生事業上發展者也。因此而。此次中央研究所之下。統一各種機關。新設農業部、林業部、工業部、衛生部、庶務課之四部一課。其結果。有益於保組織的所內各部之聯絡。不待言

矣。照依官制第十條規定。由關係總督府部內高等官之內。選命評議會員。而組織評議會。隨時令其回覆研究所長之諮問。以如此定。故中央研究所。與關係總督府部局。彼此能保聯絡。以期研究所當務之基礎的調查研究萬無遺算也。今將研究所之由來。與新官制之組織。及權限。略欲開陳於左。

二　研究所創置之由來

後藤男爵之。蒞任於臺灣民政長官也。提唱熱帶植民。要其基礎置於生物學云々。此言仍在吾儕之記憶。在當年臺灣總督府。以此起見。努力於科學之獎勵。至明治四十二年四月。創設研究所之獨立機關。專任本島之產業及衛生上之研究調查。及試驗。並同時。令其爲熱帶地各樣之研究調查。以期貢獻于科學界。而於其前後。總督府。另外欲爲關於本島之農林產之增殖。改良之試驗研究。以農事試驗場。糖業試驗場。茶樹栽培試驗場。園藝試驗場。試畜場。林業試驗場。設於各地方面。令其從事各專門之試驗研究。故與研究所並立而至今日也。

三　中央研究所之組織權限

今次以勅令第三六二號中央研究所官制。統一以上之各機關之事。已經陳明。此外據訓令第一九三號中央研究所事務分掌規程則。其事業照左大別。

中央研究所
- 農業部
  - 種藝科
  - 農藝化學科
  - 糖業科
  - 植物病理科
  - 應用動物科
  - 畜產科
- 林業部
- 工業部
  - 化學工業科
  - 電氣化學科
  - 釀造科
- 衛生部
- 庶務課

除以上本部外。其支所。按照府令第一二五號所定。卽於全島有十一支所。若於各部之關係分別之則。卽如列左。惟在臺南州新化舊糖業試驗場。鑑於其所管事業性質內容。不爲支所而特爲農業部之一科。存置之焉。

支所
- 農業部關係
  - 士林園藝試驗支所
  - 平鎭茶業試驗支所
  - 嘉義農事試驗支所（舊農事試驗場支場 舊園藝試驗場支場 合併）
  - 高雄檢糖支所
  - 恒春種苗支所
  - 嘉義種畜支所
  - 大埔種畜支所
- 林業部關係
  - 嘉義林業試驗支所
  - 恒春林業試驗支所
- 衛生部關係
  - 臺中藥品試驗支所
  - 臺南藥品試驗支所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

通算以上本部及支所人員。中央試驗所之職員。所長是以總務長官充之。部長及科長是技師。課長是以事務官充之。其員數技師專任三十六人。事務官一人。技手七十四人。屬十九人。此外爲緬羊飼養試驗五人。屬一人。有增加臨時職員焉。

四　中央研究所事業之性質及範圍

中央研究所。應行基礎的調查研究方面。卽如列前頗爲廣汎。然對本島之產業及衞生之責任。則誠屬重大。故舉完全之成績。而欲全其責則。用適當人材。費相當之時日。並需十分經費。固不待言。各擔任者。對該研究事項。欲舉相當之成績。或有要一二年或三五年。假如就一研究事項而平均有三年一次滿足之報告。此係擔任者多年苦心之結果在研究所則。其成績信爲可誇矣。總之研究調查之事業性質則世人想必已經諒解也。

又中央研究所事業之範圍。既如前述。所有辨理本島之產業。及關於衞生。研究。調查。試驗。分析鑑定講習。講話並由是等結果。而所成物料之育成製造分配借付事業也。至於中央研究當務之事。不啻調查研究而已。能利用調查研究之成績。乃基於成績對一事業。發現經濟上之利益並將生產品。或爲分派或爲借付。卽直接裨益於他。亦屬當務之一也。然則研究所之職責。決不得謂之狹而且輕者也。

漢詩及**漢文**の寄稿を募る

大正十年九月

臺灣時報編輯部

日支合辦

一資本金壹千萬圓

臺灣臺北

株式會社
華南銀行

總理　林熊徵

支店及　東京　廣東　海防　西貢

出張所　新嘉坡　スマラン　ラングーン